

モーセの**第一の書**、 **一般に呼ばれる** **創世記**

1 初めに、神*は天と地を創造された。

2 地は形がなく、空であった。

闇が深い水の面を覆っており、
神の霊が水の面の上を漂っていた。

3 神は言われた。「光があれ。」すると、光があった。

4 神はその光を見て、良いとされた。

神は光と闇を分けられた。

5 神は光を「昼」と呼び、闇を「夜」と呼ばれた。夕があり、朝があった。第一日である。

6 神は言われた。「水の間に大空があれ。水と水を分けよ。」

7 神は大空を造り、大空の下にある水と、大空の上にある水を分けられた。すると、そのようになった。

8 神は大空を「天」と呼ばれた。夕があり、朝があった。第二日である。

9 神は言われた。「天の下の水は一つの場所に集まれ。乾いた地が現れよ。」すると、そのようになった。

10 神は乾いた地を「地」と呼び、水の集まった所を「海」と呼ばれた。神はそれを見て、良いとされた。

11 神は言われた。「地は青草を生えさせよ。種を結ぶ草と、それぞれの種類にしたがって種のあ

* **1:11:1** 「神」と訳されているヘブライ語は「אֱלֹהִים」（エロヒム）である。

る実を結ぶ果樹を、地の上に生えさせよ。」すると、そのようになった。

12 地は青草、それぞれの種類にしたがって種を結ぶ草、またそれぞれの種類にしたがって種のある実を結ぶ木を生えさせた。神はそれを見て、良いとされた。

13 夕があり、朝があつた。第三日である。

14 神は言われた。「天の大空に光るものがあれ。昼と夜を分け、それらは、しるし、季節、日、年のためのものとなれ。

15 また、それらは天の大空で光るものとなり、地の上を照らせ。」すると、そのようになった。

16 神は二つの大きな光るものを造られた。大きい方の光るものに昼を治めさせ、小さい方の光るものに夜を治めさせた。また、星々も造られた。

17 神はそれらを天の大空に配置し、地の上を照らせ、

18 昼と夜を治めさせ、光と闇を分けさせた。神はそれを見て、良いとされた。

19 夕があり、朝があつた。第四日である。

20 神は言われた。「水は生き物の群れで満ちあふれよ。また、鳥は地の上、天の大空を飛べ。」

21 神は大きな海の生き物と、水の中に群がり動くすべての生き物を、それぞれの種類にしたがって創造し、また翼のあるすべての鳥を、それぞれの種類にしたがって創造された。神はそれを見て、良いとされた。

22 神はそれらを祝福して言われた。「生めよ。増えよ。海の水に満ちよ。また、鳥は地の上に増えよ。」

23 夕があり、朝があつた。第五日である。

24 神は言われた。「地は生き物を、それぞれの種類にしたがって生み出せ。家畜、這うもの、

地の獣を、それぞれの種類にしたがって。」すると、そのようになった。

25 神は地の獣をそれぞれの種類にしたがって、家畜をそれぞれの種類にしたがって、また地を這うすべてのものを、それぞれの種類にしたがって造られた。神はそれを見て、良いとされた。

26 神は言われた。「われわれのかたちに、われわれに似せて人を造ろう。彼らに、海の魚、空の鳥、家畜、全地、そして地を這うすべてのものを治めさせよう。」

27 神はご自身のかたちに人を創造された。神のかたちに人を創造し、男と女に彼らを創造された。

28 神は彼らを祝福された。神は彼らに言われた。「生めよ。増えよ。地に満ちて、それを従えよ。海の魚、空の鳥、地の上を動くすべての生き物を治めよ。」

29 神は言われた。「見よ、† わたしは、全地の表にある種を結ぶすべての草と、種のある実を結ぶすべての木をあなたがたに与えた。それがあなたがたの食物となる。

30 また、地のすべての獣、空のすべての鳥、地を這うすべてのもの、すなわち命のあるすべてのものには、食物としてすべての青草を与えた。」すると、そのようになった。

31 神はご自分が造られたすべてのものを見られた。見よ、それは非常に良かった。夕があり、朝があった。第六日である。

2

1 天と地と、そのすべての万象は完成した。

† 1:29 1:29 「見よ」はヘブライ語「הִנֵּה」(ヒンネー)で、注意を促す表現である。

2 神は第七日に、ご自分がなさっていた仕事を完成された。そして、ご自分がなさっていたすべての仕事を終えて、第七日に休まれた。

3 神は第七日を祝福し、これを聖なるものとされた。神が創造のすべての仕事を終えて、この日に休まれたからである。

4 これが天と地の歴史* である。主なる神† が地と天を造られた日に、

5 地にはまだ野の低木がなく、野の草もまだ生えていなかった。主なる神が地の上に雨を降らせておらず、土を耕す人もいなかったからである。

6 しかし、地から霧が立ち上り、地面の全面を潤していた。

7 主なる神は、地面のちりで人を形造り、その鼻に命の息を吹き込まれた。こうして人は生きる魂となった。

8 主なる神は東の方のエデンに園を植え、ご自分が形造った人をそこに置かれた。

9 主なる神は、見るからに好ましく、食物として良いすべての木を地面から生えさせた。また、園の中央には命の木と、善悪の知識の木を生えさせた。

10 一つの川が、園を潤すためにエデンから流れ出ていた。それはそこから分かれ、四つの川の源となった。

11 第一の川の名はピションである。それは金のあるハビラの全土を巡って流れる。

* 2:4:2:4 「歴史」と訳されているヘブライ語תולדות(トレドット)は「系譜、記

† 2:4:2:4 ここで「主」と訳されているヘブライ語は、神の固有名יהוה(ヤハウェ)

12 その地の金は良い。そこにはブデリウム[‡]とシマメノウもある。

13 第二の川の名はギホンである。それはクシュの全土を巡って流れる川である。

14 第三の川の名はヒデケルである。これはアッシリアの前を流れる川である。第四の川はユーフラテスである。

15 主なる神は人を連れて行き、エデンの園に置き、そこを耕させ、守らせた。

16 主なる神は人に命じて言われた。「あなたは園のどの木からでも、思いのままに食べてもよい。

17 しかし、善悪の知識の木からは食べてはならない。それを食べたその日に、あなたは必ず死ぬからである。」

18 主なる神は言われた。「人が一人でいるのは良くない。わたしは彼のために、彼にふさわしい[§] 助け手を造ろう。」

19 主なる神は、野のすべての獣と空のすべての鳥を地面から形造り、人がそれらを何と呼ぶかを見るために、人のところに連れて来られた。人がそれぞれの生き物と呼んだ名前、それがその名前となった。

20 人はすべての家畜、空の鳥、野のすべての獣に名前をつけた。しかし人には、彼にふさわしい助け手が見つからなかった。

21 主なる神は人を深い眠りに落とされた。人が眠っている間に、神はそのあばら骨の一つを取り、その場所を肉で塞がれた。

22 主なる神は、人から取ったあばら骨で女を造り、彼女を人のところに連れて来られた。

[‡] 2:12 2:12 または「芳香樹脂」。
または「彼に適した」「彼に対応する」。

[§] 2:18 2:18

23 人は言った。「これこそ、私の骨からの骨、私の肉からの肉。彼女は『女』と呼ばれる。男から取られたのだから。」

24 それゆえ、男は父と母を離れ、妻と結ばれ、二人は一つの肉となる。

25 人とその妻は二人とも裸であったが、恥じていなかった。

3

1 主なる神が造られた野のすべての動物の中で、蛇は最も狡猾であった。蛇は女に言った。「神は本当に、『園のどの木からも食べてはならない』と言われたのか。」

2 女は蛇に言った。「私たちは園の木の实を食べてもよい。

3 しかし、園の中央にある木の实については、神は『それを食べてはならない。それに触れてもならない。死ぬことになるといけないからだ』と言われた。」

4 蛇は女に言った。「あなたがたは決して死なない。

5 それを食べたその日に、あなたがたの目が開かれ、神のようになって善と悪を知ることになることを、神は知っているのだ。」

6 女がその木を見ると、それは食物として良く、目に好ましく、賢くなるために望ましいものであった。そこで女はその実を取って食べ、一緒にいた夫にも与えた。彼もそれを食べた。

7 すると、二人の目は開かれ、自分たちが裸であることを知った。彼らはイチジクの葉をつなぎ合わせ、自分たちのために腰を覆うものを作った。

8 彼らは、日の涼しい頃に、主なる神が園を歩かれる音を聞いた。人とその妻は、主なる神の御前を避けて、園の木々の間に身を隠した。

9 主なる神は人に呼びかけ、彼に言われた。「あなたはどこにいるのか。」

10 人は言った。「私は園でああなたの声を聞きました。自分が裸だったので恐れ、身を隠しました。」

11 神は言われた。「あなたが裸であることを、誰があなたに告げたのか。食べてはならないとわたしが命じたあの木から、あなたは食べたのか。」

12 人は言った。「あなたが私のそばに置かれたこの女が、あの木から実をくれたので、私は食べました。」

13 主なる神は女に言われた。「あなたは何ということをしたのか。」

女は言った。「蛇が私を欺いたので、私は食べました。」

14 主なる神は蛇に言われた。

「あなたがこのようなことをしたため、

あなたはすべての家畜、

すべての野の動物の中で呪われる。

あなたは腹ばいで進み、

一生の日々、ちりを食べる。

15 わたしは、あなたと女との間に、

あなたの子孫と女の子孫との間に敵意を置く。

彼はあなたの頭を打ち砕き、

あなたは彼のかかとを傷つける。」

16 女に神は言われた。

「わたしは、あなたの身ごもりの苦しみを大いに増す。

あなたは苦しんで子を産む。

あなたは夫を慕い求め、

彼はあなたを支配する。」

17 アダムに神は言われた。

「あなたは妻の声に聞き従い、

『それから食べてはならない』と

わたしが命じた木から食べた。

それゆえ、地はあなたのために呪われる。
あなたは一生の日々、苦勞して地から食物を得る。

18 地はあなたのために、いばらとあざみを生えさせる。

あなたは野の草を食べる。

19 あなたは顔に汗を流してパンを食べ、
ついに土に帰る。

あなたはそこから取られたからである。
あなたはちりだから、
ちりに帰るのだ。」

20 人は妻をエバと名付けた。彼女がすべての生きる者の母となるからである。

21 主なる神は、アダムと彼の妻のために
に皮の衣を作り、彼らに着せられた。

22 主なる神は言われた。「見よ、人はわれわれの一人のようになり、善と悪を知るようになった。
今、彼が手を伸ばし、命の木からも取って食べ、永遠に生きることがないようにしよう。」

23 それゆえ、主なる神は彼をエデンの園から追い出し、彼が取られた元の土を耕させることにされた。

24 こうして神は人を追放し、命の木への道を守るために、エデンの園の東にケルビム*
と、四方に向かって回転する炎の剣を置かれた。

4

1 人はその妻エバを知った*。彼女は身ごもり†、カインを産んで言った。「私は主の助けによって、一人の男を得た。」

* 3:24 3:24 ケルビムは、神に仕える力ある天的な存在である。エゼキエル書10章を参照

* 4:1 4:1 または「性的関係を持った」。 † 4:1 4:1
または「妊娠し」。

² 彼女はまた、カインの弟アベルを産んだ。アベルは羊を飼う者となり、カインは土を耕す者となった。

³ 時が経って、カインは地の産物から主へのささげ物を持って来た。

⁴ アベルもまた、自分の羊の初子の中から、その肥えたものを持って来た。主はアベルとそのささげ物に目を留められたが、

⁵ カインとそのささげ物には目を留められなかった。カインは非常に怒り、顔を伏せた。

⁶ 主はカインに言われた。「なぜあなたは怒っているのか。なぜ顔を伏せているのか。」

⁷ もしあなたが良いことをしているなら、顔を上げられるではないか。もし良いことをしていないなら、罪が戸口で待ち伏せている。罪はあなたを慕い求めるが、あなたはそれを治めなければならない。」

⁸ カインは弟アベルに言った。「野に行こう。」彼らが野にいたとき、カインは弟アベルに立ち向かい、彼を殺した。

⁹ 主はカインに言われた。「あなたの弟アベルはどこにいるのか。」

彼は言った。「知りません。私は弟の番人でしょうか。」

¹⁰ 主は言われた。「あなたは何ということをしたのか。あなたの弟の血の聲が、地からわたしに向かって叫んでいる。」

¹¹ 今、あなたは地から呪われる。地はその口を開けて、あなたの手から弟の血を受けた。

¹² 今後、あなたが地を耕しても、地はもはやその力をあなたに与えない。あなたは地上をさまよい歩く逃亡者となる。」

¹³ カインは主に言った。「私の罰は重すぎて、担いきれません。」

14 見よ、あなたは今日、私をこの地の表から追い出されました。私はあなたの御前から隠され、地上をさまよい歩く逃亡者となります。私を見つける者は誰でも私を殺すでしょう。」

15 主は彼に言われた。「それゆえ、カインを殺す者は誰でも、七倍の復讐を受ける。」主はカインに一つのしるしを付けられ、彼を見つける者が誰も彼を打ち殺すことのないようにされた。

16 カインは主の前から去り、エデンの東、ノドの地に住んだ。

17 カインはその妻を知った。彼女は身ごもり、エノクを産んだ。カインは町を建て、その町を息子の名にちなんでエノクと名付けた。

18 エノクにはイラドが生まれた。イラドはメフヤエルの父となり、メフヤエルはメトシャエルの父となり、メトシャエルはレメクの父となった。

19 レメクは二人の妻をめとった。一人の名はアダ、もう一人の名はチラであった。

20 アダはヤバルを産んだ。彼は天幕に住む者たち、また家畜を飼う者たちの父となった。

21 彼の弟の名はユバルであった。彼は竖琴と笛を奏でるすべての者の父となった。

22 チラもまた、トバル・カインを産んだ。彼は青銅と鉄のあらゆる刃物を鍛える者であった。トバル・カインの妹はナアマであった。

23 レメクは妻たちに言った。

「アダとチラよ、私の声を聞け。

レメクの妻たちよ、私の言葉に耳を傾けよ。

私は、私に傷を負わせた男を殺した。

私を打った若者を殺した。

24 カインのための復讐が七倍なら、
レメクのためには七十七倍だ。」

25 アダムは再びその妻を知った。彼女は男の子を産み、その子をセツと名付けて言った。「カインがアベルを殺したので、神がアベルの代わりに別の子を私に授けてくださったからです。」

26 セツにもまた男の子が生まれ、彼はその子をエノスと名付けた。その頃、人々は主の御名を呼び求め始めた。

5

1 これはアダムの系図の書である。神が人を創造された日、神は人を神に似せて造られた。

2 神は彼らを男と女に創造し、彼らを祝福された。彼らが創造された日、神は彼らの人*と名付けられた。

3 アダムは百三十年生きて、彼自身に似た、彼のかたちどおりの男の子の父となり、その子をセツと名付けた。

4 セツの父となって後、アダムは八百年生き、ほかにも息子や娘たちをもうけた。

5 こうして、アダムの全生涯は九百三十年であった。そして彼は死んだ。

6 セツは百五年生きて、エノスの父となった。

7 エノスの父となって後、セツは八百七年生き、ほかにも息子や娘たちをもうけた。

8 こうして、セツの全生涯は九百十二年であった。そして彼は死んだ。

9 エノスは九十年生きて、ケナンの父となった。

10 ケナンの父となって後、エノスは八百十五年生き、ほかにも息子や娘たちをもうけた。

11 こうして、エノスの全生涯は九百五年であった。そして彼は死んだ。

* 5:2 5:2 「アダム」と「人」は、ヘブライ語で同じ語である。

12 ケナンは七十年生きて、マハラレルの父となった。

13 マハラレルの父となって後、ケナンは八百四十年生き、ほかにも息子や娘たちをもうけた。

14 こうして、ケナンの全生涯は九百十年であった。そして彼は死んだ。

15 マハラレルは六十五年生きて、ヤレドの父となった。

16 ヤレドの父となって後、マハラレルは八百三十年生き、ほかにも息子や娘たちをもうけた。

17 こうして、マハラレルの全生涯は八百九十五年であった。そして彼は死んだ。

18 ヤレドは百六十二年生きて、エノクの父となった。

19 エノクの父となって後、ヤレドは八百年生き、ほかにも息子や娘たちをもうけた。

20 こうして、ヤレドの全生涯は九百六十二年であった。そして彼は死んだ。

21 エノクは六十五年生きて、メトセラの父となった。

22 メトセラの父となって後、エノクは三百年、神と共に歩み、ほかにも息子や娘たちをもうけた。

23 こうして、エノクの全生涯は三百六十五年であった。

24 エノクは神と共に歩み、そしていなくなった。神が彼を取られたからである。

25 メトセラは百八十七年生きて、レメクの父となった。

26 レメクの父となって後、メトセラは七百八十二年生き、ほかにも息子や娘たちをもうけた。

27 こうして、メトセラの全生涯は九百六十九年であった。そして彼は死んだ。

²⁸ レメクは百八十二年生きて、一人の男の子の父となった。

²⁹ 彼はその子をノアと名付けて言った。「主が呪われた地のゆえに、私たちの仕事と手の労苦について、この子が私たちを慰めてくれるだろう。」

³⁰ ノアの父となって後、レメクは五百九十五年生き、ほかにも息子や娘たちをもうけた。

³¹ こうして、レメクの全生涯は七百七十七年であった。そして彼は死んだ。

³² ノアは五百歳になり、セム、ハム、ヤペテの父となった。

6

¹ 人が地の表で増え始め、彼らに娘たちが生まれたとき、

² 神の子たちは、人の娘たちが美しいのを見て、自分たちが選んだ者を妻としてめとった。

³ 主は言われた。「わたしの霊は永遠に人と争うことはない。彼もまた肉だからである。彼の日々は百二十年となる。」

⁴ その当時、またその後にも、ネフィリム*が地上にいた。それは、神の子たちが人の娘たちのところに入り、彼女たちが彼らに子どもを産んだからである。彼らは昔の勇士であり、名高い人々であった。

⁵ 主は、地上における人の悪が大きく、人の心に思い計ることが、いつも悪いことばかりであるのを見られた。

⁶ 主は、地の上に人を造ったことを悔やみ、心を痛められた。

⁷ 主は言われた。「わたしが創造した人を地の表から消し去ろう。人とともに、

* 6:4 6:4 または「巨人」。

獣、這うもの、空の鳥も消し去ろう。わたしはこれらを造ったことを悔やんでいるからだ。」

⁸しかし、ノアは主の目に恵みを見出していた。

⁹これがノアの記録である。ノアは義人であり、その時代の人々の中で非の打ち所がなかった。ノアは神と共に歩んだ。

¹⁰ノアは、セム、ハム、ヤペテという三人の息子の父となった。

¹¹地は神の前に腐敗し、地は暴力で満ちていた。

¹²神は地を見られた。見よ、それは腐敗していた。すべての肉なるものが、地上でその道を腐敗させていたからである。

¹³神はノアに言われた。「すべての肉なるものの終わりが、わたしの前に来ている。彼らによって地は暴力で満ちているからだ。見よ、わたしは彼らを地とともに滅ぼす。

¹⁴あなたはゴフェルの木で箱舟を造りなさい。箱舟の中に部屋を造り、内側も外側もピッチで塗りなさい。

¹⁵このようにそれを造りなさい。箱舟の長さは三百キュビト[†]、幅は五十キュビト、高さは三十キュビトとする。

¹⁶箱舟に屋根を造り、上から一キュビトのところで仕上げなさい。箱舟の戸は側面に設けなさい。一階、二階、三階の層にして、それを造りなさい。

¹⁷見よ、わたし、このわたしが、地の上に大水による洪水を起こし、命の息を持つすべての肉を天の下から滅ぼす。地にあるすべてのものは死に絶える。

¹⁸しかし、わたしはあなたと契約を結ぶ。あなたは、あなたの息子たち、あなたの妻、息子たち

[†] 6:15 6:15 キュビトは、男性の腕の中指の先から肘までの長さで、約18インチ、すなわ

の妻たちと一緒に、箱舟に入りなさい。

19 すべての肉なるあらゆる生き物の中から、それぞれ二匹ずつを箱舟に連れて入り、あなたと共に生かしておきなさい。それらは雄と雌でなければならない。

20 それぞれの種類にしたがって、鳥、家畜、地面を這うすべてのものの中から、それぞれ二匹ずつが、生き延びるためにあなたのところに来る。

21 あなたは食べられるすべての食物を自分のために取り、集めておきなさい。それはあなたと彼らのための食物となる。」

22 ノアはそうにした。神が彼に命じられたすべてのとおりに、彼は行った。

7

1 主はノアに言われた。「あなたとあなたの家族は皆、箱舟に入りなさい。この世代の中で、あなたがわたしの前に正しい者であることを見たからである。

2 あなたは、清いすべての動物の中から、雄と雌を七つがいつつ連れて行きなさい。清くない動物の中からは、雄と雌を一つがいつつ連れて行きなさい。

3 空の鳥の中からも、雄と雌を七つがいつつ連れて行きなさい。全地の表に、その種を生かしておくためである。

4 あと七日で、わたしは四十日四十夜、地の上に雨を降らせる。わたしが造ったすべての生き物を、地の表から消し去る。」

5 ノアは、主が命じられたすべてのとおりに行った。

6 地に大水による洪水が起こったとき、ノアは六百歳であった。

7 ノアは洪水から逃れるため、息子たち、妻、息子たちの妻たちと一緒に箱舟に入った。

8 清い動物、清くない動物、鳥、地面を這うすべてのものは、

9 神がノアに命じられたとおりに、雄と雌のつがいになって、ノアのところに来て箱舟に入った。

10 七日後、大水による洪水が地に起こった。

11 ノアの生涯の六百年目、第二の月、その月の十七日、その日に、大いなる淵の源がすべて裂け、天の窓が開かれた。

12 そして、四十日四十夜、地の上に雨が降った。

13 まさにその日、ノアは箱舟に入った。ノアの息子たちセム、ハム、ヤペテ、ノアの妻、息子たちの三人の妻たちも一緒であった。

14 彼らと、それぞれの種類にしたがったすべての野の動物、それぞれの種類にしたがったすべての家畜、それぞれの種類にしたがって地を這うすべてのもの、それぞれの種類にしたがったすべての鳥、翼のあるすべてのものが入った。

15 命の息を持つすべての肉なるものが、つがいになってノアのところに来て箱舟に入った。

16 神がノアに命じられたとおりに、すべての肉なるものの雄と雌が入った。その後、主はノアの後ろで戸を閉ざされた。

17 洪水は四十日間、地の上に続いた。水は増して箱舟を押し上げ、箱舟は地から浮かび上がった。

18 水は勢いを増し、地の上で大いに増し加わった。箱舟は水面を漂った。

19 水は地の上でますます激しく勢いを増し、全天の下にある高い山々はすべて覆われた。

20 水はさらに十五キュビト高くなり、山々は覆われた。

21 地の上を動くすべての肉なるものは死んだ。鳥、家畜、野の動物、地に群がるすべてのこのもの、そしてすべての人が死んだ。

22 乾いた地において、その鼻に命の霊の息を持つすべてのものが死んだ。

23 人、家畜、このもの、空の鳥を含む、地の表にいたすべての生き物が消し去られた。それらは地から消し去られた。ノアと、彼と一緒に箱舟にいた者たちだけが残った。

24 水は百五十日間、地の上で勢いを失わなかった。

8

1 神はノアと、彼と一緒に箱舟にいたすべての野の動物、すべての家畜を心に留められた。神が地の上に風を吹かせると、水は引いていった。

2 淵の源と天の窓は閉じられ、天からの雨は止められた。

3 水は地からしだいに引いていき、百五十日の終わりに水は減った。

4 第七の月の十七日に、箱舟はアララトの山々の上にとどまった。

5 水は第十の月まで、しだいに減り続けた。第十の月の一日に、山々の頂が現れた。

6 四十日の終わりに、ノアは自分が造った箱舟の窓を開け、

7 鳥を放った。鳥は、地から水が乾ききるまで、行ったり来たりした。

8 ノアはまた、地の表から水が引いたかどうかを見るために、鳩を放った。

9 しかし、全地の表に水があったため、鳩は足を休める場所を見つけられず、箱舟のノアのもとへ戻って来た。ノアは手を伸ばして鳩を捕らえ、箱舟の中の自分のところへ引き入れた。

10 ノアはさらに七日待ち、再び箱舟から鳩を放った。

11 夕方になって、鳩はノアのもとへ戻って来た。見よ、そのくちばしには、摘み取られたばかりのオリーブの葉があった。こうしてノアは、地から水が引いたことを知った。

12 ノアはさらに七日待ち、鳩を放った。鳩は二度と彼のもとへ戻って来なかった。

13 第六百一年の第一の月、その月の一日に、地の水は乾いた。ノアは箱舟の覆いを取り外して見た。見よ、地の表は乾いていた。

14 第二の月の二十七日に、地は完全に乾いた。

15 神はノアに語って言われた。

16 「あなた、あなたの妻、あなたの息子たち、あなたの息子たちの妻たちは、一緒に箱舟から出なさい。

17 あなたと一緒にいるすべての肉なるあらゆる生き物、鳥、家畜、地を這うすべてのものを一緒に連れ出ささい。彼らが地に満ち広がり、地の上で子を生み、増えるためである。」

18 ノアは、息子たち、妻、息子たちの妻たちと一緒に外に出た。

19 すべての野の動物、すべての這うもの、すべての鳥、地の上を動くすべてのものは、それぞれの家族ごとに箱舟から出た。

20 ノアは主に祭壇を築き、すべての清い動物とすべての清い鳥の中から選んで、祭壇の上で全焼のささげ物をささげた。

21 主はその芳ばしい香りをかがれた。

主は心の中で言われた。「わたしは、人のゆえに二度と地を呪うことはしない。人の心に思い計ることは、幼い時から悪いからである。わたしは、わたしが行ったように、すべての生き物を二度と打ち滅ぼすことはしない。

22 地が続く限り、種蒔きと刈り入れ、寒さと暑さ、夏と冬、昼と夜がやむことはない。」

9

1 神はノアとその息子たちを祝福して、彼らに言われた。「生めよ。増えよ。地に満ちよ。

2 地のすべての動物、空のすべての鳥、地面を動くすべてのもの、海のすべての魚は、あなたがたを恐れ、おののく。これらはあなたがたの手に委ねられている。

3 生きて動くものはすべて、あなたがたの食物となる。青草を与えたように、わたしはこれらすべてをあなたがたに与える。

4 ただし、その命である血を含んだまま、肉を食べてはならない。

5 わたしは必ず、あなたがたの命の血の責任を問う。すべての動物にもその責任を問う。また人にも、すなわちその兄弟である人にも、人の命の責任を問う。

6 人の血を流す者は、人によって自分の血を流される。神はご自身のかたちに人を造られたからである。

7 あなたがたは、生めよ。増えよ。地に満ち広がり、地の上で増えよ。」

8 神はノアと、彼と一緒にいる息子たちに語って言われた。

9 「見よ、わたしはあなたがたと、あなたがたの後に続く子孫と、わたしの契約を結ぶ。

10 また、あなたがたと一緒にいるすべての生き物、すなわち鳥、家畜、あなたがたと一緒にいる地のすべての動物、箱舟から出たすべてのもの、地のすべての動物と契約を結ぶ。

11 わたしはあなたがたと**契約を結ぶ**。すべての**肉なるものが、再び洪水によって断ち切られる**ことはなく、**地を滅ぼす洪水は二度と起こらない**。」

12 神は言われた。「これは、わたしとあなたがた、またあなたがたと**一緒にいるすべての生き物との間に、代々永遠に結ぶ契約のしるしである**。

13 わたしは**雲の中にわたしの虹を置く**。それが、わたしと**地との間の契約のしるしとなる**。

14 わたしが**地の上に雲を起こし、雲の中に虹が現れるとき、**

15 わたしは、わたしとあなたがた、またすべての**肉なるあらゆる生き物との間にあるわたしの契約を思い起こす**。水が再び洪水となって、すべての**肉なるものを滅ぼすことはない**。

16 **雲の中に虹があるとき、わたしはそれを見て、神と、地の上にあるすべての肉なるあらゆる生き物との間の永遠の契約を思い起こす**。」

17 神はノアに言われた。「これが、わたしと、**地の上にあるすべての肉なるものとの間に、わたしが立てた契約のしるしである**。」

18 箱舟から出たノアの息子たちは、セム、ハム、ヤペテであった。ハムはカナンの父である。

19 この三人がノアの息子たちであり、彼らから**全地の人々が広がった**。

20 ノアは**農夫となり、ぶどう園を作った**。

21 彼は**ぶどう酒を飲んで酔い、天幕の中で裸になっていた**。

22 カナンの父であるハムは、父の裸を見て、外にいる**二人の兄弟に告げた**。

23 セムとヤペテは**着物を取り、それを二人の肩に掛け、後ろ向きに歩いて行き、父の裸を覆った**。彼らは顔を背けていたので、父の裸を見なかった。

24 ノアはぶどう酒から覚め、末の息子が自分にしたことを知った。

25 彼は言った。

「カナンは呪われよ。

彼は兄弟たちのしもべのしもべとなる。」

26 彼は言った。

「セムの神である主は祝福されよ。

カナンはセムのしもべとなれ。

27 神がヤペテを広げてくださるよう。

ヤペテがセムの天幕に住むよう。

カナンは彼のしもべとなれ。」

28 洪水のあと、ノアは三百五十年生きた。

29 こうして、ノアの全生涯は九百五十年であった。そして彼は死んだ。

10

1 これはノアの息子たち、セム、ハム、ヤペテの系図である。洪水のあと、彼らに息子たちが生まれた。

2 ヤペテの息子たちは、ゴメル、マゴグ、マダイ、ヤワン、トバル、メシエク、ティラスである。

3 ゴメルの息子たちは、アシュケナズ、リファト、トガルマである。

4 ヤワンの息子たちは、エリシャ、タルシシユ、キティム、ドダニムである。

5 これらから、海沿いの国々の民が、それぞれ自分たちの土地に分かれていった。彼らは、それぞれの言語、それぞれの氏族、それぞれの国にしたがっていた。

6 ハムの息子たちは、クシュ、ミツライム、プト、カナンである。

7 クシュの息子たちは、セバ、ハビラ、サブタ、ラアマ、サブテカである。ラアマの息子たちは、シェバとデダンである。

8 クシュはニムロドの父となった。ニムロドは地上で力ある者となり始めた。

9 彼は主の前に力ある狩人であった。それゆえ、「主の前に力ある狩人ニムロドのように」と言われるようになった。

10 彼の王国の始まりは、シニアルの地にあるバベル、エレク、アッカド、カルネであった。

11 彼はその地からアッシリアに出て行き、ニネベ、レホボト・イル、カラ、

12 そしてニネベとカラの間にあるレセンを建てた。これが大きな町である。

13 ミツライムは、ルディム、アナミム、レハビム、ナフトヒム、

14 パトルシム、カスルヒム、カフトリムの父となった。ペリシテ人はカスルヒムから出た。

15 カナンは、長子シドン、ヘト、

16 エブス人、アモリ人、ギルガシ人、

17 ヒビ人、アルキ人、シニ人、

18 アルワド人、ツェマリ人、ハマテ人の父となった。その後、カナン人の氏族は散らばっていった。

19 カナン人の境界は、シドンからゲラルに向かつてガザに至り、さらにソドム、ゴモラ、アデマ、ツェボイムに向かつてラシャに至るものであった。

20 これらがハムの息子たちであり、それぞれの氏族、それぞれの言語、その土地、その国々にしたがっていた。

21 エベルのすべての子孫の父であり、ヤペテの兄であるセムにも、子どもたちが生まれた。

22 セムの息子たちは、エラム、アシュル、アルパクシャド、ルデ、アラムである。

23 アラムの息子たちは、ウツ、フル、ゲテル、マシュである。

24 アルパクシャドはシェラの父となり、シェラはエベルの父となった。

25 エベルには二人の息子が生まれた。一人の名はペレグであった。彼の時代に地が分けられたからである。彼の弟の名はヨクタンであった。

26 ヨクタンは、アルモダド、シェレフ、ハツアルマベト、エラ、

27 ハドラム、ウザル、ディクラ、

28 オバル、アビマエル、シェバ、

29 オフィル、ハビラ、ヨバブの父となった。これらは皆、ヨクタンの息子たちであった。

30 彼らの住まいは、メシャから、東の山地であるセファルへ向かう地域であった。

31 これらがセムの息子たちであり、それぞれの氏族、それぞれの言語、その土地、その国々にしたがっていた。

32 これらがノアの息子たちの氏族であり、それぞれの系図にしたがい、その国々にいた。洪水のあと、これらから国々が地上に分かれていった。

11

1 全地は一つの言語、一つの話し言葉であった。

2 人々が東へ移動したとき、* 彼らはシンアルの地に平野を見つけ、そこに住んだ。

3 彼らは互いに言った。「さあ、れんがを作り、よく焼こう。」彼らは石の代わりにれんがを使い、漆喰の代わりに瀝青を使った。

4 彼らは言った。「さあ、自分たちのために町を建て、頂が天に届く塔を建てよう。全地の表に散らされないように、自分たちの名を上げよう。」

5 主は、人の子らが建てた町と塔を見るために下って来られた。

* 11:2 11:2 七十人訳は「東から」と読んでいる。

6 主は言われた。「見よ、彼らは一つの民であり、皆が一つの言語を持っている。そして、これが彼らのし始めたことである。今や、彼らが企てることで、彼らに不可能なことは何もないだろう。

7 さあ、われわれは下って行き、そこで彼らの言語を混乱させ、互いの言葉を理解できないようにしましょう。」

8 こうして主は、彼らをそこから全地の表に散らされた。彼らは町を建てるのをやめた。

9 それゆえ、その名はバベルと呼ばれた。そこで主が全地の言語を混乱させたからである。そこから、主は彼らを全地の表に散らされた。

10 これはセムの系図である。セムは百歳のとき、洪水の二年後にアルパクシャドの父となった。

11 アルパクシャドの父となって後、セムは五百年生き、ほかにも息子や娘たちをもうけた。

12 アルパクシャドは三十五年生きて、シェラの父となった。

13 シェラの父となって後、アルパクシャドは四百年生き、ほかにも息子や娘たちをもうけた。

14 シェラは三十年生きて、エベルの父となった。

15 エベルの父となって後、シェラは四百年生き、ほかにも息子や娘たちをもうけた。

16 エベルは三十四年生きて、ペレグの父となった。

17 ペレグの父となって後、エベルは四百三十年生き、ほかにも息子や娘たちをもうけた。

18 ペレグは三十年生きて、レウの父となった。

19 レウの父となって後、ペレグは二百九年生き、ほかにも息子や娘たちをもうけた。

20 レウは三十二年生きて、セルグの父となった。

21 セルグの父となって後、レウは二百七年生き、ほかにも息子や娘たちをもうけた。

- 22 セルグは三十年生きて、ナホルの父となった。
23 ナホルの父となって後、セルグは二百年
生き、ほかにも息子や娘たちをもうけた。
24 ナホルは二十九年生きて、テラの父となった。
25 テラの父となって後、ナホルは百十九年
生き、ほかにも息子や娘たちをもうけた。
26 テラは七十年生きて、アブラム、ナホル、ハラ
ンの父となった。
27 これはテラの系図である。テラはアブラム、ナ
ホル、ハランの父となった。ハランはロトの父とな
った。
28 ハランは父テラがまだ生きている間に、自
分の生まれた地、カルデアのウルで死んだ。
29 アブラムとナホルは妻をめとった。アブラム
の妻の名はサライ、ナホルの妻の名はミルカであつ
た。ミルカはハランの娘であり、ハランはイスカ
の父でもあつた。
30 サライは不妊で、子どもがいなかった。
31 テラは、息子アブラムと、ハランの息子で自
分の孫であるロトと、息子アブラムの妻で自
分の嫁であるサライを連れて行った。彼らはカナン
の地へ行くために、カルデアのウルを出発した。
彼らはハランに着き、そこに住んだ。
32 テラの生涯は二百五年であつた。テラはハラン
で死んだ。

12

- 1 主はアブラムに言われた。「あなたの国、あな
たの親族、あなたの父の家を離れて、わたしがあな
たに示す地へ行きなさい。
2 わたしはあなたを大いなる国民とする。わたし
はあなたを祝福し、あなたの名を大いなるものとす
る。あなたは祝福となる。

3 わたしは、あなたを祝福する者を祝福し、あなたを侮る者を呪う。地上のすべての家族は、あなたによって祝福される。」

4 こうしてアブラムは、主が彼に言われたとおりに出発した。ロトも彼と一緒にいった。ハランを出発したとき、アブラムは七十五歳であった。

5 アブラムは、妻サライ、兄弟の息子ロト、自分たちが集めたすべての財産、ハランで得た人々を連れていった。彼らはカナン[†]の地へ向かって出発し、カナン[†]の地に入った。

6 アブラムはその地を通り抜け、シェケムの場所、モレの櫟の木に至った。その当時、カナン人がその地にいた。

7 主はアブラムに現れて言われた。「わたしはこの地をあなたの子孫^{*}に与える。」彼は、自分に現れた主のために、そこに祭壇を築いた。

8 彼はそこからベテルの東にある山へ進み、天幕を張った。西にはベテル、東にはアイがあった。彼はそこに主[†]のための祭壇を築き、主の御名を呼び求めた。

9 アブラムは旅を続け、さらに南へと進んでいった。

10 その地に飢饉があった。その地の飢饉が激しかったので、アブラムは寄留者として住むためにエジプトへ下っていった。

11 彼がエジプトに入ろうとして近づいたとき、妻サライに言った。「見よ、あなたが美しい女性であることを、私はよく知っている。

12 エジプト人があなたを見れば、『これは彼の妻だ』と言うだろう。そうすれば、彼らは私を殺し、あなたを生かしておくだろう。

* 12:7 12:7 または「種」。

† 12:8 12:8 ここで「主」と訳されているヘブライ語は、神の固有名[†]「יהוה」(ヤハウェ)である。

13 どうか、私の妹だと言ってくれ。そうすれば、あなたのおかげで私はよく扱われ、あなたによって私の命は助かるだろう。」

14 アブラムがエジプトに入ると、エジプト人たちはサライが非常に美しいのを見た。

15 ファラオの高官たちも彼女を見て、ファラオの前で彼女をほめた。こうして彼女はファラオの家に召し入れられた。

16 ファラオは彼女のゆえにアブラムを厚くもてなした。アブラムは羊、牛、雄ろば、男のしもべ、女のしもべ、雌ろば、らくだを得た。

17 しかし主は、アブラムの妻サライのゆえに、ファラオとその家をひどい災いで打たれた。

18 ファラオはアブラムを呼び寄せて言った。「あなたは私に何ということをしたのか。なぜ彼女があなたの妻であると私に言わなかったのか。」

19 なぜあなたは『彼女は私の妹です』と言ったのか。そのために、私は彼女を妻として迎えてしまった。さあ今、あなたの妻を連れて行け。

立ち去れ。」

20 ファラオはアブラムについて部下たちに命じ、彼らはアブラムを、彼の妻と彼のすべての持ち物とともに送り出した。

13

1 アブラムは、妻と、すべての持ち物、そしてロトと一緒に、エジプトを出てネゲブ地方へ上って行った。

2 アブラムは家畜、銀、金を非常に多く持ち、たいへん豊かであった。

3 彼は旅を続けて、ネゲブからベテルへ向かい、初めに天幕を張っていたベテルとアイの間の場所へ行った。

4 そこは、彼が以前に築いた祭壇の場所であつた。そこでアブラムは主の御名を呼び求めた。

5 アブラムと一緒にいったロトもまた、羊の群れ、牛の群れ、天幕を持っていた。

6 その地は、彼らが一緒に住むには十分ではなかった。彼らの持ち物が多すぎて、一緒に住むことができなかったからである。

7 アブラムの家畜の牧者たちと、ロトの家畜の牧者たちの間に争いが起こった。その当時、カナン人とペリジ人がその地に住んでいた。

8 アブラムはロトに言った。「どうか、私とあなたの間、また私の牧者たちとあなたの牧者たちの間に、争いがないようにしましょう。私たちは親族なのだから。

9 全地があなたの前にあるではないか。どうか、私から別れてほしい。あなたが左へ行くな、私は右へ行こう。あなたが右へ行くな、私は左へ行こう。」

10 ロトが目を上げてヨルダンの低地一帯を見渡すと、ツォアルに至るまで、どこもよく潤っていた。それは主がソドムとゴモラを滅ぼされる前で、主の園のように、またエジプトの地のようであった。

11 そこでロトは、ヨルダンの低地一帯を自分のために選び取った。ロトは東へ旅立ち、彼らは互いに別れた。

12 アブラムはカナンの地に住み、ロトは低地の町々に住んで、ソドムの近くまで天幕を張った。

13 さて、ソドムの人々は主に対して極めて邪悪な罪人であつた。

14 ロトが別れて行った後、主はアブラムに言われた。「さあ、目を上げて、あなたのいる場所から北、南、東、西を見渡しなさい。

15 あなたが見渡しているこのすべての地を、わたしはあなたとあなたの子孫に永遠に与える。

16 わたしはあなたの子孫を地のちりのようにする。もし人が地のちりを数えることができるなら、あなたの子孫も数えることができるだろう。

17 さあ、立って、その地を縦と横に歩き回りなさい。わたしはそれをあなたに与えるからだ。」

18 アブラムは天幕を移し、ヘブロンにあるマムレの樫の木々のところに来て住んだ。そしてそこに、主のための祭壇を築いた。

14

1 シンアルの王アムラフェル、エルラサル王アリオク、エラムの王ケドルラオメル、ゴイムの王ティダルの時代に、

2 これらの王たちは、ソドムの王ベラ、ゴモラの王ビルシャ、アデマの王シナブ、ツェボイムの王シェメベル、そしてベラ、すなわちツォアルの王と戦った。

3 これらの王たちは皆、シディムの谷、すなわち塩の海に集まった。

4 彼らは十二年の間ケドルラオメルに仕えていたが、十三年目に反逆した。

5 十四年目に、ケドルラオメルと彼に味方した王たちが来て、アシュテロテ・カルナイムでレフアイム人を、ハムでズジ人を、シャベ・キルヤタイムでエミム人を、

6 セイルの山地でホリ人を打ち、荒野の近くにあるエル・パランまで進んだ。

7 彼らは引き返してエン・ミシュパト、すなわちカデシュに来て、アマレク人の全土と、ハツアツオン・タマルに住むアモリ人を打った。

8 そこでソドムの王、ゴモラの王、アデマの王、ツェボイムの王、ベラ、すなわちツォアルの王は出て行き、シディムの谷で陣を敷き、彼らに立ち向かった。

9 すなわち、エラムの王ケドルラオメル、ゴイムの王ティダル、シンアルの王アムラフェル、エルラサル王アリオクという四人の王が、五人の王と戦った。

10 さて、シディムの谷には瀝青の穴がたくさんあった。ソドムとゴモラの王たちは逃げてそこに落ち、残りの者たちは山へ逃げた。

11 敵はソドムとゴモラのすべての財産と、すべての食料を奪って去った。

12 彼らはまた、ソドムに住んでいたアブラムの親族ロトとその財産を奪って去った。

13 逃れて来た一人の人が、ヘブライ人アブラムにこのことを告げた。その時、アブラムはアモリ人マムレの檜の木々のそばに住んでいた。マムレはエシュコルとアネルの兄弟であり、彼らはアブラムの同盟者であった。

14 アブラムは自分の親族が捕らえられたことを聞くと、自分の家で生まれた三百十八人の訓練された者たちを率いて、ダンまで追跡した。

15 夜になると、彼はしもべたちを分けて敵を襲い、彼らを打ち、ダマスコの北にあるホバまで追撃した。

16 彼はすべての財産を取り戻し、親族のロトとその財産、また女たちや人々も取り戻した。

17 アブラムがケドルラオメルと、彼に味方した王たちを打ち負かして帰って来たとき、ソドムの王はシャベの谷、すなわち王の谷まで彼を出迎えた。

18 サレムの王メルキゼデクはパンとぶどう酒を持って来た。彼はいと高き神の祭司であった。

19 彼はアブラムを祝福して言った。「天と地の所有者であるいと高き神に、アブラムが祝福されるように。」

20 あなたの敵をあなたの手に渡された、いと高き神がほめたたえられるように。」
アブラムはすべての物の十分の一を彼に与えた。

21 ソドムの王はアブラムに言った。「人々は私に返し、財産はあなたのものとして取ってください。」

22 アブラムはソドムの王に言った。「私は、いと高き神、天と地の所有者である主に、手を上げて誓いました。」

23 あなたのものからは、糸一本も、サンダルの一も一本も取りません。『私がアブラムを富ませた』とあなたが言うことのないようにするためです。

24 ただ、若者たちが食べたものと、私と一緒に行った人々、すなわちアネル、エシュコル、ムレの分け前は別です。彼らにはその分け前を取らせてください。」

15

1 これらのことの後、主の言葉が幻の中でアブラムに臨んだ。「恐れてはならない、アブラムよ。わたしはあなたの盾であり、あなたの非常に大きな報いである。」

2 アブラムは言った。「主なる神* よ、私に何をくださるというのですか。私には子どもがなく、私の家を継ぐ者はダマスコのエリエゼルです。」

* 15:2 15:2 「主」と訳されている語は、ヘブライ語אֲדֹנָי（アドナイ）で、「主人、

3 アブラムは言った。「見よ、あなたは私に子どもを与えてくださいませんでした。見よ、私の家で生まれた者が私の跡継ぎとなるのです。」

4 見よ、主の言葉が彼に臨んだ。「その男はあなたの跡継ぎとはならない。あなた自身から生まれ出る者が、あなたの跡継ぎとなる。」

5 主は彼を外に連れ出して言われた。「さあ、天を仰いで、星を数えなさい。もし数えることができるなら。」そして彼に言われた。「あなたの子孫もそのようになる。」

6 アブラムは主を信じた。主はそれを彼の義とみなされた。

7 また彼に言われた。「わたしは、この地をあなたに与えて受け継がせるため、あなたをカルデアのウルから導き出した主である。」

8 アブラムは言った。「主なる神よ、私がそれを受け継ぐことを、どのようにして知ることができるでしょうか。」

9 主は彼に言われた。「三歳の雌牛、三歳の雌山羊、三歳の雄羊、山鳩、そして家鳩のひなを、わたしのところに持って来なさい。」

10 彼はこれらすべてを持って来て、真ん中から二つに切り裂き、それぞれの半分を互いに向かい合わせて置いた。しかし、鳥は切り裂かなかった。

11 猛禽が死肉の上に降りて来たが、アブラムはそれらを追い払った。

12 日が沈みかけたころ、深い眠りがアブラムに下った。すると見よ、恐怖と大きな闇が彼を襲った。

13 主はアブラムに言われた。「あなたは、このことを確かに知っておきなさい。あなたの子孫は、自分たちのものではない国で寄留者となり、そ

の国の人々に仕える。彼らは四百年の間、あなたの子孫を苦しめる。

¹⁴ しかし、彼らが仕えるその国民を、わたしは裁く。その後、彼らは大きな財産を持って出て来る。

¹⁵ あなた自身は、平安のうちにあなたの先祖のところへ行き、長寿を全うして葬られる。

¹⁶ そして四代目に、彼らはここに帰って来る。アモリ人の罪がまだ満ちていないからである。」

¹⁷ 日が沈んで暗くなったとき、見よ、煙を吐く炉と燃えるたいまつが、これらの切り裂かれた動物の間を通り過ぎた。

¹⁸ その日、主はアブラムと契約を結んで言われた。「わたしはあなたの子孫に、エジプトの川からあの大河、ユーフラテス川までのこの地を与えた。

¹⁹ すなわち、ケニ人、ケナズ人、カデモニ人、

²⁰ ヘト人、ペリジ人、レファイム人、

²¹ アモリ人、カナン人、ギルガシ人、そしてエブス人の地である。」

16

¹ アブラムの妻サライは、彼に子どもを産まなかった。彼女にはハガルという名のエジプト人の女のしもべがいた。

² サライはアブラムに言った。「見よ、主は私に子を産ませてくさいません。どうか、私のしもべのところに入ってください。彼女によって、私も子を得られるかもしれません。」アブラムはサライの言うことを聞いた。

³ アブラムがカナンの地に十年住んだ後、アブラムの妻サライは、エジプト人のしもべハガルを連れて来て、夫アブラムの妻として彼に与えた。

4 アブラムがハガルのところに入ると、彼女が身ごもった。彼女は自分が身ごもったのを知ると、女主人を見下すようになった。

5 サライはアブラムに言った。「私が受けている不当な扱いは、あなたの責任です。私は自分のしもべをあなたに与えました。しかし、彼女は自分が身ごもったのを知って、私を見下しています。主が私とあなたの間を裁かれますように。」

6 アブラムはサライに言った。「見よ、あなたのしもべはあなたの手の中にある。あなたの目に良いと思うように、彼女を扱いなさい。」サライが彼女を厳しく扱ったので、彼女はサライのもとから逃げた。

7 主の使いは、荒野の泉のほとり、シュルヘ行く道にある泉のほとりで彼女を見つけた。

8 彼は言った。「サライのしもべハガルよ、あなたはどこから来たのか。そして、どこへ行くのか。」

彼女は言った。「私は女主人サライのもとから逃げているところです。」

9 主の使いは彼女に言った。「あなたの女主人のもとへ帰り、彼女の手の下に身を低くしなさい。」

10 主の使いは彼女に言った。「わたしはあなたの子孫を大いに増し加える。彼らは多すぎて数えきれないほどになる。」

11 主の使いは彼女に言った。「見よ、あなたは身ごもっており、男の子を産む。あなたはその子をイシュマエルと名付けなさい。主があなたの苦しみを聞き入れられたからである。」

12 彼は野郎ばのような人になる。彼の手はすべての人に向かい、すべての人の手も彼に向かう。彼はすべての兄弟たちと対立して住むようになる。」

13 彼女は、自分に語りかけた主の名を「あなたは私を見てくださる神です」と呼んだ。彼女が「私を見てくださる方を見た後も、なお私は生きているのだろうか」と言ったからである。

14 それゆえ、その井戸はベエル・ラハイ・ロイ*と呼ばれた。見よ、それはカデシュとベレドの間にある。

15 ハガルはアブラムに男の子を産んだ。アブラムはハガルが産んだ自分の息子の名をイシュマエルと呼んだ。

16 ハガルがアブラムにイシュマエルを産んだとき、アブラムは八十六歳であった。

17

1 アブラムが九十九歳になったとき、主がアブラムに現れて言われた。「わたしは全能の神である。わたしの前を歩み、非の打ち所のない者でありなさい。

2 わたしは、わたしとあなたとの間に契約を立て、あなたを大いに増し加える。」

3 アブラムはひれ伏した。神は彼に語って言われた。

4 「見よ、わたしの契約はあなたと共にある。あなたは多くの国民の父となる。

5 あなたの名は、もはやアブラムとは呼ばれない。あなたの名はアブラハムとなる。わたしがあなたを多くの国民の父としたからである。

6 わたしはあなたを大いに実り豊かにする。あなたから国民を起し、あなたから王たちが出る。

7 わたしは、わたしとあなた、またあなたの上に続くあなたの子孫との間に、代々にわたる永

* 16:14 16:14 ベエル・ラハイ・ロイは「生きておられ、私を見ておられる方の井戸」。

遠の契約として、わたしの契約を立てる。それは、わたしがあなたと、あなたの後続くあなたの子孫の神となるためである。

⁸ わたしは、あなたが寄留している地、すなわちカナンの全地を、永遠の所有地としてあなたとあなたの後続くあなたの子孫に与える。わたしは彼らの神となる。」

⁹ 神はアブラハムに言われた。「あなたについては、あなたとあなたの後続くあなたの子孫は、代々にわたってわたしの契約を守らなければならない。

¹⁰ これは、わたしとあなたがた、またあなたの後続く子孫との間で、あなたがたが守るべきわたしの契約である。あなたがたの中のすべての男子は割礼を受けなければならない。

¹¹ あなたがたは包皮の肉に割礼を受けなさい。それが、わたしとあなたがたとの間の契約のしるしとなる。

¹² 代々にわたって、あなたがたの中のすべての男子は、生まれて八日目に割礼を受けなければならない。家で生まれた者も、あなたの子孫ではない外国人から金で買われた者も皆、割礼を受けなければならない。

¹³ あなたの家で生まれた者も、あなたの金で買われた者も、必ず割礼を受けなければならない。わたしの契約は、永遠の契約として、あなたがたの肉にある。

¹⁴ 包皮の肉に割礼を受けていない無割礼の男子は、その民から断ち切られる。彼はわたしの契約を破ったからである。」

¹⁵ 神はアブラハムに言われた。「あなたの妻サライについては、その名をサライと呼んではならない。彼女の名はサラとなる。

16 わたしは彼女を祝福し、彼女によってあなたに男の子を与える。そうだ、わたしは彼女を祝福し、彼女は国民の母となる。彼女から諸民の王たちが出る。」

17 そこでアブラハムはひれ伏して笑い、心の中で言った。「百歳の者に子どもが生まれるだろうか。九十歳のサラが子を産むだろうか。」

18 アブラハムは神に言った。「どうか、イシュマエルがあなたの御前で生きられますように。」

19 神は言われた。「いや、あなたの妻サラがあなたに男の子を産む。あなたはその名をイサク*と名付けなさい。わたしは彼と、彼の後に続く彼の子孫のために、永遠の契約としてわたしの契約を立てる。

20 イシュマエルについても、わたしはあなたの願いを聞き入れた。見よ、わたしは彼を祝福し、彼に子を多く与え、彼を大いに増し加える。彼は十二人の君主の父となり、わたしは彼を大いなる国民とする。

21 しかし、わたしは来年のこの定めの際に、サラがあなたに産むイサクと、わたしの契約を立てる。」

22 神はアブラハムと語り終えられると、彼を離れて上って行かれた。

23 アブラハムは息子イシュマエルと、家で生まれたすべての者、金で買われたすべての者、すなわちアブラハムの家のすべての男子を連れて行き、神が彼に言われたとおり、その同じ日に彼らの包皮の肉に割礼を施した。

24 アブラハムが包皮の肉に割礼を受けたとき、彼は九十九歳であった。

* 17:19 17:19 イサクは「彼は笑う」を意味する。

25 息子イシュマエルが包皮の肉に割礼を受けたとき、彼は十三歳であった。

26 その同じ日に、アブラハムと息子イシュマエルは割礼を受けた。

27 彼の家のすべての男子、家で生まれた者、外国人から金で買われた者も、彼と共に割礼を受けた。

18

1 日の暑いころ、アブラハムが天幕の入り口に座っていると、マムレの樫の木々のそばで、主が彼に現れた。

2 彼が目を見て見ると、三人の人が彼の近くに立っていた。彼らを見ると、アブラハムは天幕の入り口から走って行って彼らを出迎え、地にひれ伏して、

3 言った。「ご主人様。もし私があなたの目に恵みを得ているなら、どうか、しもべのところを通り過ぎて行かないでください。」

4 少しの水を持って来させますから、あなたがたは足を洗い、木の下で休んでください。

5 私は少しのパンを持って来ます。心を休めてから、旅を続けてください。あなたがたが、しもべのところにお立ち寄りになったのですから。」

彼らは言った。「そうしてください。あなたの言うとおりにしてください。」

6 アブラハムは急いで天幕のサラのところへ行き、「早く、上等の小麦粉を三セア*用意してこね、パン菓子を作ってくれ」と言った。

7 アブラハムは牛の群れへ走って行き、柔らかくて良い子牛を取り、しもべに渡した。しもべは急いでそれを調理した。

* 18:6 18:61 セアは約7リットル、または1.9ガロン、あるいは0.8ベックである。

8 アブラハムは凝乳と乳と、調理した子牛を持って来て、彼らの前に置いた。彼が木の下で彼らのそばに立っている間に、彼らは食べた。

9 彼らはアブラハムに尋ねた。「あなたの妻サラはどこにいますか。」

彼は言った。「あそこ、天幕の中です。」

10 その一人が言った。「来年の今ごろ、わたしは必ずあなたのところに戻って来る。見よ、あなたの妻サラには男の子が生まれているだろう。」

サラは彼の後ろにある天幕の入り口で聞いていた。

11 アブラハムとサラは年を取り、非常に高齢であった。サラはすでに子を産む年齢を過ぎていた。

12 サラは心の中で笑って言った。「年老いた私に、このような喜びがあるだろうか。私の主人も年老いているのに。」

13 主はアブラハムに言われた。「なぜサラは笑って、『年老いた私が、本当に子を産めるだろうか』と言ったのか。」

14 主にとって不可能なことがあるだろうか。定められた時に、来年の今ごろ、わたしはあなたのところに戻って来る。そのとき、サラには男の子が生まれている。」

15 サラは恐ろしくなり、「私は笑っていません」と否定した。

彼は言った。「いや、あなたは笑った。」

16 その人たちはそこから立ち上がり、ソドムの方を見下ろした。アブラハムは彼らを見送るために、一緒に行った。

17 主は言われた。「わたしがしようとしていることを、アブラハムに隠しておくべきだろうか。」

18 アブラハムは必ず大いなる強い国民となり、地上のすべての国々は彼によって祝福されるというのに。

19 わたしが彼を選んだのは、彼が後の子どもたちと家族に命じて、主の道を守らせ、義と公義を行わせるためである。それは、主がアブラハムについて語ったことを、彼の上に実現するためである。」

20 主は言われた。「ソドムとゴモラへの叫びは大きく、彼らの罪は非常に重い。

21 わたしは今から下って行き、わたしに届いた叫びのとおり、彼らが悪を行っているかどうかを見る。もしそうでないなら、わたしはそれを知りたい。」

22 その人たちはそこから向きを変えてソドムへ向かったが、アブラハムはなお主の前に立っていた。

23 アブラハムは近づいて言った。「あなたは本当に、義人を悪人と一緒に滅ぼされるのですか。

24 もしその町に五十人の義人がいたらどうでしょうか。その中にいる五十人の義人のために、その場所を赦さず、滅ぼされるのですか。

25 義人を悪人と一緒に殺し、義人を悪人と同じように扱うようなこと、そのようなことをあなたがなさるはずがありません。そんなことはあり得ません。全地の裁き主は、公義を行われるべきではありませんか。」

26 主は言われた。「もしソドムの町の中に五十人の義人が見つかったら、彼らのためにその場所のすべてを赦そう。」

27 アブラハムは答えて言った。「私はちりや灰にすぎませんが、あえて主に申し上げます。

28 もし五十人の義人に五人足りなかったらどうでしょうか。その五人足りないために、町のすべてを滅ぼされるのですか。」

彼は言われた。「もしそこに四十五人見つかったら、わたしは滅ぼさない。」

29 アブラハムは再び神に語りかけて言った。「もしそこに四十人見つかったらどうでしょうか。」

彼は言われた。「その四十人のために、わたしはそれをしない。」

30 彼は言った。「主よ、どうかお怒りにならないでください。私は申し上げます。もしそこに三十人見つかったらどうでしょうか。」

彼は言われた。「もしそこに三十人見つかったら、わたしはそれをしない。」

31 彼は言った。「見よ、私はあえて主に申し上げます。もしそこに二十人見つかったらどうでしょうか。」

彼は言われた。「その二十人のために、わたしは滅ぼさない。」

32 彼は言った。「主よ、どうかお怒りにならないでください。私はあと一度だけ申し上げます。もしそこに十人見つかったらどうでしょうか。」

彼は言われた。「その十人のために、わたしは滅ぼさない。」

33 主はアブラハムと語り終えたと、去って行かれた。アブラハムも自分の場所へ帰った。

19

1 夕暮れに二人の御使いがソドムに着いた。ロトはソドムの門に座っていた。ロトは彼らを見ると、立ち上がって出迎え、地に顔を伏せて拝し、

2 言った。「見よ、ご主人様。どうか、しもべの家に立ち寄って、一晩泊まり、足を洗ってください。そして、朝早く起きて旅を続けてください。」

彼らは言った。「いや、私たちは広場で夜を過ごします。」

3 ロトが強く勧めたので、彼らは彼と共に家に入り、彼の家に來た。彼は彼らのた

めに宴会を催し、種なしパンを焼いた。彼らはそれを食べた。

⁴彼らがまだ寝ないうちに、その町の男たち、ソドムの男たちが、若者から老人まで、町の隅々からやって来て、家を囲んだ。

⁵彼らはロトを呼んで言った。「今夜、お前のところに来た男たちはどこにいるのか。彼らを私たちのところに引き出せ。彼らと関係を持つためだ。」

⁶ロトは戸口にいる彼らのところに出て行き、後ろの戸を閉めて、

⁷言った。「兄弟たち、どうかそんな悪事はしないでくれ。」

⁸見よ、私にはまだ男を知らない二人の娘がいる。どうか彼女たちをあなたがたのところに引き出させてくれ。好きなようにしてくれてよい。ただ、あの男たちには何もしないでくれ。彼らは私の屋根の陰に入ってきたのだから。」

⁹彼らは言った。「退け!」さらに言った。「この男は寄留者として来たのに、裁判官になろうとしている。今度は彼らよりもお前をひどい目に遭わせてやる。」彼らはロトというこの男に激しく詰め寄り、戸を壊そうと近づいた。

¹⁰しかし、あの男たちが手を伸ばしてロトを家の中に引き入れ、戸を閉めた。

¹¹彼らは家の戸口にいる男たちの目を、小さい者から大きい者までくらませたので、彼らは戸口を見つけようとして疲れ果てた。

¹²男たちはロトに言った。「ほかにあなたの身内の者がここにいるか。あなたの婿たち、あなたの息子たち、娘たち、またこの町にいるあなたの身内の者をみな、ここから連れ出さない。」

¹³私たちはこの場所を滅ぼそうとしている。彼らに対する叫びが主の御前で大きくなったので、主は

ここを滅ぼすために私たちを遣わされたからだ。」

14 ロトは出て行き、娘たちをめとることになっていた婿たちに語って言った。「起きて、この場所から出なさい。主がこの町を滅ぼされるからだ。」

しかし、婿たちには彼が冗談を言っているように見えた。

15 朝になったとき、御使いたちはロトを急がせて言った。「立って、ここにいるあなたの妻と二人の娘を連れて行きなさい。さもないと、あなたはこの町の罪のために滅ぼされてしまう。」

16 しかし彼はためらっていた。主が彼にあわれみをかけられたので、男たちは彼の手と、その妻の手と、二人の娘の手をつかみ、彼らを連れ出して町の外に置いた。

17 彼らを外に連れ出したとき、そのうちの一人が言った。「命がけで逃げなさい。後ろを振り返ってはならない。この低地のどこにもとどまってはならない。山へ逃げなさい。さもないと滅ぼされてしまう。」

18 ロトは彼らに言った。「ご主人様、どうかそんなことはありませんように。」

19 見よ、しもべはあなたの目に恵みを得ました。あなたは私の命を救って、私に大きな慈しみを示してくださいました。私は山まで逃げるのができません。災いが私に追いつき、死んでしまうかもしれません。

20 見よ、あそこにある町は逃げるのに近く、小さな町です。どうか、そこへ逃げさせてください。小さい町ではありませんか。そうすれば、私の魂は生き延びるでしょう。」

21 彼はロトに言った。「見よ、わたしはこのことでもあなたの願いを聞き入れよう。あなたが語ったその町は滅ぼさない。

22 急いでそこへ逃げなさい。あなたがそこに着くまでは、わたしは何もできないからだ。」それゆえ、その町の名はツォアル*と呼ばれた。

23 ロトがツォアルに着いたとき、太陽は地の上に昇っていた。

24 そのとき、主は、主のもとから、天からソドムとゴモラの上に硫黄と火を降らせた。

25 主はこれらの町々、低地のすべて、町々のすべての住民、また地の草木を滅ぼされた。

26 しかし、ロトの妻は彼の後ろで振り返ったため、塩の柱になった。

27 アブラハムは朝早く起き、主の前に立っていた場所へ行った。

28 彼がソドムとゴモラ、および低地の全土を見下ろすと、見よ、かまどの煙のように、その地の煙が立ち上っていた。

29 神がその低地の町々を滅ぼされたとき、神はアブラハムを心に留められた。そして、ロトが住んでいた町々を滅ぼされたとき、神はその滅びの中からロトを救い出された。

30 ロトはツォアルを出て上って行き、二人の娘と一緒に山に住んだ。彼はツォアルに住むのを恐れたからである。彼は二人の娘と一緒に洞穴に住んだ。

31 姉は妹に言った。「私たちの父は年をとり、この地には、世の習いに従って私たちのところに来てくれる男の人はいません。

32 さあ、父にぶどう酒を飲ませて、父と一緒に寝ましょう。そうして父によって子孫を残しましょう。」

33 彼女たちはその夜、父にぶどう酒を飲ませた。そして姉が入り、父と一緒に寝た。

* 19:22 19:22 ツォアルは「小さい」を意味する。

父は娘が横になったのも、起き上がったのも知らなかった。

³⁴翌日、姉は妹に言った。「見よ、私は昨夜、父と寝ました。今夜も父にぶどう酒を飲ませましょう。そしてあなたが入って父と寝て、父によって子孫を残しましょう。」

³⁵彼女たちはその夜も父にぶどう酒を飲ませた。妹が起きて父と一緒に寝た。父は娘が横になったのも、起き上がったのも知らなかった。

³⁶こうしてロトの二人の娘は、父によって身ごもった。

³⁷姉は男の子を産み、その名をモアブと名付けた。彼は今日のモアブ人の父である。

³⁸妹も男の子を産み、その名をベン・アミと呼んだ。彼は今日のアンモン人の父である。

20

¹アブラハムはそこからネゲブ地方へ向かって旅をし、カデシュとシュルの間に住んだ。彼はゲラルに寄留した。

²アブラハムは妻サラのことを、「彼女が私の妹です」と言った。ゲラルの王アビメレクは人を遣わし、サラを召し入れた。

³しかし夜の夢の中で、神はアビメレクのところに来て言われた。「見よ、あなたが召し入れた女のゆえに、あなたは死ぬ。彼女は夫のある女だからである。」

⁴アビメレクはまだ彼女に近づいていなかった。彼は言った。「主よ、あなたは正しい民までも殺されるのですか。」

⁵彼自身が私に『彼女は私の妹です』と言ったではありませんか。彼女もまた『彼は私の兄です』と言いました。私は全き心と潔白な手でこのことをしました。」

6 神は夢の中で彼に言われた。「そうだ。あなたが全き心でこのことをしたのを、わたしも知っている。わたしもまた、あなたがわたしに対して罪を犯さないように、あなたを引き止めていた。それゆえ、わたしはあなたが彼女に触れるのを許さなかった。

7 だから今、あの男の妻を返しなさい。彼は預言者であり、あなたのために祈るだろう。そうすればあなたは生きる。もし返さないなら、あなたも、あなたに属するすべての者も必ず死ぬことを、確かに知っておきなさい。」

8 アビメレクは朝早く起き、すべてのしもべたちを呼び寄せ、これらのことをすべて彼らに聞かせた。男たちは非常に恐れた。

9 それからアビメレクはアブラハムを呼んで言った。「あなたは私たちに何ということをしたのか。私があなたに対してどんな罪を犯したというので、私と私の王国にこのような大きな罪をもたらそうとしたのか。あなたは、してはならないことを私にしたのだ。」

10 アビメレクはさらにアブラハムに言った。「あなたは何を考えて、このようなことをしたのか。」

11 アブラハムは言った。「きつとこの場所には神への恐れがなく、人々は私の妻のゆえに私を殺すだろうと思ったからです。

12 それに、彼女は本当に私の妹なのです。私の父の娘ですが、母の娘ではありません。そして、彼女は私の妻になりました。

13 神が私を父の家からさすらいの旅に出させたとき、私は彼女に言いました。『これが、あなたが私に示すべき慈しみです。私たちがどこへ行っても、私について「彼は私の兄です」と言ってください。』」

14 アビメレクは羊、牛、男のしもべ、女のしもべを取ってアブラハムに与え、彼の妻サラを彼に返した。

15 アビメレクは言った。「見よ、私の地はあなたの前にある。あなたの好きな所に住みなさい。」

16 彼はサラに言った。「見よ、私はあなたの兄に銀千枚を与えた。これは、あなたと一緒にいるすべての人の前で、あなたへの償いとなる。こうして、あなたはすべての人の前で潔白とされた。」

17 アブラハムは神に祈った。そこで神はアビメレクと、その妻と、女のしもべたちを癒やされたので、彼女たちは子どもを産むようになった。

18 主が、アブラハムの妻サラのゆえに、アビメレクの家すべての胎を固く閉ざしておられたからである。

21

1 主は言われたとおりにサラを顧みられ、主は語られたとおりにサラになされた。

2 サラは身ごもり、神がアブラハムに告げられた定めの際に、年老いたアブラハムに男の子を産んだ。

3 アブラハムは、自分に生まれた息子、サラが彼に産んだ息子をイサク*と名付けた。

4 アブラハムは、神が彼に命じられたとおりに、息子イサクが生まれて八日目に割礼を施した。

5 息子イサクが生まれたとき、アブラハムは百歳であった。

6 サラは言った。「神は私を笑わせてくださいました。これを聞く者は皆、私と一緒に笑うでしょう。」

* 21:3 21:3 イサクは「彼は笑う」を意味する。

7 彼女はまた言った。「サラが子に乳を飲ませるようになると、誰がアブラハムに言えたでしょうか。しかし私は、彼が年老いてから男の子を産みました。」

8 その子は育ち、乳離れした。イサクが乳離れした日に、アブラハムは盛大な宴会を催した。

9 サラは、エジプト人ハガルがアブラハムに産んだ息子が、あざ笑っているのを見た。

10 それで彼女はアブラハムに言った。「この女のしもべとその息子を追い出してください。この女のしもべの息子は、私の息子イサクと一緒に跡継ぎになるべきではありません。」

11 自分の息子のことだったので、このことはアブラハムにとって非常につらかった。

12 神はアブラハムに言われた。「この少年とあなたの女のしもべのことで、つらく思ってはならない。サラがあなたに言うことはすべて、彼女の声に聞き従いなさい。イサクから出る者が、あなたの子孫と呼ばれるからである。」

13 女のしもべの息子もまた、わたしは一つの国民とする。彼もあなたの子だからである。」

14 アブラハムは朝早く起き、パンと水の皮袋を取り、ハガルに与えて彼女の肩に載せ、少年も託して、彼女を送り出した。彼女は立ち去り、ベエル・シェバの荒野をさまよった。

15 皮袋の水が尽きると、彼女は少年を一本の灌木の下に置いた。

16 彼女は離れて行き、弓の届くほど離れたところに向かい合って座った。「少年が死ぬのを見たくない」と言ったからである。彼女は向かい合って座り、声を上げて泣いた。

17 神は少年の声を聞かれた。

神の使いは天からハガルを呼んで言った。「ハガルよ、どうしたのか。恐れてはならない。神は、あそこにいる少年の声を聞かれたからである。」

18 立ち上がり、少年を起こして、あなたの手で彼をしっかりと支えなさい。わたしは彼を大いなる国民とするからである。」

19 神が彼女の目を開かれたので、彼女は水の井戸を見た。彼女は行って皮袋に水を満たし、少年に飲ませた。

20 神は少年と共におられ、彼は成長した。彼は荒野に住み、弓を射る者となった。

21 彼はパランの荒野に住んだ。彼の母はエジプトの地から彼のために妻を迎えた。

22 そのころ、アビメレクとその軍の長フィコルはアブラハムに語って言った。「あなたがすることすべてに、神はあなたと共におられる。」

23 だから今、ここで神にかけて私に誓ってほしい。私にも、私の子にも、私の子孫にも、決して偽りを行わないと。私があなたに示した慈しみに応じて、私と、あなたが寄留しているこの地に対して、あなたも行つてほしい。」

24 アブラハムは言った。「私は誓います。」

25 アブラハムは、アビメレクのしもべたちが力づくで奪い取った水の井戸のことで、アビメレクに苦情を言った。

26 アビメレクは言った。「誰がそんなことをしたのか、私は知らない。あなたも私に告げず、私も今日まで聞いていなかった。」

27 アブラハムは羊と牛を取ってアビメレクに与え、二人は契約を結んだ。

28 アブラハムは羊の群れから、七匹の雌の小羊を別にして置いた。

29 アビメレクはアブラハムに言った。「あなたが別にして置いたこの七匹の雌の小羊は、どういう意味なのか。」

30 彼は言った。「この七匹の雌の小羊を私の手から受け取ってください。それが、私がこの井戸を掘ったことの証拠となるためです。」

31 それゆえ、彼はその場所をベエル・シェバ[†]と呼んだ。そこで二人が誓いを立てたからである。

32 こうして彼らはベエル・シェバで契約を結んだ。アビメレクと軍の長フィコルは立ち上がり、ペリシテ人の地へ帰って行った。

33 アブラハムはベエル・シェバに一本のぎよりゆうの木を植え、そこで永遠の神である主の御名を呼び求めた。

34 アブラハムはペリシテ人の地に寄留し、多くの日々を過ごした。

22

1 これらのことの後、神はアブラハムを試して、彼に言われた。「アブラハムよ。」

彼は言った。「はい、ここにおります。」

2 神は言われた。「あなたの息子、あなたの愛するひとり子イサクを連れて、モリヤの地へ行きなさい。わたしがあなたに告げる山の一つで、彼を全焼のささげ物としてささげなさい。」

3 アブラハムは朝早く起き、ろばに鞍を置き、二人の若者と息子イサクを連れて行った。彼は全焼のささげ物のための薪を割り、立ち上がって、神が彼に告げられた場所へ向かった。

4 三日目に、アブラハムは目を上げ、遠くにその場所を見た。

[†] 21:31 21:31 ベエル・シェバは「誓いの井戸」または「七の井戸」を意味し得る。

5 アブラハムは若者たちに言った。「ろばと一緒にここに留まっていなさい。私と少年はあそこへ行き、礼拝をしてから、あなたがたのところへ戻って来る。」

6 アブラハムは全焼のささげ物のための薪を取り、息子イサクに負わせた。彼は自分の手に火と刃物を持った。二人は一緒に歩いて行った。

7 イサクは父アブラハムに話しかけて言った。「お父さん。」

彼は言った。「ここにいるよ、わが子よ。」

イサクは言った。「火と薪はありますが、全焼のささげ物のための小羊はどこにあるのですか。」

8 アブラハムは言った。「わが子よ、神ご自身が全焼のささげ物のための小羊を備えてくださる。」こうして、二人は一緒に歩いて行った。

9 彼らは神が彼に告げられた場所に着いた。アブラハムはそこに祭壇を築き、薪を並べ、息子イサクを縛り、祭壇の上の薪の上に彼を置いた。

10 アブラハムは手を伸ばし、息子を屠るために刃物を取った。

11 主の使いは天から彼を呼んで言った。「アブラハム、アブラハム。」

彼は言った。「はい、ここにおります。」

12 御使いは言った。「少年に手を下してはならない。彼に何もしてはならない。あなたが神を恐れる者であることが、今わかったからだ。あなたは自分の息子、自分のひとり子を、わたしに惜しまなかった。」

13 アブラハムが目を上げて見ると、後ろに一匹の雄羊がいて、角を茂みに引っ掛けていた。アブラハムは行ってその雄羊を取り、息子の代わりに全焼のささげ物としてささげた。

14 アブラハムはその場所の名を「主は備えてくださる」*と呼んだ。今日に至るまで、「主の山に、備えがある」と言われている。

15 主の使いは再び天からアブラハムを呼んで、

16 言った。「主はこう言われる。『わたしは自身にかけて誓った。あなたがこのことを行い、自分の息子、自分のひとり子を惜しまなかったので、

17 わたしは必ずあなたを祝福し、あなたの子孫を天の星のように、海辺の砂のように大いに増し加える。あなたの子孫は敵の門を手に入れる。

18 地上のすべての国々は、あなたの子孫によって祝福される。あなたがわたしの声に聞き従ったからである。』」

19 こうしてアブラハムは若者たちのところに戻り、彼らは立ち上がって一緒にベエル・シェバへ行った。アブラハムはベエル・シェバに住んだ。

20 これらのことの後、アブラハムに知らせがあった。「見よ、ミルカもまた、あなたの兄弟ナホルに子どもたちを産みました。

21 長子ウツ、その弟ブズ、アラムの父であるケムエル、

22 ケセド、ハズ、ピルダシュ、イデラフ、ベトエルです。」

23 ベトエルはリベカの父となった。これら八人を、ミルカはアブラハムの兄弟ナホルに産んだ。

24 レウマという名の彼のそばめもまた、テバ、ガハム、タハシュ、マアカを産んだ。

23

1 サラの生涯は百二十七年であった。これがサラの生きた年数である。

* 22:14 22:14 または「主は見ておられる」。

2 サラはカナンの地にあるキルヤト・アルバ、すなわちヘブロンで死んだ。アブラハムはサラのために悼み、泣くためにやって来た。

3 アブラハムは亡き妻の前から立ち上がり、ヘトの人々に語って言った。

4 「私はあなたがたの間に住む寄留者であり、滞在者です。私の死者を目の前から葬ることができるように、あなたがたの間に、私のための墓地を所有地として譲ってください。」

5 ヘトの人々はアブラハムに答えて言った。

6 「ご主人様、私たちの言うことを聞いてください。あなたは私たちの間で、神に立てられた君主です。私たちの最も良い墓に、あなたの死者を葬ってください。あなたが死者を葬るために、自分の墓をあなたに差し出すことを拒む者は、私たちの中には誰もいません。」

7 アブラハムは立ち上がり、その地の人々、すなわちヘトの人々に向かってお辞儀をした。

8 彼は彼らに語って言った。「もしあなたがたが、私の死者を私の目の前から葬ることに同意してくださるなら、私の言うことを聞き、ツォハルの子エフロンに私のために頼んでください。」

9 彼が所有している、彼の畑の端にあるマクペラの洞穴を私に譲ってくれるように。十分な代価で、あなたがたの間で、墓地の所有地として私に譲ってくれるように。」

10 その時、エフロンはヘトの人々の中に座っていた。ヘト人エフロンは、ヘトの人々、すなわち彼の町の門を出入りするすべての人々が聞いているところで、アブラハムに答えて言った。

11 「いいえ、ご主人様。私の言うことを聞いてください。その畑はあなたに差し上げます。その中にある洞穴もあなたに差し上げます。私の民の人々

の前で、それをあなたに差し上げます。あなたの死者を葬ってください。」

12 アブラハムはその地の人々の前でお辞儀をした。

13 彼はその地の人々が聞いているところで、エフロンに語って言った。「どうか、あなたが許してくださるなら、私の言うことを聞いてください。私はその畑の代価を払います。私からそれを受け取ってください。そうして、私はあそこに私の死者を葬ります。」

14 エフロンはアブラハムに答えて言った。

15 「ご主人様、私の言うことを聞いてください。四百シェケル*の銀の土地が、私とあなたの間で何ほどのことでしょうか。あなたの死者を葬ってください。」

16 アブラハムはエフロンの言うことを聞いた。アブラハムは、ヘトの人々が聞いているところでエフロンが口にした銀、すなわち商人の間で通用する重さにしたがって、四百シェケルの銀を量り、エフロンに渡した。

17 こうして、マムレの前にあるマクペラにあったエフロンの畑、すなわちその畑とその中にあった洞穴、そしてその畑のすべての境界内にあるすべての木々は、

18 ヘトの人々の前で、彼の町の門を出入りするすべての人々の前で、アブラハムの所有地として確定された。

19 その後、アブラハムはカナンの地にあるマムレ、すなわちヘブロンの前にあるマクペラの畑の洞穴に、妻サラを葬った。

* 23:15

1シェケルは約10グラム、すなわち約0.35オンスである。

20 その畑とそこにある洞穴は、ヘトの人々によって、墓地の所有地としてアブラハムのものとされた。

24

1 アブラハムは年をとり、非常に高齢であった。主はすべてのことにおいてアブラハムを祝福しておられた。

2 アブラハムは、自分のすべての持ち物を管理している家の最年長のしもべに言った。「どうか、あなたの手を私のももの下に入れてくれ。

3 私は天の神であり地の神である主にかけて、あなたに誓わせる。私が一緒に住んでいるカナン人の娘たちの中から、私の息子のために妻をめぐってはならない。

4 あなたは私の故郷、私の親族のところへ行き、私の息子イサクのために妻をめぐりなさい。」

5 しもべは彼に言った。「もし、その女の人が私についてこの地に来ることを望まなかったら、どうしましょうか。私はあなたの息子を、あなたが出て来られたその地に連れ戻さなければなりませんか。」

6 アブラハムは彼に言った。「決して私の息子をあそこへ連れ戻してはならない。

7 私を父の家から、私の生まれた地から連れ出し、私に語り、私に誓って『あなたの子孫に、わたしはこの地を与える』と言われた天の神、主が、ご自身の御使いをあなたの前に遣わしてくださる。あなたはそこから、私の息子のために妻をめぐりなさい。

8 もしその女の人があなたについて来ることを望まないなら、あなたは私の私への誓いから解かれる。ただ、私の息子をあそこへ連れ戻してはならない。」

9 しもべは主人アブラハムのももの下に手を入れ、このことについて彼に誓った。

10 しもべは主人のらくだの中から十頭のらくだを取り、主人のさまざまな良い品々を携えて出発した。彼は立ち上がり、メソポタミアへ、ナホルの町へ向かった。

11 彼は夕暮れ時、女たちが水を汲みに出て来るころに、町の外の水の井戸のそばに、らくだを伏せた。

12 彼は言った。「私の主人アブラハムの神、主よ。どうか今日、私のために事を成し遂げ、私の主人アブラハムに慈しみを示してください。

13 見よ、私は水の泉のそばに立っています。この町の人々の娘たちが水を汲みに出て来ます。

14 私が『どうか、あなたの水差しを傾けて、私に飲ませてください』と言ったとき、その娘が『お飲みください。あなたのらくだにも水を飲ませましょう』と答えたなら、その人こそ、あなたがあなたのしもベイサクのために定めておられた女性としてください。それによって、あなたが私の主人に慈しみを示されたことを、私は知るでしょう。』

15 彼がまだ言い終わらないうちに、見よ、リベカが水差しを肩に載せて出て来た。彼女はアブラハムの兄弟ナホルの妻ミルカが産んだベトエルの娘であった。

16 その若い女は非常に美しく、処女で、男を知らなかった。彼女は泉に下りて行き、水差しを満たして上がって来た。

17 しもべは走って彼女を迎えに行き、言った。「どうか、あなたの水差しから少し水を飲ませてください。」

18 彼女は言った。「お飲みください、ご主人様。」彼女は急いで水差しを手を下ろし、彼に飲ませた。

19 彼に水を飲ませ終わると、彼女は言った。「あなたのらくだのためにも、みな飲み終わるまで水を汲みましょう。」

20 彼女は急いで水差しの水を水桶に空け、再び水を汲むために井戸へ走って行き、彼のすべてのらくだのために水を汲んだ。

21 その人は、主が自分の旅を成功させてくださったかどうかを知ろうとして、黙って彼女を見つめていた。

22 らくだが水を飲み終わると、その人は重さ一ベカ*の金の鼻輪と、彼女の手首のために重さ十シェケルの二つの金の腕輪を取り出して、

23 言った。「あなたは誰の娘ですか。私に教えてください。あなたの父の家には、私たちが泊まる場所がありますか。」

24 彼女は彼に言った。「私は、ミルカがナホルに産んだ息子ベトエルの娘です。」

25 彼女はさらに彼に言った。「私たちのところには、わらも飼葉もたくさんあり、泊まる場所もあります。」

26 その人は頭を下げて、主を礼拝した。

27 彼は言った。「私の主人アブラハムの神、主がほめたたえられますように。主は私の主人に対する慈しみと真実をお捨てになりませんでした。主はこの旅で、私を主人の兄弟の家へと導いてくださいました。」

28 若い女は走って行き、これらのことを母の家の者たちに告げた。

* 24:22 24:22 1ベカは半シェケルで、約5グラム、すなわち約0.18オンスである。

29 リベカにはラバンという名の兄がいた。ラバンは外にいるその人のところへ、泉へ向かって走って行った。

30 彼は妹の手に鼻輪と腕輪があるのを見、また妹のリベカが「あの人は私にこのように言いました」と語るのを聞いて、その人のところへ行った。見よ、その人は泉のそばで、らくだの傍らに立っていた。

31 彼は言った。「お入りください、主に祝福された方よ。なぜ外に立っておられるのですか。私は家を整え、らくだの場所も用意しました。」

32 その人は家に入った。ラバンはらくだの荷を解き、らくだにわらと飼葉を与え、その人と、彼と一緒にいる人々の足を洗うための水を与えた。

33 彼の前に食事が置かれたが、彼は言った。「私が自分の用件を話すまでは、いただきません。」

ラバンは言った。「話してください。」

34 彼は言った。「私はアブラハムのしもべです。」

35 主は私の主人を大いに祝福され、主人は大いなる者となりました。主は主人に羊と牛、銀と金、男のしもべと女のしもべ、らくだとろばをお与えになりました。

36 私の主人の妻サラは、年老いてから私の主人に男の子を産みました。主人は彼に自分のすべての持ち物を与えました。

37 私の主人は私に誓わせて言いました。『私がその地に住んでいるカナン人の娘たちの中から、私の息子のために妻をめとってはならない。』

38 むしろ、あなたは私の父の家、私の親族のところへ行き、私の息子のために妻をめとりなさい。』

39 私は主人に言いました。『もし、その女の人が私について来なかったらどうしましょうか。』

40 主人は私に言いました。『私がその御前を歩んでいる主が、御使いをあなたと一緒に遣わし、あなたの旅を成功させてくださる。あなたは私の親族、私の父の家から、私の息子のために妻をめとるだろう。』

41 あなたが私の親族のところに行けば、私への誓いから解かれる。もし彼らがあなたにその娘を与えないとしても、あなたは私への誓いから解かれる。』

42 私は今日、泉のところに来て、こう言いました。『私の主人アブラハムの神、主よ。どうか今、私が進んでいる旅を成功させてください。』

43 見よ、私は水の泉のそばに立っています。水を汲みに出て来る若い女に、私が「どうか、あなたの水差しから少し水を飲ませてください」と言い、

44 彼女が私に「お飲みください。あなたのらくだのためにも水を汲みましょう」と言ったなら、その人こそ、主が私の主人の息子のために定めておられた女性としてください。』

45 私が心の中で言い終わらないうちに、見よ、リベカが水差しを肩に載せて出て来ました。彼女は泉に下りて行き、水を汲みました。私は彼女に『どうか、私に飲ませてください』と言いました。

46 彼女は急いで肩から水差しを下ろし、『お飲みください。あなたのらくだにも飲ませましょう』と言いました。それで私は飲み、彼女はらくだにも飲ませてくれました。

47 私は彼女に尋ねて、『あなたは誰の娘です

か』と言いました。彼女は『私はミルカがナホルに産んだ息子ベトエルの娘です』と答えました。そこで私は彼女の鼻に輪を付け、彼女の手首に腕輪を付けました。

48 私は頭を下げて主を礼拝し、私の主人アブラハムの神、主をほめたたえました。主は、主人の兄弟の娘をその息子のためにめとるよう、私を正しい道に導いてくださいました。

49 今、もしあなたがたが私の主人に慈しみと真実をもって接してくださるなら、私にそう教えてください。もしそうでないなら、私にそう教えてください。私が右か左に向かえるようにするためです。」

50 すると、ラバンとベトエルは答えて言った。「このことは主から出たことですから、私たちはあなたに善悪を言うことはできません。

51 見よ、リベカはあなたの前にいます。彼女を連れて行き、主が言われたとおり、あなたの主人の息子の妻としてください。」

52 アブラハムのしもべは彼らの言葉を聞くと、地に向かってひれ伏し、主を礼拝した。

53 しもべは銀の飾り物、金の飾り物、そして衣服を取り出し、リベカに与えた。彼はまた、彼女の兄と母にも高価な贈り物を与えた。

54 彼と、彼と一緒にいた人たちは、飲み食いしてそこに泊まった。彼らが朝起きると、しもべは言った。「私を主人のところへ帰らせてください。」

55 彼女の兄と母は言った。「この娘を、あと数日、少なくとも十日は私たちのところに留まらせてください。その後で、彼女は行くでしょう。」

56 しもべは彼らに言った。「私を引き止めないでください。主が私の旅を成功させてくださったので

すから。私を送り出してください。私の主人のところへ帰ります。」

57 彼らは言った。「娘を呼んで、彼女自身の口から聞いてみましょう。」

58 彼らはリベカを呼んで言った。「あなたはこの人と一緒に行きますか。」

彼女は言った。「行きます。」

59 彼らは妹リベカと彼女の乳母、そしてアブラハムのしもべと彼の人々を送り出した。

60 彼らはリベカを祝福して言った。

「私たちの妹よ。

あなたは幾千万の母となるように。

あなたの子孫が、

彼らを憎む者たちの門を勝ち取るように。」

61 リベカとその女のしもべたちは立ち上がり、らくだに乗ってその人について行った。しもべはリベカを連れて旅立った。

62 そのころ、イサクはベエル・ラハイ・ロイの方から戻って来ていた。彼はネゲブ地方に住んでいたからである。

63 イサクは夕暮れ時、野に黙想するために出て行った。彼が目を上げて見ると、見よ、らくだがやって来た。

64 リベカも目を上げ、イサクを見ると、らくだから降りた。

65 彼女はしもべに言った。「私たちを迎えに、野を歩いて来るあの人は誰ですか。」

しもべは言った。「私の主人です。」

彼女はバールを取って自分を覆った。

66 しもべは自分が行ったすべてのことをイサクに告げた。

67 イサクは彼女を母サラの天幕に連れて入り、リベカをめとった。彼女は彼の妻となり、彼は彼女を愛した。イサクは母の死後、慰めを得た。

25

1 アブラハムはもう一人の妻をめとった。彼女の名はケトラであった。

2 彼女は彼に、ジムラン、ヨクシャン、メダン、ミディアン、イシュバク、シュアを産んだ。

3 ヨクシャンはシバとデダンの父となった。デダンの息子たちは、アシュリ人、レトシ人、レウミ人であった。

4 ミディアンの息子たちは、エファ、エフェル、ハノク、アビダ、エルダアであった。これらは皆、ケトラの子どもたちであった。

5 アブラハムは自分のすべての持ち物をイサクに与えた。

6 しかし、アブラハムのそばめたちの息子たちには、アブラハムは贈り物を与えた。彼はまだ生きている間に、彼らを息子イサクから離して、東の方、東の国へ送り出した。

7 アブラハムが生きた年数は百七十五年であった。

8 アブラハムは息を引き取って死んだ。長寿を全うし、老いて満ち足り、自分の民に加えられた。

9 息子たちであるイサクとイシュマエルは、彼をマクペラの洞穴に葬った。そこはマムレの前にある、ヘト人ツォハルの子エフロンの畑であった。

10 その畑は、アブラハムがヘトの人々から買い取ったものである。そこにアブラハムと妻サラが葬られた。

11 アブラハムの死後、神はその息子イサクを祝福された。イサクはベエル・ラハイ・ロイの近くに住んだ。

12 これは、サラのしもべであるエジプト人ハガルがアブラハムに産んだ、アブラハムの息子イシュマエルの系図である。

13 これらは、それぞれの名によるイシュマエルの息子たちの名である。イシュマエルの長子ネバヨト、次にケダル、アドベエル、ミブサム、

14 ミシュマ、ドマ、マサ、

15 ハダド、テマ、エツル、ナフィシュ、ケデマである。

16 これらがイシュマエルの息子たちであり、それぞれの村々、それぞれの宿営地に基づく彼らの名である。彼らは、それぞれの国々による十二人の君主たちであつた。

17 イシュマエルの生涯は百三十七年であつた。彼は息を引き取って死に、自分の民に加えられた。

18 彼らは、エジプトの前にあるハビラから、アッシリアへ行く道にあるシュルに至るまで住んだ。彼はすべての兄弟たちと対立して住んだ。

19 これはアブラハムの息子イサクの系図である。アブラハムはイサクの父となつた。

20 イサクは四十歳のとき、パダン・アラムのアラム人ベトエルの娘であり、アラム人ラバンの妹であるリベカを妻にめとつた。

21 イサクは妻のために主に願い求めた。彼女が不妊であつたからである。主は彼の願いを聞き入れ、妻リベカは身ごもつた。

22 子どもたちが彼女の胎内でぶつかり合つたので、彼女は言った。「こんなことなら、どうして私は生きているのだろうか。」彼女は主に尋ねに行つた。

- 23 主は彼女に言われた。
「二つの国民があなたの胎内にあり、
二つの民があなたの体から分かれ出る。
一つの民はもう一つの民より強くなり、
兄が弟に仕える。」
- 24 彼女の出産の日が満ちたとき、見よ、彼女の胎内には双子がいた。
- 25 最初の男の子が出て来た。彼は赤く、全身が毛衣のようであった。彼らはその名をエサウ*と名付けた。
- 26 その後、弟が出て来た。彼の手はエサウのかかとをつかんでいた。彼らはその名をヤコブ†と名付けた。彼らが生まれたとき、イサクは六十歳であった。
- 27 少年たちは成長した。エサウは熟練した狩人となり、野の人となった。ヤコブは物静かな人で、天幕に住んでいた。
- 28 イサクはエサウを愛した。エサウの獲物が好みだったからである。しかし、リベカはヤコブを愛した。
- 29 ヤコブが煮物を煮ているとき、エサウが野から帰って来た。彼は疲れ果てていた。
- 30 エサウはヤコブに言った。「どうか、その赤いものを、あの赤いものを私に食べさせてくれ。私は疲れ果てているからだ。」それゆえ、彼の名はエドム‡と呼ばれた。
- 31 ヤコブは言った。「まず、あなたの長子の権利を私に売ってください。」
- 32 エサウは言った。「見よ、私は死にそうだ。この長子の権利が私にとって何になるというのか。」

* 25:25 25:25 エサウは「毛深い」を意味する。 † 25:26 25:26 ヤコブは「かかとをつかむ者」または「押しのける者」を意味する。
‡ 25:30 25:30 エドムは「赤い」を意味する。

33 ヤコブは言った。「まず、私に誓ってください。」

エサウは彼に誓い、自分の長子の権利をヤコブに売った。

34 ヤコブはエサウにパンとレンズ豆の煮物を与えた。エサウは食べて飲み、立ち上がって去って行った。このようにして、エサウは自分の長子の権利を軽んじた。

26

1 アブラハムの時代にあった先の飢饉とは別に、その地にまた飢饉があった。イサクはゲラルにいるペリシテ人の王アビメレクのところへ行った。

2 主は彼に現れて言われた。「エジプトへ下って行ってはならない。わたしがあなたに告げる地に住みなさい。」

3 この地に寄留しなさい。そうすれば、わたしはあなたと共にいて、あなたを祝福する。わたしはあなたとあなたの子孫に、これらのすべての地を与え、あなたの父アブラハムに誓った誓いを果たすからである。

4 わたしはあなたの子孫を空の星のように増やし、これらすべての地をあなたの子孫に与える。地上のすべての国々は、あなたの子孫によって祝福される。

5 それは、アブラハムがわたしの声に聞き従い、わたしの言いつけ、命令、掟、教えを守ったからである。」

6 イサクはゲラルに住んだ。

7 その場所の人々が彼の妻について尋ねると、彼は「彼女は私の妹です」と言った。彼は「私の妻です」と言うのを恐れたのである。リベカは美しかったので、「この場所の人々がリベカ

のゆえに私を殺すかもしれない」と考えたからである。

⁸ 彼がそこに長く滞在していた時のことである。ペリシテ人の王アビメレクが窓から外を見ると、見よ、イサクが妻リベカと親しげにしていた。

⁹ アビメレクはイサクを呼んで言った。「見よ、彼女は確かにあなたの妻ではないか。なぜあなたは『彼女は私の妹です』と言ったのか。」

イサクは彼に言った。「彼女のゆえに私が死ぬかもしれないと思ったからです。」

¹⁰ アビメレクは言った。「あなたは何ということをしてくれたのか。民の一人があなたの妻と寝ていたら、あなたは私たちに罪をもたらしところだではないか。」

¹¹ アビメレクはすべての民に命じて言った。「この男、またはその妻に触れる者は、必ず殺される。」

¹² イサクはその地に種を蒔き、その年に百倍の収穫を得た。主が彼を祝福されたのである。

¹³ 彼は豊かになり、ますます栄え、ついに非常に豊かな者となった。

¹⁴ 彼は羊の群れ、牛の群れ、そして多くのしもべを持つようになった。ペリシテ人は彼をねたんだ。

¹⁵ 彼の父アブラハムの時代に、父のしもべたちが掘ったすべての井戸を、ペリシテ人は土で埋めて塞いでしまっていた。

¹⁶ アビメレクはイサクに言った。「私たちのところから去ってくれ。あなたは私たちよりもはるかに強くなったからだ。」

¹⁷ イサクはそこを去り、ゲラルの谷に天幕を張って、そこに住んだ。

¹⁸ イサクは、父アブラハムの時代に掘られた水の井戸を再び掘った。アブラハムの死後、ペリ

シテ人がそれらを塞いでいたからである。彼は、父がつけた名前のおりに、それらの井戸に名前をつけた。

19 イサクのしもべたちが谷を掘ると、そこに湧き出る水の井戸を見つけた。

20 ゲラルの牧者たちはイサクの牧者たちと争い、「その水は私たちのものだ」と言った。彼らがイサクと争ったので、イサクはその井戸の名をエセク*と呼んだ。

21 彼らは別の井戸を掘ったが、それについても彼らは争った。それで彼はその名をシテナ†と呼んだ。

22 彼はそこから移り、さらに別の井戸を掘った。それについては彼らは争わなかった。それで彼はその名をレホボト‡と呼んで言った。

「今や主が私たちのために場所を広げてくださった。私たちはこの地で増えるだろう。」

23 彼はそこからベエル・シェバへ上って行った。

24 その夜、主は彼に現れて言われた。「わたしはあなたの父アブラハムの神である。恐れてはならない。わたしはあなたと共にいる。わたしのしもべアブラハムのゆえに、わたしはあなたを祝福し、あなたの子孫を増やす。」

25 彼はそこに祭壇を築き、主の御名を呼び求め、そこに天幕を張った。そこでイサクのしもべたちは井戸を掘った。

26 その時、アビメレクがゲラルから、彼の友人アフザテと軍の長フィコルと共に、イサクのところへやって来た。

* 26:20 26:20 エセクは「争い」を意味する。

シテナは「敵意」または「対立」を意味する。

レホボトは「広い場所」を意味する。

† 26:21 26:21

‡ 26:22 26:22

27 イサクは彼らに言った。「あなたがたは私を憎み、あなたがたのところから私を追い出したのに、なぜ私のところへ来たのですか。」

28 彼らは言った。「私たちは、主があなたと共におられるのをはつきりと見ました。それで私たちは言いました。『どうか、私たちの間、すなわち私たちとあなたの間に誓いを立てさせてほしい。私たちと契約を結んでほしい。』

29 私たちがあなたに触れず、あなたに良いことだけを行い、あなたを安らかに送り出したように、あなたも私たちに害を加えないでほしい』と。あなたは今、主に祝福された人です。」

30 イサクは彼らのために宴会を催し、彼らは飲み食いした。

31 彼らは朝早く起き、互いに誓いを立てた。イサクが彼らを送り出すと、彼らは安らかに去って行った。

32 同じ日に、イサクのしもべたちが来て、自分たちが掘った井戸について彼に告げて言った。「私たちは水を見つけました。」

33 彼はそれをシバ[§]と呼んだ。それゆえ、その町の名は今日に至るまでベエル・シェバである。

34 エサウは四十歳のとき、ヘト人ベエリの娘ユデイトと、ヘト人エロンの娘バセマテを妻にめとった。

35 彼女たちはイサクとリベカにとって、心の痛みとなった。

27

1 イサクが年をとり、目がかすんで見えなくなったとき、彼は長男エサウを呼んで、「私の子よ」と言った。

§ 26:33 26:33 シバは「誓い」または「七」を意味する。

エサウは彼に「はい、ここにおります」と言っ
た。

²彼は言った。「見よ、私は年をとった。自
分が死ぬ日知らない。

³だから今、どうかあなたの武器である矢
筒と弓を取り、野に出て行き、私のために獲物をし
とめて来てくれ。

⁴私の好きなおいしい料理を作り、私のところ
に持って来なさい。私がそれを食べ、死ぬ前にあな
たを祝福するためだ。」

⁵リベカは、イサクが息子エサウに話しているの
を聞いていた。エサウは獲物をしとめて持ってくる
ために、野へ出て行った。

⁶リベカは息子ヤコブに語って言った。「私はあ
なたの父上が、あなたの兄エサウにこう話している
のを聞きました。

⁷『私のために獲物を持って来なさい。そしてお
いしい料理を作り、私に食べさせてくれ。そうし
て私が死ぬ前に、主の前であなたを祝福するため
だ』と。

⁸だから今、私の子よ、私があなたに命じるとお
りに、私の声に従いなさい。

⁹今すぐ羊の群れのところへ行き、そこか
ら良い子山羊を二匹取って来なさい。私はそれ
で、あなたの父上が好きなおいしい料理を作ります。

¹⁰あなたはそれを父上に持って行き、食べてもら
いなさい。死ぬ前に、父上があなたを祝福するため
です。」

¹¹ヤコブは母リベカに言った。「兄エサウは毛
深い人ですが、私は肌が滑らかな人です。

¹²もし父上が私に触れたらどうなるでしょうか。
私は父上を欺く者とみなされ、祝福ではなく呪い
を自分に招くことになるでしょう。」

13 母は彼に言った。「私の子よ、あなたの呪いは私が引き受けます。ただ私の声に聞き従い、行って、それらを取って来なさい。」

14 彼は行って、それらを取り、母のところに持って来た。母は彼の父が好きなおいしい料理を作った。

15 リベカは、家の中で自分の手元にあった長男エサウの上等の服を取り、それを次男ヤコブに着せた。

16 彼女は子山羊の毛皮を、彼の手と首の滑らかな部分に巻きつけた。

17 そして彼女は、自分が作ったおいしい料理とパンを、息子ヤコブの手に渡した。

18 彼は父のところへ行き、「お父さん」と言った。

父は言った。「ここにいるよ。私の子よ、お前は誰だ。」

19 ヤコブは父に言った。「私はあなたの長男エサウです。あなたが言われたとおりにしました。どうか起き上がり、座って私の獲物を食べてください。そうして、あなたが私を祝福してくださるためです。」

20 イサクは息子に言った。「私の子よ、どうしてこんなに早く見つけられたのか。」

彼は言った。「あなたの神、主が私を成功させてくださったからです。」

21 イサクはヤコブに言った。「私の子よ、どうか近くに來なさい。私があなたに触れて、あなたが本当に私の息子エサウかどうかを確かめよう。」

22 ヤコブは父イサクに近づいた。イサクは彼に触れて言った。「声はヤコブの声だが、手はエサウの手だ。」

23 ヤコブの手が兄エサウの手のように毛深かった
ので、イサクは彼を見分けられなかった。こうして
イサクは彼を祝福した。

24 彼は言った。「あなたは本当に、私の息子エサ
ウなのか。」

彼は言った。「そうです。」

25 イサクは言った。「それを私の近くに持つ
て来なさい。息子の獲物を食べて、あなたを祝福し
よう。」ヤコブがそれを近くに持って行くと、
彼は食べた。またヤコブがぶどう酒を持って行く
と、彼は飲んだ。

26 父イサクは彼に言った。「私の子よ、さあ近く
に来て、私に口づけしなさい。」

27 ヤコブは近づいて、彼に口づけした。イサク
は彼の服の香りをかぎ、彼を祝福して言った。

「見よ、私の息子の香りは、

主が祝福された野の香りのようだ。

28 神が天の露と、

地の豊かな産物を、

そして豊かな穀物と新しいぶどう酒をあなた
に与えられるように。

29 多くの民があなたに仕え、

多くの国々があなたにひれ伏すように。

あなたの兄弟たちの主となれ。

あなたの母の息子たちがあなたにひれ伏すよう
に。

あなたを呪う者は皆、呪われ、

あなたを祝福する者は皆、祝福されるよう
に。」

30 イサクがヤコブを祝福し終え、ヤコブが父イサ
クの前から出て行くとすぐに、兄エサウが狩りか
ら帰って来た。

31 彼もおいしい料理を作り、それを父のところ
に持って行った。彼は父に言った。「お父さん、

起き上がって息子の獲物を食べてください。そうして、あなたが私を祝福してくださるためです。」

32 父イサクは彼に言った。「お前は誰だ。」

彼は言った。「私はあなたの息子、あなたの長男エサウです。」

33 イサクは激しく身震いして言った。「それでは、獲物をしとめて私のところに持って来たのは誰だったのか。お前が来る前に、私はそのすべてを食べ、彼を祝福してしまった。そうだ、彼は祝福されるだろう。」

34 エサウは父の言葉を聞くと、非常に大きな、苦々しい叫び声を上げて、父に言った。「お父さん、私を、この私をも祝福してください。」

35 イサクは言った。「お前の弟が欺いてやって来て、お前の祝福を奪い取ってしまった。」

36 エサウは言った。「ヤコブという名が彼にふさわしいではありませんか。彼は二度も私を押しつけました。私の長子の権利を奪い、そして今度は私の祝福を奪い取りました。」彼はさらに言った。「私のために祝福を残しておかれなかったのですか。」

37 イサクはエサウに答えて言った。「見よ、私は彼をお前の主とし、彼のすべての兄弟をしもべとして彼に与えた。穀物と新しいぶどう酒で彼を支えた。私の子よ、それでは、お前のために私に何ができようか。」

38 エサウは父に言った。「お父さん、あなたには祝福が一つしかないのですか。お父さん、私を、この私をも祝福してください。」エサウは声を上げて泣いた。

39 父イサクは彼に答えて言った。

「見よ、あなたの住まいは、

地の豊かな産物と、上なる天の露に恵まれるだろう。

40 あなたは自分の剣によって生き、
あなたの弟に仕える。

しかし、あなたが自由を求めて立ち上がるとき、
あなたは自分の首から彼のくびきを振り落とすだろう。」

41 父がヤコブを祝福したその祝福のゆえに、エサウはヤコブを憎んだ。エサウは心の中で言った。
「父のための喪の日が近づいている。そのとき、
私は弟ヤコブを殺してやる。」

42 長男エサウの言葉がリベカに伝えられた。彼女
は人を遣わして次男ヤコブを呼び、彼に言った。
「見なさい。あなたの兄エサウは、あなたを殺して
恨みを晴らそうとしています。」

43 だから今、私の子よ、私の声に聞き従いなさい。
立ち上がり、ハランにいる私の兄ラバンのところへ
逃げなさい。

44 あなたの兄の激しい怒りが収まるまで、しばらく
の間、彼と共に滞在しなさい。

45 兄の怒りがあなたから離れ、あなたが彼にした
ことを彼が忘れるまでです。そうしたら、
私は人を遣わし、あなたをそこから連れ戻しま
す。どうして私が一日のうちにあなたがた二
人を失ってよいのでしょうか。」

46 リベカはイサクに言った。「私はヘト人の娘た
ちのせいで、生きているのが嫌になりました。もし
ヤコブがこの地の娘たち、あのヘト人の娘たちのよ
うな者を妻にめとるなら、私の命に何の意味がある
のでしょうか。」

28

1 イサクはヤコブを呼び、彼を祝福し、彼に命じ
て言った。「カナンの娘たちの中から妻をめとって

はならない。

² 立ち上がり、パダン・アラムにある、お前の母の父ベトエルの家へ行きなさい。そこから、お前の母の兄ラバンの娘たちの中から妻をめとりなさい。

³ 全能の神がお前を祝福し、お前を実り豊かにし、お前を大いに増やし、お前が多くの民の集まりとなるようにしてくださるように。

⁴ アブラハムの祝福を、お前と、お前と共にいるお前の子孫に与えてくださるように。神がアブラハムに与えられた地、お前が寄留しているこの地を、お前が受け継ぐことができるように。」

⁵ イサクはヤコブを送り出した。ヤコブはパダン・アラムへ向かい、アラム人ベトエルの息子ラバンのところへ行った。ラバンは、ヤコブとエサウの母リベカの兄であった。

⁶ さて、エサウは、イサクがヤコブを祝福し、妻をめとらせるために彼をパダン・アラムへ送り出したことを見た。また、彼を祝福したとき、「カナンの娘たちの中から妻をめとってはならない」と命じたこと、

⁷ さらに、ヤコブが父と母に聞き従い、パダン・アラムへ行ったことも見た。

⁸ エサウは、カナンの娘たちが父イサクの目に良くないことを見て、

⁹ イシュマエルのところへ行き、すでにいた妻たちのほかに、アブラハムの息子イシュマエルの娘で、ネバヨトの妹であるマハラテを妻にめとった。

¹⁰ ヤコブはベエル・シェバを出発し、ハランへ向かった。

¹¹ 彼はある場所に着き、太陽が沈んだので、そこで一晩を過ごした。彼はその場所の石の一つ

を取り、それを自分の頭の下に置き、その場所
で横になって眠った。

12 彼は夢を見た。見よ、一つの階段が地に立てられ、その頂は天に届いていた。見よ、神の使いたちがそれを上り下りしていた。

13 見よ、主がその上に立って言われた。「わたしは主、あなたの父アブラハムの神、イサクの神である。あなたが横たわっているこの地を、わたしはあなたとあなたの子孫に与える。

14 あなたの子孫は地のちりのようになり、あなたは西、東、北、南へと広がるだろう。地上のすべての家族は、あなたとあなたの子孫によって祝福される。

15 見よ、わたしはあなたと共にいて、あなたがどこへ行くにもあなたを守り、あなたを再びこの地に連れ戻す。わたしがあなたに約束したことを成し遂げるまで、わたしはあなたを離れない。」

16 ヤコブは眠りから覚めて言った。「確かに主はこの場所におられる。それなのに、私はそれを知らなかった。」

17 彼は恐れて言った。「この場所は何と恐ろしいことだろう。ここは神の家にほかならない。ここは天の門だ。」

18 ヤコブは朝早く起き、自分の頭の下に置いた石を取り、それを柱として立て、その頂に油を注いだ。

19 彼はその場所の名をベテル*と呼んだが、その町の最初の名はルズであった。

20 ヤコブは誓いを立てて言った。「もし神が私と共におられ、私の行くこの旅路で私を守り、食べるパンと着る服を与え、

* 28:19 28:19 ベテルは「神の家」を意味する。

21 私が無事に父の家に帰ることができるようにしてくださり、主が私の神となってくださるなら、

22 柱として立てたこの石は神の家となります。あなたが私に与えてくださるすべてのもののうち、私は必ず十分の一をあなたにささげます。」

29

1 ヤコブは旅を続け、東方の人々の地へ来た。

2 彼が見ると、野に一つの井戸があり、見よ、そのそばに三つの羊の群れが伏していた。人々はその井戸から群れに水を飲ませていたからである。井戸の口にある石は大きかった。

3 群れがすべてそこに集められると、人々は井戸の口から石を転がし、羊に水を飲ませ、再び石を井戸の口の元の場所に戻すのであった。

4 ヤコブは彼らに言った。「私の兄弟たち、あなたがたはどこから来たのですか。」

彼らは言った。「私たちはハランから来ました。」

5 彼は彼らに言った。「あなたがたはナホルの子ラバンを知っていますか。」

彼らは言った。「知っています。」

6 彼は彼らに言った。「彼は無事ですか。」

彼らは言った。「無事です。見なさい、彼の娘ラケルが羊と一緒に来ます。」

7 彼は言った。「見なさい、まだ日が高い。家畜を集める時間ではありません。羊に水を飲ませてから、行って草を食べさせなさい。」

8 彼らは言った。「すべての群れが集められ、人々が井戸の口から石を転がすまでは、そうすることができません。それから羊に水を飲ませるので。」

9 ヤコブがまだ彼らと話している間に、ラケルが父の羊と一緒にやって来た。彼女は羊を飼っていたからである。

10 ヤコブは、母の兄ラバンの娘ラケルと、母の兄ラバンの羊を見ると、近づいて行って井戸の口から石を転がし、母の兄ラバンの群れに水を飲ませた。

11 ヤコブはラケルに口づけし、声を上げて泣いた。

12 ヤコブはラケルに、自分が彼女の父の親族であり、リベカの息子であることを告げた。彼女は走って行き、父に告げた。

13 ラバンは妹の息子ヤコブの知らせを聞くと、ヤコブを迎えに走って行き、彼を抱きしめ、口づけして自分の家に連れて来た。ヤコブはこれらのすべてのことをラバンに話した。

14 ラバンは彼に言った。「本当に、あなたは私の骨であり、私の肉です。」ヤコブは一か月の間、彼と一緒に滞在した。

15 ラバンはヤコブに言った。「あなたは私の親族だからといって、ただで私に仕えることはない。あなたの報酬をどうするか、私に言ってください。」

16 ラバンには二人の娘がいた。姉の名はレア、妹の名はラケルであった。

17 レアの目は弱かった*
が、ラケルは姿も顔立ちも美しかった。

18 ヤコブはラケルを愛していた。彼は言った。「あなたの妹ラケルのために、私は七年間あなたに仕えましょう。」

* 29:17 29:17 または「柔らかかった」。意味はやや不明である。

19 ラバンは言った。「彼女をほかの男に与えるより、あなたに与えるほうが良い。私のところに留まりなさい。」

20 ヤコブはラケルのために七年間仕えた。彼女を愛していたため、彼にはそれがほんの数日のように思えた。

21 ヤコブはラバンに言った。「私の妻を与えてください。私の日数が満ちたので、彼女のところに入りたいのです。」

22 ラバンはその場所のすべての人々を集め、宴会を催した。

23 夕方になって、ラバンは娘レアを連れて来て、ヤコブのところへ連れて行った。ヤコブは彼女のところに入った。

24 ラバンは自分の女のしもベジルパを、娘レアの女のしもべとして与えた。

25 朝になると、見よ、それはレアであった。ヤコブはラバンに言った。「あなたは私に何ということをしたのですか。私はラケルのためにあなたに仕えたではありませんか。なぜ私を欺いたのですか。」

26 ラバンは言った。「私たちのところでは、長女より先に妹を嫁がせることはしません。」

27 この娘との婚礼の週を満たしなさい。そうすれば、あなたがさらに七年間私に仕えることと引き換えに、もう一人の娘もあなたに与えましょう。」

28 ヤコブはそうにして、レアとの週を満たした。ラバンは自分の娘ラケルを彼の妻として与えた。

29 ラバンは娘ラケルに、自分の女のしもベビルハを、彼女の女のしもべとして与えた。

30 ヤコブはラケルのところにも入った。彼はレアよりもラケルを愛した。そしてさらに七年間、ラバンに仕えた。

31 主はレアが疎まれているのを見られ、彼女の胎を開かれた。しかしラケルは不妊であつた。

32 レアは身ごもって男の子を産み、その名をルベン[†]と名付けた。彼女が「主が私の苦しみをご覧になったからです。今や夫は私を愛してくれるでしょう」と言ったからである。

33 彼女は再び身ごもって男の子を産み、言った。「私が疎まれているのを主が聞かれたので、この子も私に授けてくださったのです。」彼女はその名をシメオン[‡]と名付けた。

34 彼女は再び身ごもって男の子を産んだ。彼女は言った。「今度こそ、夫は私に結びついてくれるでしょう。私が彼に三人の男の子を産んだからです。」それゆえ、彼の名はレビ[§]と呼ばれた。

35 彼女は再び身ごもって男の子を産んだ。彼女は言った。「今度こそ、私は主をほめたたえます。」それゆえ、彼女はその名をユダ^{*}と名付けた。それから彼女は出産をやめた。

30

1 ラケルは自分がヤコブに子どもを産まないのを見ると、姉をねたんだ。彼女はヤコブに言った。「私に子どもをください。そうでなければ、私は死んでしまいます。」

[†] 29:32 29:32 ルベン「見よ、息子だ」を意味する。

[‡] 29:33

29:33 シメオン「聞くこと」を意味する。

[§] 29:34

29:34 レビ「結びつく」を意味する。

^{*} 29:35 29:35

ユダ「ほめたたえる」を意味する。

² ヤコブはラケルに向かって怒りを燃やして言った。「私が神に代わることなどできるだろうか。あなたの胎の実を拒んでおられるのは神なのだ。」

³ 彼女は言った。「見よ、私の女のしもべビルハがいます。彼女のところに入ってください。彼女が私の膝の上に子を産むことで、私も彼女によって子を得ることができるでしょう。」

⁴ 彼女は自分の女のしもべビルハを妻としてヤコブに与えたので、ヤコブは彼女のところに入った。

⁵ ビルハは身ごもり、ヤコブに男の子を産んだ。

⁶ ラケルは言った。「神は私を裁き、また私の声を聞いて、私に男の子を与えてくださいました。」それゆえ、彼女はその名をダン*と呼んだ。

⁷ ラケルの女のしもべビルハは再び身ごもり、ヤコブに二番目の男の子を産んだ。

⁸ ラケルは言った。「私は姉と激しい格闘をして、ついに勝ちました。」彼女はその名をナフタリ†と名付けた。

⁹ レアは自分が出産をやめたのを見ると、女のしもべジルパを取り、彼女を妻としてヤコブに与えた。

¹⁰ レアの女のしもべジルパはヤコブに男の子を産んだ。

¹¹ レアは「何という幸運でしょう」と言った。彼女はその名をガド‡と名付けた。

¹² レアの女のしもべジルパはヤコブに二番目の男の子を産んだ。

¹³ レアは言った。「私は幸せです。娘たちが私を幸せな者と呼ぶでしょうから。」彼女はそ

* 30:6 30:6 ダンは「裁く」を意味する。

† 30:8 30:8

ナフタリは「私の格闘」を意味する。

‡ 30:11 30:11

ガドは「幸運」を意味する。

の名をアシエル[§]と名付けた。

14 麦刈りの季節にルベンが野へ行き、恋なすび^{*}を見つけて、母レアのところに持って来た。するとラケルがレアに言った。「どうか、あなたの息子の恋なすびを私に分けてください。」

15 レアは彼女に言った。「あなたが私の夫を奪ったのは小さなことですか。そのうえ、私の息子の恋なすびまでも奪おうとするのですか。」

ラケルは言った。「それなら、あなたの息子の恋なすびと引き換えに、今夜は彼があなたと寝るようにしましょう。」

16 夕方、ヤコブが野から帰って来ると、レアは彼を迎えに出て言った。「あなたは私のところに入らなければなりません。私は息子の恋なすびで、確かにあなたを雇ったのですから。」その夜、彼は彼女と寝た。

17 神はレアの願いを聞き入れられた。彼女は身ごもり、ヤコブに五番目の男の子を産んだ。

18 レアは言った。「私が女のしもべを夫に与えたので、神が私に報酬を与えてくださいました。」彼女はその名をイッサカル[†]と名付けた。

19 レアは再び身ごもり、ヤコブに六番目の男の子を産んだ。

20 レアは言った。「神は私に良い贈り物を与えてくださいました。私が夫に六人の男の子を産んだので、今度こそ夫は私と共に住んでくれるでしょう。」彼女はその名をゼブルン[‡]と名付けた。

§ 30:13 30:13 アシエルは「幸せ」を意味する。 * 30:14 30:14

恋なすびはマンドラゴラのこと。古代では妊娠を助けるものと考えられていた。

† 30:18 30:18 イッサカルは「報酬」を意味する。 ‡ 30:20 30:20

ゼブルンは「住む」または「住まい」と関連する。

21 その後、彼女は女の子を産み、その名をディナと名付けた。

22 神はラケルを心に留められた。神は彼女の願いを聞き入れ、彼女の胎を開かれた。

23 彼女は身ごもって男の子を産み、言った。「神が私の恥を取り除いてくださいました。」

24 彼女はその子をヨセフ§と名付けて、「主が私にもう一人の息子を加えてくださいますように」と言った。

25 ラケルがヨセフを産んだ時、ヤコブはラバンに言った。「私を送り出してください。自分の場所、自分の国へ帰りたいのです。」

26 私があなたに仕えて得た妻たちと子どもたちを私に与え、行かせてください。私があなたに仕えた働きは、あなたが知っているはずです。」

27 ラバンは彼に言った。「もし今、私があなたの目に恵みを得ているなら、どうか留まってください。主があなたのゆえに私を祝福してくださったことを、私は占いによって知りました。」

28 彼は言った。「あなたの報酬を指定してください。私はそれを払いましょう。」

29 ヤコブは彼に言った。「私がどのようにあなたに仕え、あなたの家畜が私のもとでどのようになったか、あなたは知っています。」

30 私が来る前にあなたが持っていたものはわずかでしたが、それは増えておびただしい数になりました。主は私の行く先々であなたを祝福されました。では今、私はいつになったら自分の家のためにも備えることができるのでしょうか。」

31 ラバンは言った。「何をあなたに与えようか。」

§ 30:24 30:24 ヨセフは「加える」と関連する。

ヤコブは言った。「何も私に与える必要はありません。もしあなたが私のためにこのことをしてくださるなら、私は再びあなたの群れを飼い、それを守りましょう。

32 今日、私はあなたのすべての群れの間を通り、そこから、ぶちとまだらのものすべて、また羊の中の黒いものすべて、そして山羊の中のまだらとぶちのものをより分けます。これが私の報酬となります。

33 後日、あなたが私の報酬を確認に来るとき、私の正しさが私のために証言します。私のもとにいる山羊の中にぶちやまだらでないもの、あるいは羊の中に黒くないものがあれば、それは盗まれたものとみなされてよいでしょう。」

34 ラバンは言った。「見よ、あなたの言うとおりにしよう。」

35 その日、ラバンはしま模様とまだらの雄山羊、ぶちとまだらのすべての雌山羊、すなわち白い部分があるすべてのものと、羊の中のすべての黒いものをより分け、自分の息子たちの手に渡した。

36 彼は自分とヤコブとの間に三日の道のりを置き、ヤコブはラバンの残りの群れを飼った。

37 ヤコブはポプラ、アーモンド、すずかけの木の新枝を取り、それに白い筋を作るように皮をむき、その枝の白い部分をむき出しにした。

38 彼は皮をむいた枝を、群れが水を飲みに来る水桶、すなわち水飲み場の中に、群れに向けて置いた。群れは水を飲みに来たときに発情した。

39 群れはその枝の前で発情し、しま模様、ぶち、まだらのものを産んだ。

40 ヤコブは小羊を分け、群れをラバンの群れの中のしま模様のものとすべての黒いものに向かわ

せた。彼は自分の群れを別に分け、それらをラバンの群れの中には入れなかった。

⁴¹群れの中の強いものが発情するたびに、ヤコブはその枝の間で発情するように、水飲み場の群れの目の前に枝を置いた。

⁴²しかし、群れが弱いときは、それを置かなかった。こうして弱いものはラバンのものとなり、強いものはヤコブのものとなった。

⁴³この人は極めて豊かになり、大きな群れ、女のしもべと男のしもべ、らくだとろばを持つようになった。

31

¹ヤコブは、「ヤコブは私たちの父のものをすべて奪い取った。父のものから、彼はこのすべての富を得たのだ」と言うラバンの息子たちの言葉を耳にした。

²ヤコブがラバンの態度を見ると、見よ、以前のように自分に向けられていなかった。

³主はヤコブに言われた。「あなたの先祖の地、あなたの親族のところへ帰りなさい。わたしはあなたと共にいる。」

⁴ヤコブは人を遣わして、ラケルとレアを群れにいる野に呼び出し、

⁵彼女たちに言った。「私はあなたがたの父上の態度を見ているが、以前のように私に向けられていない。しかし、私の父の神は私と共におられた。

⁶私が全力であなたがたの父上に仕えてきたことは、あなたがたも知っている。

⁷あなたがたの父上は私を欺き、十回も私の報酬を変えた。しかし神は、彼が私に害を加えるのをお許しにならなかった。

8 もし彼が『ぶちのものがあなたの報酬となる』と言えば、群れはみなぶちのものを産んだ。もし彼が『しま模様、ぶちのものがあなたの報酬となる』と言えば、群れはみなしま模様のものを産んだ。

9 こうして神は、あなたがたの父上の家畜を取り上げて、私にお与えになった。

10 群れが交尾する季節に、私が目を上げて夢の中で見ると、見よ、群れと交尾している雄山羊は、しま模様、ぶち、まだらであった。

11 神の使いが夢の中で私に『ヤコブよ』と言われたので、私は『はい、ここにおります』と言った。

12 彼は言われた。『さあ、目を上げて見なさい。群れと交尾している雄山羊はみな、しま模様、ぶち、まだらである。ラバンがあなたにしていることを、わたしはすべて見たからである。』

13 わたしはベテルの神である。あなたはそこで柱に油を注ぎ、そこでわたしに誓いを立てた。さあ、立ち上がり、この地を出て、あなたの生まれた地へ帰りなさい。』

14 ラケルとレアは彼に答えて言った。「私たちの父の家には、まだ私たちへの分け前や相続地があるのでしょうか。」

15 父上は私たちを他人のように見なしているではありませんか。彼は私たちを売り、私たちの代価もすっかり使い果たしてしまいました。

16 神が私たちの父上から取り上げられたすべての富は、私たちと私たちの子どもたちのものです。だから今、神があなたに言われたことをすべて行ってください。」

17 そこでヤコブは立ち上がり、息子たちと妻たちをらくだに寄せ、

18 自分が手に入れたすべての家畜とすべて

の持ち物、すなわちパダン・アラムで手に入れた家畜をすべて引き連れ、カナンの地にいる父イサクのところへ向かった。

19 その時、ラバンは自分の羊の毛を刈るために出かけていた。そしてラケルは、父のテラフィム^{*}を盗んだ。

20 ヤコブは、自分が逃げることを告げず、アラム人ラバンを欺いた。

21 こうして彼は、自分のすべての持ち物と共に逃げた。彼は立ち上がって川を渡り、ギレアデの山地へ向かった。

22 三日目になって、ヤコブが逃げたことがラバンに知らされた。

23 ラバンは親族を連れて行き、七日の道のりを追跡して、ギレアデの山地で彼に追いついた。

24 夜の夢の中で神がアラム人ラバンのところに来て、彼に言われた。「あなたはヤコブに対して、良いことも悪いことも言わないように気をつけなさい。」

25 ラバンはヤコブに追いついた。ヤコブは山に天幕を張っており、ラバンも親族と共にギレアデの山地に天幕を張った。

26 ラバンはヤコブに言った。「私を欺き、私の娘たちを剣で捕らえた捕虜のように連れ去るとは、あなたは何ということをしたのか。

27 なぜあなたはひそかに逃げ、私を欺き、私に告げなかったのか。私は喜びと歌、タンバリンと豎琴であなただを送り出しただろうに。

28 そして、なぜ私に息子たちや娘たちに口づけさせてくれなかったのか。今、あなたは愚かなことをした。

* 31:19 31:19 または「家の偶像」。

29 私の手には、あなたがたに害を加える力がある。しかし、昨夜、あなたがたの父の神が私に語って、『ヤコブに対して、良いことも悪いことも言わないように気をつけなさい』と言われた。

30 今、あなたは父の家をひどく慕い求めて去ろうとしているが、なぜ私の神々を盗んだのか。」

31 ヤコブはラバンに答えて言った。「私は恐れしました。あなたが私から娘たちを力ずくで奪い取るかもしれないと思ったからです。

32 しかし、あなたの神々を誰のところで見つけたとしても、その者を生かしてはおきません。私たちの親族の前で、私のところにあるあなたのものを調べ、それを持って行ってください。」ヤコブは、ラケルがそれらを盗んだことを知らなかったからである。

33 ラバンはヤコブの天幕、レアの天幕、二人の女のしもべの天幕に入ったが、見つけることはできなかった。彼はレアの天幕を出て、ラケルの天幕に入った。

34 その時、ラケルはテラフィムを取り、それをらくだの鞍の中に入れ、その上に座っていた。ラバンは天幕の中をすべて探したが、それらを見つけることはできなかった。

35 彼女は父に言った。「ご主人様、あなたの前で立ち上がれないからといって、怒らないでください。私には女の月のものがあるのです。」彼は探し回ったが、テラフィムを見つけることはできなかった。

36 ヤコブは怒り、ラバンを責めた。ヤコブはラバンに答えて言った。「私の罪とは何ですか。私の咎とは何だというので、あなたは私を激しく追って来たのですか。

37 あなたは私の持ち物をすべて探したが、あなたの家の持ち物が何か見つかりましたか。私の親族とあなたの親族の前にそれを置いて、彼らに私たち二人の間を裁かせなさい。

38 この二十年間、私はあなたと共にいました。あなたの雌羊と雌山羊は流産したことがなく、私はあなたの群れの雄羊を食べたこともありません。

39 獣に引き裂かれたものを、私はあなたのところに持って行きませんでした。私がその損失を補いました。昼に盗まれたものも、夜に盗まれたものも、あなたは私の手からそれを償わせました。

40 私のありさまはこうでした。昼は暑さに焼かれ、夜は寒さに凍え、眠りは私の目から逃げ去りました。

41 この二十年間、私はあなたの家で過ごしました。私はあなたの二人の娘のために十四年、あなたの群れのために六年あなたに仕えました。そして、あなたは私の報酬を十回も変えました。

42 もし私の父の神、アブラハムの神、イサクが恐れかしこむ方が私と共におられなかったなら、あなたは今、私を何も持たせずに送り出したことでしょう。神は私の苦しみと、私の手の働きをご覧になり、昨夜あなたをたしなめられたのです。」

43 ラバンはヤコブに答えて言った。「娘たちは私の娘、子どもたちは私の子ども、群れは私の群れ、そしてあなたが見ているすべてのものは私のものだ。今日、これらの私の娘たち、あるいは彼女たちが産んだ子どもたちに対して、私が何を行えようか。

44 さあ、私とあなたで契約を結ぼう。それが私とあなたの間の証拠となるように。」

45 ヤコブは一つの石を取り、それを柱として立て

た。

⁴⁶ ヤコブは親族たちに「石を集めなさい」と言った。彼らは石を取り、一つの石塚を作った。彼らはその石塚のそばで食事をした。

⁴⁷ ラバンはそれをエガル・サハドゥタ[†]と呼んだが、ヤコブはそれをガルエド[‡]と呼んだ。

⁴⁸ ラバンは言った。「この石塚は今日、私とあなたの間の証拠である。」それゆえ、その名はガルエドと呼ばれ、

⁴⁹ またミツパ[§]と呼ばれた。彼がこう言ったからである。「私たちが互いに離れている間、主が私とあなたの間を見張ってくださるように。」

⁵⁰ もしあなたが私の娘たちを苦しめるなら、あるいは私の娘たちのほかに妻をめとるなら、私たちのところに誰もいなくても、見よ、神が私とあなたの間の証人である。」

⁵¹ ラバンはヤコブに言った。「見よ、この石塚を。そして見よ、私が私とあなたの間に立てた柱を。」

⁵² 害を加えるために、私がこの石塚を越えてあなたのところに行くことがなく、あなたがこの石塚とこの柱を越えて私のところに来ることがないことについて、この石塚が証拠となり、この柱が証拠となるように。

⁵³ アブラハムの神、ナホルの神、彼らの父の神が、私たちの間を裁いてくださるように。」

そこでヤコブは、父イサクが畏れかしこむ方にかけて誓った。

[†] 31:47 31:47 エガル・サハドゥタはアラム語で「証拠の石塚」を意味する。

[‡] 31:47 31:47 ガルエドはヘブライ語で「証拠の石塚」を意味する。

[§] 31:49 31:49 ミツパは「見張りの塔」を意味する。

54 ヤコブは山でいけにえをささげ、親族を呼んで食事をした。彼らは食事をし、山で一晩を過ごした。

55 朝早く、ラバンは起き上がり、息子たちや娘たちに口づけして彼らを祝福した。ラバンは去り、自分の場所に帰って行った。

32

1 ヤコブは旅を続けた。すると、神の使いたちが彼に出会った。

2 ヤコブは彼らを見ると、「これは神の陣営だ」と言った。彼はその場所の名をマハナイム*と呼んだ。

3 ヤコブは自分に先立って、セイルの地、エドムの野にいる兄エサウのもとへ使者たちを遣わした。

4 彼は彼らに命じて言った。「私の主人エサウにこう言いなさい。『あなたのしもべヤコブはこう申しております。私はラバンのもとに寄留し、今まで滞在していました。』」

5 私は牛、ろば、羊の群れ、男のしもべ、女のしもべを持っています。私の主人の目に恵みを見出すために、お知らせしようとして使いを遣わしました。』」

6 使者たちはヤコブのもとに戻って来て言った。「私たちはあなたの兄エサウのところへ行きました。見よ、彼もあなたを迎えに来ます。しかも四百人の男たちが彼と一緒にです。」

7 そこでヤコブは非常に恐れ、苦悩した。彼は自分と一緒にいる人々、羊の群れ、牛の群れ、らくだを二つの陣営に分けた。

* 32:2 32:2 マハナイムは「二つの陣営」を意味する。

8 彼は言った。「もしエサウが一つの陣営のところに来て、それを打つても、残った陣営は逃げることができるだろう。」

9 ヤコブは言った。「私の父アブラハムの神、私の父イサクの神、主よ。あなたは私に、『あなたの地、あなたの親族のところへ帰りなさい。わたしはあなたに良くする』と言われました。」

10 私は、あなたがしもべに示してくださったすべての慈しみとすべての真実の、その最も小さなものにも値しない者です。私は一本の杖だけを持ってこのヨルダン川を渡りましたが、今では二つの陣営となりました。

11 どうか、私の兄の手から、エサウの手から私を救い出してください。彼が来て、母も子も打つのではないかと、私は彼を恐れているのです。

12 あなたは、『わたしは必ずあなたに良くし、あなたの子孫を、多すぎて数えきれない海の砂のようにする』と言われました。」

13 彼はその夜そこに泊まり、自分の持ち物の中から、兄エサウへの贈り物を選んだ。

14 雌山羊二百匹、雄山羊二十匹、雌羊二百匹、雄羊二十匹、

15 乳を飲ませているらくだ三十頭とその子、雌牛四十頭、雄牛十頭、雌ろば二十頭、ろばの子十頭である。

16 彼はそれらを群れごとに分け、しもべたちの手に渡し、しもべたちに言った。「私より先に進み、群れと群れの間に間隔を置きなさい。」

17 彼は先頭の者に命じて言った。「私の兄エサウがあなたに会い、『あなたは誰の者か。どこへ行くのか。あなたの前にいるこれらは誰のものか』と尋ねたなら、

18 あなたはこう言いなさい。『あなたのしもべヤコブのものです。これは私の主人エサウに送る贈り物です。見よ、ヤコブ自身も私たちの後ろにいます。』」

19 彼は二番目、三番目の者、そして群れの後について行くすべての者にも命じて言った。「エサウに出会ったとき、あなたがたは彼にこのように話しなさい。

20 また、『見よ、あなたのしもべヤコブも私たちの後ろにいます』と言いなさい。」彼は、「私より先に行く贈り物で彼の顔を和らげ、その後で彼の顔を見よう。そうすれば、彼は私の顔を受け入れてくれるかもしれない」と考えたからである。

21 こうして、贈り物は彼より先に進み、彼自身はその夜、陣営に泊まった。

22 彼はその夜起き上がり、二人の妻、二人の女のしもべ、十一人の息子を連れて、ヤボクの渡しを渡った。

23 彼は彼らを連れて川を渡らせ、自分の持ち物も渡らせた。

24 ヤコブは一人残った。すると、ある人が夜明けまで彼と格闘した。

25 その人はヤコブに勝てないのを見ると、ヤコブのももの関節に触れた。そのため、ヤコブが彼と格闘している間に、ヤコブのももの関節が外れた。

26 その人は言った。「夜が明けるから、私を行かせてくれ。」

ヤコブは言った。「私を祝福してくださるまでは、あなたを行かせません。」

27 その人は言った。「あなたの名は何というのか。」

彼は言った。「ヤコブです。」

28 その人は言った。「あなたの名は、もはやヤコブとは呼ばれない。イスラエル[†]と呼ばれる。あなたは神と、また人と争って勝ったからである。」

29 ヤコブは尋ねて言った。「どうか、あなたの名を教えてください。」

その人は言った。「なぜあなたは私の名を尋ねるのか。」そして、その場でヤコブを祝福した。

30 ヤコブはその場所の名をペニエル[‡]と呼んだ。彼が、「私は顔と顔を合わせて神を見たのに、私の命は救われた」と言ったからである。

31 彼がペニエルを通り過ぎたとき、太陽は彼の上に昇った。彼はもものために足を引きずっていた。

32 それゆえ、イスラエルの子らは今日に至るまで、ももの関節にある筋を食べない。あの人がヤコブのももの関節、その筋に触れたからである。

33

1 ヤコブが目を上げて見ると、見よ、エサウがやって来た。四百人の男たちが彼と一緒にあった。ヤコブはレア、ラケル、そして二人の女のしもべたちに子どもたちを分けた。

2 彼は女のしもべたちとその子どもたちを先頭に、レアとその子どもたちをその後に、ラケルとヨセフを最後に置いた。

3 彼自身は彼らの前を進み、兄に近づくまでに七回、地に向かってひれ伏した。

4 エサウは彼を迎えに走り、彼を抱きしめ、首に抱きついて口づけした。そして彼らは泣いた。

[†] 32:28 32:28 イスラエルは「神と争う」または「神が争われる」と関連する。

[‡] 32:30 32:30 ペニエルは「神の顔」を意味する。

5 エサウが目を上げて女たちと子どもたちを見ると、言った。「あなたと一緒にいるこの者たちは誰か。」

ヤコブは言った。「神があなたのしもべに恵みとしてお与えくださった子どもたちです。」

6 すると、女のしもべたちがその子どもたちと一緒に近づき、ひれ伏した。

7 レアとその子どもたちも近づいてひれ伏した。その後、ヨセフとラケルが近づいてひれ伏した。

8 エサウは言った。「私が出会ったこのすべての陣営は、どういう意味なのか。」

ヤコブは言った。「私の主人の目に恵みを見出すためです。」

9 エサウは言った。「私には十分にある、私の弟よ。あなたのものはあなたのものにしておきなさい。」

10 ヤコブは言った。「いいえ、どうか。もし私が今、あなたの目に恵みを見出しているなら、私の手から贈り物を受け取ってください。あなたの顔を見ていると、神の顔を見ているようです。そして、あなたは私を喜んで受け入れてくださいました。」

11 どうか、私があなたに持って来た祝福の贈り物を受け取ってください。神が私に恵みを与えてくださり、私にはすべてが十分にあるからです。」ヤコブが強く勧めたので、エサウはそれを受け取った。

12 エサウは言った。「さあ、旅立って行こう。私があなたの先を行こう。」

13 ヤコブは彼に言った。「私の主人は、子どもたちが弱く、私と一緒にいる羊と牛の群れには乳を飲ませる子がいることをご存じです。もし一日でも急がせれば、群れはみな死んでしまいます。」

14 どうか、私の主人はしもべより先に進んでください。私は、私の前にいる家畜の歩みと、子どもたちの歩みに合わせて、ゆっくりと進み、セイルにいる私の主人のところへ参ります。」

15 エサウは言った。「では、私と一緒にいる人々の中から、何人かをあなたのところに残させてくれ。」

ヤコブは言った。「どうしてその必要があるでしょうか。私の主人の目に恵みを見出させてください。」

16 こうしてエサウは、その日、セイルへの道を帰って行った。

17 ヤコブはスコトへ旅をし、自分のために家而建て、家畜のために小屋を作った。それゆえ、その場所の名はスコト*と呼ばれる。

18 ヤコブはパダン・アラムから来たとき、カナンの地にあるシェケムの町に無事に着き、その町の前で宿営した。

19 彼は天幕を張った野の一部を、シェケムの父ハモルの子らの手から、百枚の銀で買い取った。

20 彼はそこに祭壇を立て、それをエル・エロヘ・イスラエル†と呼んだ。

34

1 レアがヤコブに産んだ娘ディナは、その地の娘たちを見るために出かけて行った。

2 その地の君主であるヒビ人ハモルの子シェケムが彼女を見た。彼は彼女を連れて行き、彼女と寝て、彼女を辱めた。

3 彼の心はヤコブの娘ディナに強く結びつき、彼はその若い女を愛し、彼女に優しく語りかけた。

* 33:17 33:17 スコトは「小屋」または「仮小屋」を意味する。

† 33:20 33:20 エル・エロヘ・イスラエルは「神、イスラエルの神」を意味する。

4 シェケムは父ハモルに語って言った。「この若い女を、私の妻としてもらってください。」

5 ヤコブは、シェケムが娘ディナを汚したことを聞いた。彼の息子たちは野で家畜と一緒にいたので、ヤコブは彼らが帰って来るまで黙っていた。

6 シェケムの父ハモルは、ヤコブと話し合うために彼のところへ出て行った。

7 ヤコブの息子たちはそれを聞くと、野から帰って来た。その男たちは心を痛み、非常に怒った。シェケムがヤコブの娘と寝て、イスラエルの中で愚かなこと、してはならないことをしたからである。

8 ハモルは彼らと話し合って言った。「私の息子シェケムの心は、あなたがたの娘を慕い求めています。どうか彼女を彼の妻として与えてください。」

9 私たちと縁組みをしてください。あなたがたの娘たちを私たちに与え、私たちの娘たちをあなたがたのためにめとってください。

10 あなたがたは私たちと一緒に住んでください。この地はあなたがたの前にあります。ここに住み、ここで商いをし、ここに所有地を得てください。」

11 シェケムは彼女の父と兄弟たちに言った。「どうか、あなたがたの目に恵みを見出させてください。あなたがたが私に言うものは何でも与えます。」

12 花嫁の代価と贈り物を、いくらでも私に求めてください。あなたがたが私に求めるものは何でも与えましょう。ただ、その若い女を妻として私に与えてください。」

13 ヤコブの息子たちは、シェケムとその父ハモルに欺きをもって答えた。彼が妹ディナを汚したからである。

14 彼らは言った。「私たちはこのことを行うことはできない。無割礼の者に私たちの妹を与えることは、私たちにとって恥となるからだ。」

15 ただこの条件でのみ、私たちはあなたがたに同意する。もしあなたがたのすべての男子が割礼を受け、あなたがたが私たちのようになるなら、

16 私たちは私たちの娘たちをあなたがたに与え、あなたがたの娘たちを私たちのためにめとる。そして私たちはあなたがたと一緒に住み、一つの民となる。

17 しかし、もしあなたがたが私たちの言うことを聞かず、割礼を受けないなら、私たちは娘を連れて去って行く。」

18 彼らの言葉は、ハモルとハモルの子シェケムの目に良いと思われた。

19 その若者はこのことを行うのをためらわなかった。彼がヤコブの娘を喜んでいたからである。彼は父の家の誰よりも尊ばれていた。

20 ハモルとその息子シェケムは自分たちの町の門に行き、その町の人々と話し合っていた。

21 「この人たちは私たちと平和に過ごしている。それゆえ、彼らにこの地に住ませ、ここで商いをさせよう。見よ、この地は彼らにとって十分に広い。彼らの娘たちを私たちの妻としてめとり、私たちの娘たちを彼らに与えよう。

22 ただこの条件でのみ、この人たちは私たちと一緒に住み、一つの民となることに同意してくれる。それは、彼らが割礼を受けているように、私たちの中のすべての男子が割礼を受けることである。

23 彼らの家畜も、彼らの持ち物も、彼らのすべての獣も、私たちのものになるではないか。ただ私たちが彼らに同意しさえすれば、彼らは私たちと一緒に住むのだ。」

24 彼の町の門を出入りするすべての者は、ハモルとその息子シェケムの言うことを聞いた。そしてす

すべての男子、すなわち彼の町の門を出入りするすべての者は割礼を受けた。

25 三日目になり、彼らがまだ痛みを感じていたとき、ヤコブの二人の息子、ディナの兄弟であるシメオンとレビは、それぞれ自分の剣を取り、無防備な町を襲い、すべての男子を殺した。

26 彼らはハモルとその息子シェケムを剣の刃で殺し、シェケムの家からディナを連れ出し、去って行った。

27 ヤコブの息子たちは殺された者たちのところへ来て、町を略奪した。彼らが彼らの妹を汚したからである。

28 彼らは羊の群れ、牛の群れ、ろば、町にあるものの、野にあるものを取り、

29 さらに彼らのすべての富を奪った。彼らはすべての小さな子どもたちと妻たちを捕虜にし、家の中にあるすべてのものを略奪した。

30 ヤコブはシメオンとレビに言った。「あなたがたは私を悩ませ、この地に住むカナン人やペリジ人の間で私を忌み嫌われる者にした。私は数が少ない。彼らが私に立ち向かって集まり、私を打てば、私も私の家も滅ぼされてしまうだろう。」

31 彼らは言った。「彼は私たちの妹を遊女のように扱ってよいのでしょうか。」

35

1 神はヤコブに言われた。「立ち上がり、ベテルへ上って行き、そこに住みなさい。あなたが兄エサウの顔を避けて逃げたとき、あなたに現れた神のために、そこで祭壇を造りなさい。」

2 そこでヤコブは自分の家族と、彼と一緒にいるすべての者に言った。「あなたがたの中にある外

国の神々を捨て去り、身をきよめ、着物を着替えなさい。

³ さあ立ち上がり、ベテルへ上って行こう。私の苦難の日に私に答え、私の行く道で私と共におられた神に、私はそこで祭壇を造る。」

⁴ 彼らは、自分たちの手にあるすべての外国の神々と、耳にある輪をヤコブに渡した。ヤコブはそれらを、シェケムのそばにある榿の木の下に隠した。

⁵ 彼らは旅立ったが、神からの恐れが彼らの周囲の町々に臨んだので、人々はヤコブの息子たちを追跡しなかった。

⁶ こうして、ヤコブと彼と一緒にいたすべての民は、カナンの地にあるルズ、すなわちベテルに着いた。

⁷ 彼はそこに祭壇を築き、その場所をエル・ベテル*と呼んだ。彼が兄の顔を避けて逃げたとき、そこで神が彼にご自身を現されたからである。

⁸ リベカの乳母デボラが死に、ベテルの下の方にある榿の木の下に葬られた。その名はアロン・バクテ†と呼ばれた。

⁹ ヤコブがパダン・アラムから来たとき、神は再び彼に現れ、彼を祝福された。

¹⁰ 神は彼に言われた。「あなたの名はヤコブである。あなたの名はもはやヤコブとは呼ばれず、あなたの名はイスラエルとなる。」神は彼をイスラエルと名付けられた。

¹¹ 神は彼に言われた。「わたしは全能の神である。生めよ、増えよ。一つの国民と、多くの国民の集まりがあなたから出て、王たちがあなたの体から出る。

* 35:7 35:7 エル・ベテルは「ベテルの神」を意味する。 † 35:8 35:8 アロン・バクテは「泣きの榿の木」を意味する。

12 わたしがアブラハムとイサクに与えた地を、わたしはあなたに与え、あなたの後続くあなたの子孫にその地を与える。」

13 神は、彼と語られた場所から、彼を離れて上って行かれた。

14 ヤコブは、神が彼と語られた場所に一本の柱、石の柱を立てた。彼はその上に飲み物のさげ物を注ぎ、その上に油を注いだ。

15 ヤコブは、神が彼と語られた場所の名をベテルと呼んだ。

16 彼らはベテルから旅立った。エフラテに着くまでにはまだ少し距離があったが、ラケルは産気づいた。彼女は難産であった。

17 彼女が難産で苦しんでいるとき、助産婦は彼女に言った。「恐れてはいけません。今度もまた、あなたは男の子を授かるのですから。」

18 彼女の命が去ろうとするとき、彼女は死にかけていたので、その子をベン・オニ[‡]と名付けたが、父は彼をベニヤミン[§]と名付けた。

19 ラケルは死に、エフラテ、すなわちベツレヘムへの道に葬られた。

20 ヤコブは彼女の墓の上に柱を立てた。これは今日に至るまで、ラケルの墓の柱である。

21 イスラエルは旅立ち、エデルの塔の向こうに天幕を張った。

22 イスラエルがその地に住んでいたとき、ルベン行行って、父のそばめであるビルハと寝た。イスラエルはそれを聞いた。

さて、ヤコブの息子は十二人であった。

23 レアの息子たちは、ヤコブの長男ルベン、シメオン、レビ、ユダ、イッサカル、ゼブルン。

[‡] 35:18 35:18 ベン・オニは「私の悲しみの息子」を意味する。

[§] 35:18 35:18 ベニヤミンは「右手の息子」を意味する。

- 24 ラケルの息子たちは、ヨセフ、ベニヤミン。
25 ラケルの女のしもベビルハの息子たちは、ダン、ナフタリ。
26 レアの女のしもベジルパの息子たちは、ガド、アシェル。これらは、パダン・アラムでヤコブに生まれた息子たちである。
27 ヤコブは、アブラハムとイサクが寄留していたマムレ、キルヤト・アルバ、すなわちヘブロンにいる父イサクのところへ行った。
28 イサクの生涯は百八十年であった。
29 イサクは息を引き取って死に、年老いて日数に満ち、自分の民に加えられた。息子のエサウとヤコブは彼を葬った。

36

- 1 これはエサウ、すなわちエドムの系図である。
2 エサウはカナンの娘たちの中から妻をめとつた。ヘト人エロンの娘アダ、ヒビ人ツイベオンの子アナの娘オホリバマ、
3 そしてイシュマエルの娘で、ネバヨトの妹であるバセマテである。
4 アダはエサウにエリファズを産み、バセマテはレウエルを産んだ。
5 オホリバマはエウシュ、ヤラム、コラを産んだ。これらはカナンの地でエサウに生まれた息子たちである。
6 エサウは、妻たち、息子たち、娘たち、家のすべての人々、家畜、すべての獣、カナンの地で手に入れたすべての持ち物を携えて、弟ヤコブから離れた地へ行った。
7 彼らの財産が多すぎて一緒に住むことができず、彼らの家畜のゆえに、彼らが寄留していた地は彼らを支えきれなかったからである。

8 エサウはセイルの山地に住んだ。エサウはエドムである。

9 セイルの山地に住むエドム人の父エサウの系図は次のとおりである。

10 これらはエサウの息子たちの名である。エサウの妻アダの息子エリファズ、エサウの妻バセマテの息子レウエル。

11 エリファズの息子たちは、テマン、オマル、ツェフォ、ガタム、ケナズであった。

12 ティムナはエサウの息子エリファズのそばめであり、彼女はエリファズにアマレクを産んだ。これらはエサウの妻アダの子どもたちである。

13 これらはレウエルの息子たちである。ナハテ、ゼラ、シャンマ、ミザ。これらはエサウの妻バセマテの子どもたちであった。

14 ツィベオンの子アナの娘である、エサウの妻オホリバマの息子たちは次のとおりである。彼女はエサウにエウシュ、ヤラム、コラを産んだ。

15 エサウの息子たちから出た首長たちは次のとおりである。エサウの長男エリファズの息子たちは、首長テマン、首長オマル、首長ツェフォ、首長ケナズ、

16 首長コラ、首長ガタム、首長アマレク。これらはエドムの地でエリファズから出た首長たちである。これらはアダの子どもたちである。

17 エサウの息子レウエルの息子たちは次のとおりである。首長ナハテ、首長ゼラ、首長シャンマ、首長ミザ。これらはエドムの地でレウエルから出た首長たちである。これらはエサウの妻バセマテの子どもたちである。

18 エサウの妻オホリバマの息子たちは次のとおりである。首長エウシュ、首長ヤラム、首長コラ。こ

れらはエサウの妻であるアナの娘オホリバマから出た首長たちである。

¹⁹ これらがエサウ、すなわちエドムの息子たちであり、これらが彼らの首長たちである。

²⁰ その地に住んでいたホリ人セイルの息子たちは次のとおりである。ロタン、ショバル、ツイベオン、アナ、

²¹ ディション、エツエル、ディシャン。これらはエドムの地でセイルの子どもたちであるホリ人から出た首長たちである。

²² ロタンの子どもたちはホリとヘマムであった。ロタンの妹はティムナであった。

²³ これらはショバルの子どもたちである。アルワン、マナハテ、エバル、シェフオ、オナム。

²⁴ これらはツイベオンの子どもたちである。アヤとアナ。父ツイベオンのろばを飼っているときに、荒野で温泉*を見つけたのはこのアナである。

²⁵ これらはアナの子どもたちである。ディションと、アナの娘オホリバマ。

²⁶ これらはディションの子どもたちである。ヘムダン、エシュバン、イトラン、ケラン。

²⁷ これらはエツエルの子どもたちである。ビルハン、ザアワン、アカン。

²⁸ これらはディシャンの子どもたちである。ウツとアラン。

²⁹ これらはホリ人から出た首長たちである。首長ロタン、首長ショバル、首長ツイベオン、首長アナ、

³⁰ 首長ディション、首長エツエル、首長ディシャン。これらはセイルの地で、それぞれの首長にしたがう、ホリ人から出た首長たちである。

* 36:24 36:24 または「らば」。ヘブライ語の意味は不確かである。

31 イスラエルの子らを王が治める前に、エドムの地を治めていた王たちは次のとおりである。

32 ベオルの息子ベラがエドムで王として治めた。彼の町の名はディンハバであった。

33 ベラが死に、ボツラのゼラの息子ヨバブが彼に代わって王となった。

34 ヨバブが死に、テマン人の地のフシャムが彼に代わって王となった。

35 フシャムが死に、モアブの野でミディアンを打ったベダデの息子ハダドが彼に代わって王となった。彼の町の名はアビテであった。

36 ハダドが死に、マスレカのサムラが彼に代わって王となった。

37 サムラが死に、川のほとりのレホボトのシャウルが彼に代わって王となった。

38 シャウルが死に、アクボルの息子バアル・ハナンが彼に代わって王となった。

39 アクボルの息子バアル・ハナンが死に、ハダルが彼に代わって王となった。彼の町の名はパウであった。彼の妻の名はメヘタベルといい、メザハブの娘であるマトレドの娘であった。

40 エサウから出た首長たちの名は、それぞれの氏族、それぞれの場所、その名にしたがって次のとおりである。首長ティムナ、首長アルワ、首長エテテ、

41 首長オホリバマ、首長エラ、首長ピノン、

42 首長ケナズ、首長テマン、首長ミブツアル、

43 首長マグディエル、首長イラム。これらが、彼らの所有地にある住まいにしたがうエドムの首長たちである。これがエドム人の父エサウである。

37

1 ヤコブは、父が寄留していた地、カナン

の地に住んだ。

² これはヤコブの記録である。

ヨセフは十七歳のとき、兄弟たちと一緒に群れを飼っていた。彼はまだ若く、父の妻であるビルハの息子たちや、ジルパの息子たちと一緒にいた。ヨセフは彼らの悪いうわさを父に伝えた。

³ イスラエルは自分のどの子よりもヨセフを愛していた。彼が年老いてから生まれた息子だったからである。イスラエルは彼のために、色とりどりの長服*を作った。

⁴ 兄弟たちは、父がどの兄弟よりもヨセフを愛しているのを見て、彼を憎み、彼に穏やかに話しかけることができなかった。

⁵ ヨセフは夢を見て、それを兄弟たちに告げたので、彼らはさらに彼を憎んだ。

⁶ 彼は彼らに言った。「どうか、私が見たこの夢を聞いてください。

⁷ 見よ、私たちが畑の中で束を束ねていました。すると見よ、私の束が起き上がり、まっすぐに立ちました。そして見よ、あなたがたの束が周りに来て、私の束に向かってお辞儀をしたのです。」

⁸ 兄弟たちは彼に言った。「お前が本当に私たちの王となるというのか。お前が本当に私たちを支配するというのか。」彼らは、彼の夢と彼の言葉のゆえに、さらに彼を憎んだ。

⁹ 彼はまた別の夢を見て、それを兄弟たちに告げて言った。「見よ、私はまた別の夢を見ました。見よ、太陽と月と十一の星が、私に向かってお辞儀をしたのです。」

¹⁰ 彼はそれを父と兄弟たちに告げた。父は彼を叱って言った。「お前が見たこの夢は何のことだ。私とお前の母と兄弟たちが、本

* 37:3 37:3 または「袖のある長い服」。

当に進み出て、お前に向かって地にお辞儀をするというのか。」

11 兄弟たちは彼をねたんだが、父はこの言葉に心に留めていた。

12 彼の兄弟たちは、シェケムで父の群れを飼うために出かけて行った。

13 イスラエルはヨセフに言った。「お前の兄弟たちはシェケムで群れを飼っているではないか。さあ、お前を彼らのところへ遣わそう。」

彼は父に「はい、ここにおります」と言った。

14 父は彼に言った。「今すぐ行って、兄弟たちは無事か、群れは無事かを見て、私に報告を持ち帰りなさい。」こうして父は彼をヘブロン谷から送り出し、彼はシェケムに着いた。

15 ある人が彼を見つけた。見よ、彼は野をさまよっていた。その人は彼に尋ねた。「あなたは何かを探しているのですか。」

16 彼は言った。「私は兄弟たちを探しています。彼らがどこで群れを飼っているか、どうか教えてください。」

17 その人は言った。「彼らはここを去りました。『ドタンへ行こう』と彼らが言うのを聞いたからです。」

ヨセフは兄弟たちの後を追ひ、ドタンで彼らを見つけた。

18 兄弟たちは遠くからヨセフを見た。彼が近づいて来る前に、彼らは彼を殺そうと企んだ。

19 彼らは互いに言った。「見よ、あの夢見る者がやって来る。」

20 さあ今、彼を殺して、あの穴の一つに投げ込もう。そして、『悪い獣が彼を食い殺した』と言おう。彼の夢がどうなるか見てみよう。」

21 ルベンはこれを聞いて、彼を彼らの手から救い出そうとして言った。「彼の命を奪うのはやめよう。」

22 ルベンは彼らに言った。「血を流してはならない。彼をこの荒野にある穴に投げ入れなさい。彼に手を下してはならない。」これは、彼を彼らの手から救い出し、父のところへ返すためであった。

23 ヨセフが兄弟たちのところに来ると、彼らはヨセフの服、彼が着ていた色とりどりの長服を剥ぎ取った。

24 そして彼を捕らえ、穴に投げ込んだ。穴は空で、そこには水がなかった。

25 彼らが座ってパンを食べていたとき、目を上げて見ると、見よ、イシュマエル人の隊商がギレアデからやって来た。彼らのらくだは香料、乳香、没薬を積んでおり、それをエジプトへ下って運んで行くところであった。

26 ユダは兄弟たちに言った。「私たちが弟を殺し、その血を隠したところで、何の益があるだろうか。」

27 さあ、彼をイシュマエル人に売ろう。彼に手を下すのはやめよう。彼は私たちの兄弟であり、私たちの肉だからだ。」兄弟たちは彼に聞き従った。

28 ミディアン人の商人たちが通りかかると、彼らはヨセフを穴から引き上げ、銀二十枚でイシュマエル人にヨセフを売った。彼らはヨセフをエジプトへ連れて行った。

29 ルベンが穴に戻り、ヨセフが穴の中にいないのを見ると、彼は自分の着物を引き裂いた。

30 彼は兄弟たちのところに戻って言った。「あの子がいない。私は、この私はどこへ行けばよいのか。」

31 彼らはヨセフの服を取り、雄山羊を屠り、その血に服を浸した。

32 彼らはその色とりどりの長服を父のところに持って行って言った。「これを見つけました。どうか、これがあなたの息子の服かどうか、確かめてください。」

33 父はそれを見分けて言った。「私の息子の服だ。悪い獣が彼を食い殺したのだ。ヨセフは間違いなく引き裂かれてしまった。」

34 ヤコブは自分の着物を引き裂き、腰に粗布をまとい、幾日も息子のために悼んだ。

35 彼のすべての息子たちとすべての娘たちが彼を慰めようと立ち上がったが、彼は慰められることを拒んだ。彼は言った。「私は悼みながら、息子のいるシェオル[†]へ下って行くのだ。」こうして父は彼のために泣いた。

36 ミディアン人たちはエジプトで、彼をファラオの役人で、護衛の長であるポティファルに売った。

38

1 そのころ、ユダは兄弟たちから離れて下って行き、ヒラという名のあるアドウラム人のところに身を寄せた。

2 ユダはそこで、シュアという名のあるカン人¹の娘を見た。彼は彼女をめとり、彼女のところにいった。

3 彼女は身ごもって男の子を産み、ユダはその名をエルと呼んだ。

4 彼女は再び身ごもって男の子を産み、その名をオナンと呼んだ。

[†] 37:35 37:35 シェオルは死者の場所である。

5 彼女はさらにまた男の子を産み、その名をシェラと呼んだ。彼女が彼を産んだとき、ユダはケジブにいた。

6 ユダは長男エルのために妻をめとった。彼女の名はタマルであった。

7 ユダの長男エルは主の目に邪悪であったので、主は彼を殺された。

8 ユダはオナンに言った。「あなたの兄の妻のところに入り、夫の兄弟としての義務を彼女に果たし、あなたの兄のために子孫を起こしなさい。」

9 オナンは、その子孫が自分のものにならないことを知っていた。それで、兄の妻のところに入るとき、兄に子孫を与えないように、精を地にこぼした。

10 彼が行ったことは主の目に悪であったので、主は彼をも殺された。

11 そこでユダは嫁のタマルに言った。「私の息子シェラが成長するまで、あなたの父の家でやもめとしてとどまっていなさい。」彼が「兄たちのように、彼も死ぬといけない」と考えたからである。タマルは行って、自分の父の家に住んだ。

12 時が経ち、ユダの妻であるシュアの娘が死んだ。ユダは慰めを得た後、友人のアドゥラム人ヒラと共に、ティムナにいる羊の毛を刈る者たちのところへ上って行った。

13 タマルは、「見よ、あなたの舅が羊の毛を刈るためにティムナへ上って行く」と告げられた。

14 彼女はやもめの着物を脱ぎ、ベールで身を覆い、身を包んで、ティムナへの道にあるエナイムの入り口に座った。シェラが成長したのに、自分が彼の妻として与えられていないのを見たからである。

15 ユダは彼女を見たとき、彼女が顔を覆っていたので、遊女だと思った。

16 彼は道端の彼女のところへ向きを変え、「さあ、どうかあなたのところに入らせてくれ」と言った。彼女が自分の嫁であることを知らなかったからである。

彼女は言った。「私のところに入るために、何をくださいますか。」

17 彼は言った。「群れから子山羊を一匹送ろう。」

彼女は言った。「それを送るまで、私に保証の品をくださいますか。」

18 彼は言った。「何の保証の品を与えようか。」

彼女は言った。「あなたの印章とひも、そしてあなたの手にある杖です。」彼はそれらを彼女に与え、彼女のところに入り、彼女は彼によって身ごもった。

19 彼女は立ち上がって去り、ベールを脱いで、再びやもめの着物を着た。

20 ユダは女の手から保証の品を受け取るために、友人のアドゥラム人の手で子山羊を送ったが、彼は彼女を見つけられなかった。

21 そこで彼はその場所の人々に尋ねた。「道端のエナイムにいたあの遊女はどこにいますか。」

彼らは言った。「ここに遊女はいませんでした。」

22 彼はユダのところに戻って言った。「彼女を見つけることはできませんでした。また、その場所の人々も『ここに遊女はいなかった』と言っていました。」

23 ユダは言った。「私たちが恥をかかないように、彼女にそれらを持たせておこう。見よ、私はこの子山羊を送ったが、あなたは彼女を見つけられなかったのだから。」

24 約三か月後、ユダは、「あなたの嫁タマルは遊女のようなことをした。しかも見よ、彼女は遊女の行いによって身ごもっている」と告げられた。

ユダは言った。「彼女を引き出して、火で焼かせよ。」

25 彼女が引き出されるとき、彼女は舅に人を遣わして言った。「これらの持ち主である男の人によって、私は身ごもりました。」彼女はさらに言った。「どうか、これらのものが誰のものか、確かめてください。印章と、ひもと、杖です。」

26 ユダはそれらを認めて言った。「彼女は私よりも正しい。私が息子のシェラに彼女を与えなかったからだ。」彼は二度と彼女を知ることはなかった。

27 彼女の出産の時が来ると、見よ、彼女の胎内には双子がいた。

28 彼女が出産するとき、一人が手を出した。助産婦はそれを取り、その手に赤い糸を結びつけて、「この子が先に出た」と言った。

29 しかし、その子が手を引っ込めると、見よ、その兄弟が出て来たので、彼女は「どうしてあなたは自分で破れ目を作ったのか」と言った。それゆえ、彼の名はペレッツ*と呼ばれた。

30 その後、手に赤い糸を結んだ兄弟が出て来た。彼の名はゼラと呼ばれた。

39

1 ヨセフはエジプトへ下って連れて行かれた。ファラオの役人で護衛の長であるエジプト人ポティファルが、彼をそこへ下って連れて来たイシュマエル人の手から買い取った。

2 主はヨセフと共におられ、彼は成功する人となった。彼は主人であるエジプト人の家にいた。

* 38:29 38:29 ペレッツは「破れ目」を意味する。

3 主が彼と共におられ、彼の手がすることすべてを主が成功させてくださるのを、彼の主人は見た。

4 ヨセフは主人の目に恵みを見出し、彼に仕えた。主人は彼を自分の家の管理人にし、自分のすべての持ち物を彼の手に乗せた。

5 彼がヨセフを家の管理人とし、またそのすべての持ち物を任せた時から、主はヨセフのゆえに、このエジプト人の家を祝福された。主の祝福は、家にあるものにも、野にあるものにも、彼のすべての持ち物の上にあった。

6 彼は自分のすべての持ち物をヨセフの手に任せ、自分が食べる食物のほかは、何一つ自分では気にしなかった。ヨセフは体つきも良く、顔立ちも美しかった。

7 これらのことの後、主人の妻がヨセフに目を向け、「私と寝なさい」と言った。

8 しかし彼は拒み、主人の妻に言った。「見てください。私の主人は、家の中のことについては何も私に問いません。主人はご自分のすべての持ち物を私の手に委ねられました。

9 この家の中で、私より大きな者はいません。主人は、あなたが奥様であるという以外は、何一つ私に禁じておられません。それなのに、どうして私がこのような大きな悪を行い、神に対して罪を犯すことができるのでしょうか。」

10 彼女は毎日ヨセフに言い寄ったが、彼は彼女のそばに寝ることも、彼女と一緒にいることも聞き入れなかった。

11 ある日のこと、彼が仕事をするために家に入ると、家の中には家の者が一人もいなかった。

12 彼女は彼の服をつかんで、「私と寝なさい」と言った。

しかし、彼は自分の服を彼女の手に残したまま、逃げて外へ出た。

13 彼が自分の服を彼女の手に残して外へ逃げたのを見ると、

14 彼女は家の者たちを呼んで言った。「見てください。私たちが侮辱するために、あの人はヘブライ人を連れて来ました。彼が私と寝ようとして入ってきたので、私は大声で叫びました。」

15 私が声を上げて叫ぶのを聞くと、彼は服を私のそばに残し、逃げて外へ出たのです。」

16 彼女は主人が家に帰って来るまで、その服を自分のそばに置いておいた。

17 彼女は主人に同じ言葉で語って言った。「あなたが私たちのところに連れて来たあのヘブライ人のしもべが、私を侮辱しようとして入ってきました。」

18 私が声を上げて叫んだので、彼は服を私のそばに残し、外へ逃げました。」

19 主人は、「あなたのしもべは私にこのようなことをしました」と彼女が語った妻の言葉を聞くと、激しく怒った。

20 ヨセフの主人は彼を捕らえ、王の囚人たちがつながらている場所である監獄に入れた。こうして彼はその監獄にいた。

21 しかし主はヨセフと共におられ、彼に慈しみを示し、監獄の長の目に恵みを得させられた。

22 監獄の長は、監獄にいるすべての囚人をヨセフの手に委ねた。彼らがそこで行うすべてのことは、ヨセフが取り仕切った。

23 監獄の長は、ヨセフの手に任せたことについては何一つ気にかけなかった。主が彼と共におられ、彼が行うことを主が成功させてくださったからである。

40

¹ これらのことの後、エジプトの王の献酌官と料理人が、彼らの主君であるエジプトの王に対して罪を犯した。

² ファラオは二人の高官、すなわち献酌官の長と料理人の長に向かって怒った。

³ 彼は彼らを、護衛の長の家にある監獄、すなわちヨセフがつながれていた場所に入れた。

⁴ 護衛の長は彼らをヨセフに任せ、ヨセフは彼らに仕えた。彼らはしばらくの間、監獄にいた。

⁵ 監獄につながれていたエジプトの王の献酌官と料理人の二人は、同じ夜にそれぞれ夢を見た。それぞれの夢には意味があった。

⁶ 朝になってヨセフが彼らのところに行き、彼らを見ると、見よ、彼らは沈んだ顔をしていた。

⁷ 彼は主人の家で自分と一緒に監獄にいるファラオの高官たちに尋ねて言った。「なぜ今日、あなたがたの顔色は悪いのですか。」

⁸ 彼らは彼に言った。「私たちは夢を見たが、それを解き明かしてくれる人がいないのだ。」

ヨセフは彼らに言った。「解き明かしは神に属することではありませんか。どうか、私に話してください。」

⁹ 献酌官の長は自分の夢をヨセフに話して言った。「私の夢の中で、見よ、私の前に一本のぶどうの木があった。

¹⁰ そのぶどうの木には三本の枝があった。それは芽を出し、花を咲かせ、房が熟してぶどうになったかのようなだった。

¹¹ ファラオの杯が私の手にあったので、私はそのぶどうを取り、ファラオの杯の中に搾り、その杯をファラオの手に渡した。」

12 ヨセフは彼に言った。「その解き明かしはこうです。三本の枝は三日です。」

13 今から三日以内に、ファラオはあなたの頭を上げ、あなたを元の地位に戻すでしょう。あなたは、以前に献酌官であったときのように、ファラオの手に杯を渡すようになります。

14 しかし、あなたが幸いを得たときには、私のことを思い出し、どうか私に慈しみを示してください。私のことをファラオに話し、私をこの家から出してください。

15 実は、私はヘブライ人の地からさらわれて来ました。そしてここでも、私はこの穴に入れられるようなことは何もしていません。」

16 料理人の長は、その解き明かしが良いのを見て、ヨセフに言った。「私も夢を見た。見よ、私の頭の上に白いパンの入った三つの籠があった。」

17 一番上の籠には、ファラオのためのあらゆる種類の焼き菓子が入っていたが、鳥が私の頭の上の籠からそれらを食べていた。」

18 ヨセフは答えて言った。「その解き明かしはこうです。三つの籠は三日です。」

19 今から三日以内に、ファラオはあなたの頭をあなたから取り去り、あなたを木に吊るすでしょう。そして鳥があなたの肉を食べるでしょう。」

20 三日目はファラオの誕生日であり、彼はすべての家来たちのために宴会を催した。彼は家来たちの中で、献酌官の長の頭と、料理人の長の頭を上げた。

21 彼は献酌官の長をその献酌の役職に戻し、献酌官はファラオの手に杯を渡した。

22 しかし、彼は料理人の長を吊るした。ヨセフが彼らに解き明かしたとおりであった。

23 それでも、献酌官の長はヨセフのことを思い出さず、彼を忘れてしまった。

41

1 丸二年が経った後、ファラオは夢を見た。見よ、彼はナイル川のほとりに立っていた。

2 見よ、ナイル川から見栄えが良く肉付きの良い七頭の雌牛が上がって来て、葦の中で草を食べていた。

3 見よ、その後から、見栄えが悪く痩せこけた別の七頭の雌牛がナイル川から上がって来て、川岸にいる他の雌牛たちのそばに立った。

4 見栄えが悪く痩せこけた雌牛が、見栄えが良く肉付きの良い七頭の雌牛を食べてしまった。そこでファラオは目を覚ました。

5 彼は再び眠りにつき、二度目の夢を見た。見よ、一本の茎から、よく実って丸々とした七つの良い穂が出て来た。

6 見よ、その後から、細くて東風に焼け焦げた七つの穂が出て来た。

7 細い穂が、丸々と実った七つの穂を飲み込んでしまった。ファラオは目を覚ました。見よ、それは夢であった。

8 朝になると、彼の心は騒いだ。彼は人を遣わして、エジプトのすべての魔術師とすべての知者たちを呼び寄せた。ファラオは彼らに自分の夢を話したが、ファラオのためにそれを解き明かせる者はいなかった。

9 その時、献酌官の長がファラオに語って言った。「私は今日、自分の過ちを思い出しました。

10 ファラオが家来たちに向かって怒り、私と料理人の長を護衛の長の家にある監獄に入れられたことがありました。

11 私と彼は同じ夜に夢を見ました。私たちは、それぞれ意味を持つ夢を見たのです。

12 そこに、護衛の長のしもべであるヘブライ人の若者が、私たちと一緒にいました。私たちが彼に話すと、彼は私たちの夢を解き明かしてくれました。彼は、それぞれの夢にしたがって解き明かしてくれたのです。

13 そして、彼が私たちに解き明かしたとおりのようになりました。私は元の役職に戻され、彼は吊るされました。」

14 そこでファラオは人を遣わしてヨセフを呼んだ。人々は急いで彼を地下牢から連れ出した。彼はひげをそり、着物を着替えて、ファラオの前に出た。

15 ファラオはヨセフに言った。「私は夢を見たが、それを解き明かせる者がいない。あなたについては、夢を聞いてそれを解き明かすことができると聞いた。」

16 ヨセフはファラオに答えて言った。「私ではありません。神がファラオに平安の答えを与えてくださるでしょう。」

17 ファラオはヨセフに言った。「夢の中で、見よ、私はナイル川の岸に立っていた。

18 見よ、ナイル川から肉付きが良く見栄えの良い七頭の雌牛が上がって来て、葦の中で草を食べていた。

19 見よ、その後から、弱々しく、非常に見栄えが悪く痩せこけた別の七頭の雌牛が上がって来た。私はエジプトの全土で、これほど見栄えの悪いものを見たことがない。

20 痩せて見栄えの悪い雌牛は、最初の丸々と太った七頭の雌牛を食べてしまった。

21 それらを食べてしまっても、食べたことがわからないほど、初めと同じように見栄えが悪かった。そこで私は目を覚ました。

22 私はまた夢の中で見た。見よ、一本の茎から、丸々と実った七つの良い穂が出て来た。

23 見よ、その後から、しなびて細く、東風に焼け焦げた七つの穂が出て来た。

24 細い穂が、良い七つの穂を飲み込んでしまった。私はこれを魔術師たちに話したが、私に説明できる者はいなかった。」

25 ヨセフはファラオに言った。「ファラオの夢は一つです。神がこれからなさることを、ファラオに示されたのです。

26 良い七頭の雌牛は七年であり、良い七つの穂も七年です。夢は一つです。

27 その後から上がって来た、痩せて見栄えの悪い七頭の雌牛も七年であり、東風に焼け焦げた、中身のない七つの穂もそうです。それは飢饉の七年となります。

28 私がファラオに申し上げたのはこのことです。神がこれからなさることを、ファラオにお見せになったのです。

29 見よ、エジプトの全土に、大豊作の七年が来ます。

30 その後、飢饉の七年が起こります。エジプトの地で、豊作はすべて忘れ去られ、飢饉がその地を滅ぼし尽くすでしょう。

31 その後に来る飢饉が非常に激しいため、この地での豊作は知られなくなります。

32 夢がファラオに二度繰り返されたのは、このことが神によって定められており、神が速やかにそれを行われるからです。

33 ですから今、ファラオは聡明で知恵のあ

る人を見つけ、その人をエジプトの地の上に置くべきです。

³⁴ ファラオはこのように行い、国の上に監督官たちを任命し、豊作の七年の間にエジプトの地の収穫の五分の一を徴収させてください。

³⁵ 彼らに、これから来る良い年々のすべての食料を集めさせ、ファラオの権威の下に町々に穀物を蓄えさせ、彼らにそれを守らせてください。

³⁶ その食料は、エジプトの地に起こる飢饉の七年に備える、この国の蓄えとなります。そうすれば、この国が飢饉によって滅びることはありません。」

³⁷ この提案はファラオの目にも、そのすべての家来たちの目にも良いとされた。

³⁸ ファラオは家来たちに言った。「神の霊が宿っているこのような人を、ほかに見つけることができるだろうか。」

³⁹ ファラオはヨセフに言った。「神がこれらすべてをあなたに示されたのだから、あなたのように聡明で知恵のある者はいない。

⁴⁰ あなたは私の家を治め、私のすべての民はあなたの言葉に従う。王座においてのみ、私はあなたより上に立つ。」

⁴¹ ファラオはヨセフに言った。「見よ、私はあなたをエジプトの全土の上に置く。」

⁴² ファラオは自分の手から指輪を外し、それをヨセフの手にはめ、上等の亜麻布の衣を着せ、彼の首に金の鎖をかけた。

⁴³ 彼はヨセフを自分の第二の戦車に乗せ、人々は彼の前で「ひざまずけ」と叫んだ。こうしてファラオは彼をエジプトの全土の上に置いた。

⁴⁴ ファラオはヨセフに言った。「私はファラオである。あなたの許可なしには、エジプトの全

土で誰も手足を上げることはない。」

⁴⁵ ファラオはヨセフの名をツアフェナテ・パネア* と呼び、オンの祭司ポティ・フェラの娘アセナテを彼の妻として与えた。ヨセフはエジプトの地を巡回した。

⁴⁶ ヨセフがエジプトの王ファラオの前に立ったとき、彼は三十歳であった。ヨセフはファラオの前から出て行き、エジプトの全土を巡回した。

⁴⁷ 豊作の七年の間に、地は豊かに産み出した。

⁴⁸ 彼はエジプトの地にあった七年間のすべての食料を集め、その食料を町々に蓄えた。彼は各々の町の周囲の畑の食料を、その町の中に蓄えた。

⁴⁹ ヨセフは穀物を海の砂のように、非常によく蓄えた。ついには数えきれなくなったので、数えるのをやめたほどであった。

⁵⁰ 飢饉の年が来る前に、ヨセフに二人の息子が生まれた。オンの祭司ポティ・フェラの娘アセナテが彼に産んだのである。

⁵¹ ヨセフは長男の名をマナセ† と名付けた。彼が「神が、私のすべての労苦と、私の父のすべての家を忘れさせてくださったからだ」と言ったからである。

⁵² 彼は次男の名をエフライム‡ と名付けた。彼が「神が、私の苦しさの地で私を実り多い者としてくださったからだ」と言ったからである。

⁵³ エジプトの地にあった豊作の七年が終わった。

⁵⁴ ヨセフが言ったとおり、飢饉の七年が始まった。すべての国々に飢饉があったが、エジプトの全土にはパンがあった。

* **41:45 41:45** ツアフェナテ・パネアの意味は不確かである。

† **41:51 41:51** マナセはヘブライ語の「忘れる」という言葉に似ている。

‡ **41:52 41:52** エフライムはヘブライ語の「実を結ぶ」という言葉に似ている。

55 エジプトの全土が飢えたとき、民はファラオにパンを求めて叫んだ。ファラオはすべてのエジプト人に言った。「ヨセフのところへ行け。彼があなたがたに言うことを行いなさい。」

56 飢饉は全地の表に広がっていた。ヨセフはすべての倉を開き、エジプト人に穀物を売った。飢饉はエジプトの地で激しかった。

57 全地の国々が、穀物を買うためにエジプトのヨセフのところへ来た。全地で飢饉が激しかったからである。

42

1 さて、ヤコブはエジプトに穀物があるのを見て、息子たちに言った。「なぜあなたがたは顔を見合わせているのか。」

2 彼は言った。「見よ、エジプトに穀物がある」と聞いた。そこへ下って行き、私たちのためにそこから買って来なさい。私たちが死なずに生き延びるためだ。」

3 ヨセフの十人の兄弟たちは、エジプトから穀物を買うために下って行った。

4 しかしヤコブは、ヨセフの弟ベニヤミンを兄弟たちと一緒にには行かせなかった。彼が「彼に災いが降りかかるといけない」と考えたからである。

5 カナンの地にも飢饉があったので、イスラエルの子らは、やって来る人々に混じって買いに行った。

6 ヨセフはその地の統治者であり、その地のすべての民に穀物を売っていた。ヨセフの兄弟たちはやって来て、顔を地に伏せて彼に向かってお辞儀をした。

7 ヨセフは兄弟たちを見て彼らだとわかったが、彼らに対して見知らぬ者のように振る舞い、厳し

く語りかけた。彼は彼らに言った。「あなたがたはどこから来たのか。」

彼らは言った。「食物を買うために、カナンの地から来ました。」

⁸ ヨセフは兄弟たちだとわかったが、彼らには彼だとわからなかった。

⁹ ヨセフは彼らについて見た夢を思い出し、彼らに言った。「あなたがたはスパイだ。この国の隙をうかがうために来たのだ。」

¹⁰ 彼らは彼に言った。「いいえ、ご主人様。あなたのしもべたちは食物を買うために来たのです。」

¹¹ 私たちは皆、一人の人の息子です。私たちは正直な者であり、あなたのしもべたちはスパイではありません。」

¹² 彼は彼らに言った。「いや、あなたがたはこの国の隙をうかがうために来たのだ。」

¹³ 彼らは言った。「あなたのしもべである私たちは、カナンの地にいる一人の人の息子たちで、十二人の兄弟です。見よ、一番下の者は今日、父と一緒にいます。そして一人は、もういません。」

¹⁴ ヨセフは彼らに言った。「私があなたがたに『あなたがたはスパイだ』と言ったのは、そのことだ。」

¹⁵ このことによってあなたがたは試される。ファラオの命にかけて言う。あなたがたの一番下の弟がここに来ない限り、あなたがたはここから出ることはできない。

¹⁶ あなたがたのうちの一人を遣わして、弟を連れて来させなさい。あなたがたは監獄に入れられる。あなたがたの言葉が試され、あなたがたのうちに真実があるかどうか分かる。もしないなら、ファラオの命にかけて言うが、あなたがたは確かにスパイだ。」

¹⁷ 彼は彼らを一緒に三日間、監獄に入れた。

18 三日目にヨセフは彼らに言った。「このことを行って、生き延びなさい。私は神を恐れている。

19 もしあなたがたが正直な者なら、あなたがた兄弟のうち一人だけが監獄に残りなさい。あなたがたは行って、飢えている家族のために穀物を持ち帰りなさい。

20 そして、あなたがたの一番下の弟を私のところに連れて来なさい。そうすれば、あなたがたの言葉は証明され、あなたがたは死なないだろう。」
彼らはそのようにした。

21 彼らは互いに言った。「私たちは本当に弟のことで罪を負っている。彼が私たちに哀願したとき、私たちは彼の魂の苦しみを見たのに、聞き入れなかった。だから、この苦しみが私たちに降りかかったのだ。」

22 ルベンは彼らに答えて言った。「私はあなたがたに『あの少年に罪を犯してはならない』と言ったではないか。しかしあなたがたは聞き入れなかった。だから見よ、彼の血の責任が問われているのだ。」

23 彼らはヨセフがそれを理解しているとは知らなかった。彼らの間には通訳がいたからである。

24 ヨセフは彼らから離れて行き、泣いた。そして彼らのところに戻り、彼らと話し、彼らの中からシメオンを取り、彼らの目の前で縛った。

25 それからヨセフは、彼らの袋に穀物を満たし、各々の銀をそれぞれの袋に戻し、道中のための食料を彼らに与えるように命じた。そのように彼らに行われた。

26 彼らは穀物をろばに積んで、そこを出発した。

27 宿泊所で、彼らの一人がろばに餌をやるために袋を開けると、自分の銀が見えた。見よ、それは袋の口にあった。

28 彼は兄弟たちに言った。「私の銀が戻されている。見よ、私の袋の中にある。」彼らの心は沈み、彼らは震えながら互いに向き合って言った。
「神は私たちに何ということをしたのか。」

29 彼らはカナンの地にいる父ヤコブのところに帰り、自分たちに起こったすべてのことを彼に告げて言った。

30 「その国の主である人が私たちに厳しく語りかけ、私たちをその国のスパイとみなしました。

31 私たちは彼に言いました。『私たちは正直な者です。スパイではありません。

32 私たちは一人の父の息子たちで、十二人の兄弟です。一人はもうおらず、一番下の者は今日、カナンの地で父と一緒にいます。』

33 その国の主である人は私たちに言いました。
『あなたがたが正直な者であることを、このことによって私は知るだろう。あなたがたの兄弟の一人を私のもとに残し、飢えている家族のために穀物を持って行きなさい。

34 そして、あなたがたの一番下の弟を私のところに連れて来なさい。そうすれば、私はあなたがたがスパイではなく、正直な者であることがわかる。そして、あなたがたの兄弟をあなたがたに渡し、あなたがたはこの国で自由に行き来できるだろう。』

35 彼らが袋を空にすると、見よ、各々の銀包みがその袋の中にあった。彼らと彼らの父がその銀包みを見たとき、彼らは恐れた。

36 父ヤコブは彼らに言った。「あなたがたは私から子どもたちを奪ってしまった。ヨセフはもうおらず、シメオンもいない。そして今度はベニヤミンを連れ去ろうとしている。これらすべてのことが私に降りかかっているのだ。」

37 ルベンは父に語って言った。「もし私が彼をあなたのもとの連れ帰らなかったなら、私の二人の息子を殺してもかまいません。彼を私の手に委ねてください。私が彼をあなたのもとの連れ帰ります。」

38 彼は言った。「私の息子はあなたがたと一緒に下って行くことはない。彼の兄は死に、彼だけが残されているからだ。もしあなたがたが行く道中で彼に災いが降りかかれば、あなたがたは白髪の私を悲しみと共にシェオル*へ下らせることになる。」

43

1 その地では飢饉が激しかった。

2 彼らがエジプトから持ち帰った穀物を食べ尽くしたとき、父は彼らに言った。「また行って、私たちのために少し食物を買って来なさい。」

3 ユダは彼に語って言った。「あの人は厳しく私たちに警告して、『あなたがたの弟が一緒にいない限り、私の顔を見てはならない』と言いました。」

4 もしあなたが弟を私たちと一緒に遣わして下さるなら、私たちは下って行って、あなたのために食物を買って来ます。

5 しかし、もしあなたが彼を遣わさないなら、私たちは下って行きません。あの人が私たちに、『あなたがたの弟が一緒にいない限り、私の顔を見てはならない』と言ったからです。」

6 イスラエルは言った。「なぜあなたがたは、もう一人弟がいるなどと言って、私にそんな悪いことをしたのか。」

7 彼らは言った。「あの人が、私たちのことや私たちの親族について詳しく尋ね、『あなたがた

* 42:38 42:38 シェオルは死者の場所である。

の父はまだ生きているか。あなたがたにはもう一人兄弟がいるか』と言ったのです。私たちはただ、その質問に答えただけです。彼が『弟を連れて下って来い』と言うと、どうして知ることができたでしょうか。」

8 ユダは父イスラエルに言った。「その少年を私と一緒に遣わしてください。そうすれば私たちは立ち上がって行きます。私たちも、あなたも、私たちの幼い子どもたちも、死なずに生き延びるためです。」

9 私が彼の保証人になります。私の手から彼を求めてください。もし私が彼をあなたのもとに連れ帰り、あなたの前に立たせなかったなら、私に一生その罪を負わせてください。

10 もし私たちがぐずぐずしていなかったら、今頃は二度も行つて帰つて来られたはずです。」

11 彼らの父イスラエルは彼らに言った。「どうしてもそうしなければならないのなら、こうしなさい。この地の最も良い産物を器に入れ、あの人への贈り物として持って下りなさい。少しの香油、少しの蜂蜜、香料、没薬、ピスタチオ、アーモンドだ。」

12 手には二倍の銀を持って行きなさい。袋の口に戻されていた銀も、手に持って帰りなさい。それは何かの間違いだったのかもしれない。

13 あなたがたの弟も連れて、立ち上がり、再びあの人のところへ行きなさい。

14 全能の神が、あの人の前でああなたがたにあわれみを与え、あの人がああなたがたのもう一人の兄弟とベニヤミンを解放してくれるように。私については、子を失うのなら、失うしかない。」

15 彼らはその贈り物を取り、手に二倍の銀を持ち、ベニヤミンも連れた。彼ら

は立ち上がってエジプトへ下り、ヨセフの前に立った。

16 ヨセフは彼らと一緒にベニヤミンを見ると、自分の家の管理人に言った。「この人たちを家の中に連れて行き、動物を屠って準備しなさい。この人たちは昼に私と一緒に食事をするからだ。」

17 その人はヨセフが命じたとおりに行い、人々をヨセフの家へ連れて行った。

18 彼らはヨセフの家に連れて行かれたので恐れて、言った。「私たちが連れて来られたのは、最初に袋に戻されていた銀のためだ。私たちに言いがかりをつけて襲いかかり、私たちを奴隷にし、私たちのろばも奪うつもりなのだ。」

19 彼らはヨセフの家の管理人に近づき、家の戸口で彼に話しかけて、

20 言った。「ああ、ご主人様。私たちは最初、食物を買うために下って来ました。」

21 私たちが宿泊所に着いて袋を開けると、見よ、各々の銀が袋の口にありました。私たちの銀が全額そのままありました。私たちはそれを手に持って再び来ました。

22 また、食物を買うための別の銀も手に持って下って来ました。誰が私たちの銀を袋に入れたのか、私たちにはわかりません。」

23 彼は言った。「安心しなさい。恐れることはありません。あなたがたの神、あなたがたの父の神が、あなたがたの袋に宝を与えてくださったのです。あなたがたの銀は、私が受け取っています。」そして彼はシメオンを彼らのところに連れ出した。

24 その人は彼らをヨセフの家に入れ、水を与えたので、彼らは足を洗った。彼は彼らのろば

に餌を与えた。

25 彼らは昼にヨセフが来るまでに、贈り物を準備した。彼らがそこで食事をすると聞いていたからである。

26 ヨセフが家に帰って来ると、彼らは手にしていた贈り物を家の中にいる彼のもとに持って行き、地に向かって彼にお辞儀をした。

27 ヨセフは彼らの安否を尋ねて言った。「あなたがたが話していた年老いた父上は無事か。彼はまだ生きているか。」

28 彼らは言った。「あなたのしもべである私たちの父は無事です。まだ生きています。」彼らは頭を下げてお辞儀をした。

29 ヨセフが目を上げて、自分の母の息子、弟ベニヤミンを見ると、彼は言った。「これが、あなたがたが私に話していた一番下の弟か。」そして言った。「神があなたに恵みを与えてくださるように、私の子よ。」

30 弟への愛情が込み上げて来たため、ヨセフは急いで泣く場所を探した。彼は自分の部屋に入り、そこで泣いた。

31 彼は顔を洗い、外に出て来た。そして自分を抑えて、「食事を出しなさい」と言った。

32 人々はヨセフのために別に、彼らのために別に、また彼と一緒に食べるエジプト人たちのためにも別に食事を出した。エジプト人はヘブライ人と一緒に食事をすることができないからである。それはエジプト人にとって忌まわしいことだったからである。

33 彼らはヨセフの前に、長男は長男の席に、一番下の者は一番下の者の席に座らせられたので、彼らは互いに驚いて顔を見合わせた。

34 ヨセフは自分の前から彼らに分け前を送ったが、ベニヤミンの分け前は彼らの誰の分け前よりも五倍も多かった。彼らは飲み、ヨセフと共に楽しんだ。

44

1 ヨセフは自分の家の管理人に命じて言った。「あの人々の袋に、彼らが運べるだけの食料を満たしなさい。そして、それぞれの銀をその袋の口に入れなさい。

2 また、私の杯、あの銀の杯を、一番下の者の袋の口に、彼の穀物の代金の銀と一緒に入れなさい。」管理人はヨセフが言った言葉のとおりに行った。

3 朝が明るくなるとすぐに、彼らはろばと共に送り出された。

4 彼らが町を出て、まだ遠くへ行かないうちに、ヨセフは管理人に言った。「立って、あの人々を追いかけなさい。彼らに追いついたら、こう言いなさい。『なぜあなたがたは、善に悪を返したのか。』」

5 これは私の主人が飲む杯であり、また占いに用いるものではないか。あなたがたのしたことは悪である。』」

6 管理人は彼らに追いつき、これらの言葉を彼らに語った。

7 彼らは彼に言った。「ご主人様、なぜそのようなことを言われるのですか。あなたのしもべたちがそのようなことをするなど、決してあり得ません。

8 見よ、私たちは自分たちの袋の口に見つけた銀を、カナン地の地からあなたに持ち帰りました。どうして私たちが、あなたの主人の家から銀や金を盗むでしょうか。

9 あなたのしもべたちのうち、それが誰のところで見つかったとしても、その者は死なせてください。私たちもご主人様の奴隷になります。」

10 彼は言った。「それでは、あなたがたの言葉のとおりにしよう。それが見つかった者は私の奴隷となり、あなたがたは無罪となる。」

11 そこで彼らは急いで、それぞれ自分の袋を地面に下ろし、それぞれ自分の袋を開けた。

12 管理人は一番上の者から始め、一番下の者で終わるように探した。すると杯はベニヤミンの袋で見つかった。

13 そこで彼らは自分の着物を引き裂き、それぞれ自分のろばに荷を積んで町へ戻った。

14 ユダとその兄弟たちはヨセフの家に来た。ヨセフはまだそこにいた。彼らは彼の前で地にひれ伏した。

15 ヨセフは彼らに言った。「あなたがたがしたこの仕業は何だ。私のような者が、確かに占いをすることを知らなかったのか。」

16 ユダは言った。「ご主人様に何と申し上げましょうか。何を語りましょうか。どのようにして潔白を示せるでしょうか。神があなたのしもべたちの咎を見つけ出されたのです。見よ、私たちはご主人様の奴隷です。私たちも、手から杯が見つかった者もです。」

17 ヨセフは言った。「私がそのようなことをするなど、決してあり得ない。手から杯が見つかった者だけが私の奴隷となる。あなたがたは、安らかに父のところへ上って行きなさい。」

18 そのとき、ユダは彼に近づいて言った。「ああ、ご主人様、どうかあなたのしもべに、ご主人様の耳に一言だけ語らせてください。あなたのしも

べに対して怒りを燃やさないでください。あなたはファラオと同じような方だからです。

19 ご主人様はしもべたちに尋ねて、『あなたがたには父、あるいは兄弟がいるか』と言われました。

20 私たちはご主人様に言いました。『私たちに年老いた父と、父が年老いてから生まれた幼い子がいます。その子の兄は死に、母の子として彼だけが残されているので、父は彼を愛していません。』

21 あなたはしもべたちに言われました。『その子を私のところへ連れて下って来い。私がこの目で彼を見よう。』

22 私たちはご主人様に言いました。『あの少年は父から離れることができません。もし父から離れれば、父は死んでしまうでしょう。』

23 しかしあなたはしもべたちに言われました。『あなたがたの一番下の弟と一緒に下って来ない限り、あなたがたは二度と私の顔を見てはならない。』

24 私たちはあなたのしもべである私の父のところへ上って行き、ご主人様の言葉を父に告げました。

25 私たちの父は言いました。『また行って、私たちのために少し食物を買って来なさい。』

26 私たちは言いました。『私たちは下って行くことはできません。もし一番下の弟が私たちと一緒に下って行きます。一番下の弟が私たちと一緒になければ、あの方の顔を見ることができないからです。』

27 あなたのしもべである私の父は私たちに言いました。『私の妻が私に二人の息子を産んだことを、あなたがたは知っている。』

28 一人は私のもとから出て行ったので、私は「きっと彼は引き裂かれたのだ」と言った。そして、それ以来彼を見ていない。

29 もしあなたがたがこの子までも私から奪い去り、彼に災いが降りかかれば、あなたがたは白髪のを悲しみと共にシェオル*へ下らせることになる。』

30 ですから今、私があるのしもべである父のところへ帰り、あの少年が私たちと一緒になかったなら、父の命はあの少年の命と結びついているので、

31 父はあの少年がい不见ると、死んでしまうでしょう。あなたのしもべたちは、あなたのしもべである私たちの父の白髪を、悲しみと共にシェオル†へ下らせることになります。

32 あなたのしもべは父に対し、あの少年の保証人となって、『もし私が彼をあなたのもとに連れ帰らなかったなら、私は一生、父に対してその罪を負います』と言ったのです。

33 ですから今、どうかあなたのしもべをあの少年の代わりに、ご主人様の奴隷としてとどまらせてください。あの少年は兄弟たちと一緒に上って行かせてください。

34 もしあの少年が私と一緒になければ、どうして私は父のところへ上って行くことができるでしょうか。父に降りかかる災いを見たくありません。」

45

1 そのとき、ヨセフは自分の前に立っているすべての人の前で、自分を抑えることができなくなり、「すべての人を私の前から出しなさい」と叫んだ。ヨセフが兄弟たちに自分を明かしたとき、ほかの誰も彼と一緒に立っていなかった。

2 彼は声を上げて泣いた。エジプト人たちはそれを聞き、ファラオの家もそれを聞いた。

* 44:29 44:29 シェオルは死者の場所である。

† 44:31 44:31

シェオルは死者の場所である。

3 ヨセフは兄弟たちに言った。「私はヨセフです。父はまだ生きていますか。」

兄弟たちは彼に答えることができなかった。彼の前でおびえていたからである。

4 ヨセフは兄弟たちに言った。「どうか、私に近づいてください。」

彼らが近づくと、彼は言った。「私はあなたがたの兄弟ヨセフです。あなたがたがエジプトに売った者です。」

5 今、私をここに売ったことで心を痛めたり、自分を責めたりしないでください。神が命を救うために、あなたがたより先に私を遣わしてくださったのです。

6 この二年間、この地に飢饉がありました。そしてまだ五年、耕すことも刈り入れることもない年があります。

7 神は、あなたがたのために地上に残りの者を保ち、大いなる救いによってあなたがたを生き延びさせるために、あなたがたより先に私を遣わされました。

8 ですから今、私をここに遣わしたのはあなたがたではなく、神なのです。神は私をファラオの父、その全家の主、そしてエジプト全土の統治者とされました。

9 急いで私の父のところへ上って行き、父に告げてください。『あなたの息子ヨセフはこう言っています。「神は私をエジプト全体の主とされました。私のところへ下って来てください。ためらわないでください。』

10 あなたはゴシェンの地に住むことになります。あなたも、子どもたちも、孫たちも、羊の群れも、牛の群れも、あなたのすべての持ち物も、私の近くにいることになります。

11 そこで私があなたを養いましょう。まだ五年の飢饉があるからです。あなたも、あなたの家族も、あなたのすべての持ち物も、貧しくなることのないようにするためです。』』

12 見よ、あなたがたの目も、私の弟ベニヤミンの目も、あなたがたに語っているのが私自身の口であることを見えています。

13 あなたがたは、エジプトでの私のすべての栄光と、あなたがたが見たすべてのことを、私の父に告げなければなりません。急いで私の父をここに連れて下って来てください。』

14 ヨセフは弟ベニヤミンの首を抱いて泣き、ベニヤミンも彼の首を抱いて泣いた。

15 彼はすべての兄弟たちに口づけし、彼らを抱いて泣いた。その後、兄弟たちは彼と語り合った。

16 その知らせはファラオの家で聞かれ、「ヨセフの兄弟たちが来た」と言われた。それはファラオとその家来たちの目に良いことと思われた。

17 ファラオはヨセフに言った。「あなたの兄弟たちに言いなさい。『このようにしなさい。あなたがたの家畜に荷を積み、カナン地へ行きなさい。』

18 あなたがたの父と家族を連れて、私のところへ来なさい。私はあなたがたにエジプトの地の良いものを与え、あなたがたはその地の最良のものを食べるだろう。』

19 また、あなたはどのように命じなさい。『あなたがたの幼い子どもたちと妻たちのために、エジプトの地から荷車を取り、あなたがたの父を乗せて来なさい。』

20 また、持ち物のことを気にしなくてよい。エジプト全土の良いものは、あなたがたのものだからだ。』』

21 イスラエルの子らはそのようにした。ヨセフはファラオの命令にしたがって彼らに荷車を与え、道中のための食料を与えた。

22 彼は彼ら全員に、それぞれ着替えの衣を与え、ベニヤミンには銀三百枚と五着の着替えの衣を与えた。

23 彼は父のために次のものを送った。エジプトの良いものを積んだ十頭のろば、父の道中のために穀物とパンと食料を積んだ十頭の雌ろばである。

24 こうしてヨセフは兄弟たちを送り出し、彼らは旅立った。ヨセフは彼らに「途中で言い争わないように」と言った。

25 彼らはエジプトから上って行き、カナンの地にある彼らの父ヤコブのところへ来た。

26 彼らは父に告げて、「ヨセフはまだ生きています。そして、彼がエジプト全土の統治者です」と言った。ヤコブの心はぼう然とした。彼らを信じなかったからである。

27 彼らはヨセフが彼らに語ったすべての言葉をも父に伝えた。ヨセフが自分を運ぶために送った荷車を見ると、彼らの父ヤコブの霊は生き返った。

28 イスラエルは言った。「もう十分だ。私の息子ヨセフがまだ生きているとは。私は死ぬ前に、行って彼に会おう。」

46

1 イスラエルは自分のすべての持ち物と共に旅立ち、ベエル・シェバに来て、父イサクの神にいけにえをささげた。

2 神は夜の幻の中でイスラエルに語り、「ヤコブ、ヤコブ」と言われた。

彼は「はい、ここにおります」と言った。

3 神は言われた。「わたしは神、あなたの父の神である。エジプトへ下ることを恐れてはならない。そこでわたしはあなたを大いなる国民とするからである。

4 わたしはあなたと一緒にエジプトへ下って行く。わたしは必ずあなたを再び上らせる。ヨセフの手があなたの目を閉じるだろう。」

5 ヤコブはベエル・シェバから旅立った。イスラエルの子らは、自分たちの父ヤコブと、その幼い子どもたち、その妻たちを、彼を運ぶためにファラオが送った荷車に乗せた。

6 彼らは家畜と、カナンので得た財産を取り、エジプトへ来た。ヤコブと、彼と一緒にいたすべての子孫である。

7 彼の息子たち、彼と一緒にいた息子たちの息子たち、彼の娘たち、彼の息子たちの娘たち。彼は自分のすべての子孫と一緒にエジプトへ連れて来た。

8 エジプトに来たイスラエルの子ら、ヤコブとその息子たちの名は次のとおりである。ヤコブの長男ルベン。

9 ルベンの息子たちは、ハノク、パル、ヘツロン、カルミ。

10 シメオンの息子たちは、エムエル、ヤミン、オハデ、ヤキン、ツォハル、そしてカナン人の女の息子シャウル。

11 レビの息子たちは、ゲルション、ケハテ、メラリ。

12 ユダの息子たちは、エル、オナン、シェラ、ペレッツ、ゼラ。しかし、エルとオナンはカナンの地で死んだ。ペレッツの息子たちはヘツロンとハムルであった。

13 イッサカルの息子たちは、トラ、プワ、ヨブ、シムロン。

14 ゼブルンの息子たちは、セレデ、エロン、ヤフレエル。

15 これらは、レアがパダン・アラムでヤコブに産んだ息子たちと、その娘ディナである。彼の息子と娘は合わせて三十三人であった。

16 ガドの息子たちは、ツイフィオン、ハギ、シュニ、エツボン、エリ、アロディ、アレリ。

17 アシエルの息子たちは、イムナ、イシュワ、イシュビ、ベリア、そして彼らの妹セラ。ベリアの息子たちは、ヘベルとマルキエル。

18 これらはラバンが娘レアに与えたジルパの息子たちである。彼女はこれらをヤコブに産んだ。十六人であった。

19 ヤコブの妻ラケルの息子たちは、ヨセフとベニヤミン。

20 エジプトの地で、ヨセフにはマナセとエフライムが生まれた。オンの祭司ポティ・フェラの娘アセナテが彼に産んだのである。

21 ベニヤミンの息子たちは、ベラ、ベケル、アシュベル、ゲラ、ナアマン、エヒ、ロシュ、ムピム、フピム、アルデ。

22 これらはヤコブに生まれたラケルの息子たちである。合わせて十四人であった。

23 ダンの息子はフシム。

24 ナフタリの息子たちは、ヤフツェエル、グニ、エツェル、シレム。

25 これらはラバンが娘ラケルに与えたビルハの息子たちであり、彼女はこれらをヤコブに産んだ。合わせて七人であった。

26 ヤコブと一緒にエジプトに来た者、すなわち彼から直接出た子孫は、ヤコブの息子たちの妻を除いて、合わせて六十六人であった。

27 エジプトでヨセフに生まれた息子たちは二人であった。エジプトに来たヤコブの家の者は、合わせ

て七十人であつた。

28 ヤコブは、ゴシェンへの道を示してもらうため、ユダを自分より先にヨセフのところへ遣わした。彼らはゴシェンの地に着いた。

29 ヨセフは戦車を用意し、父イスラエルを迎えにゴシェンへ上って行った。父の前に出ると、その首を抱き、首を抱いたまま長く泣いた。

30 イスラエルはヨセフに言った。「あなたがまだ生きていて、あなたの顔を見たからには、私はもう死んでもよい。」

31 ヨセフは兄弟たちと、その父の家に言った。「私は上って行って、ファラオに話し、こう告げましょう。『カナンの地にいた私の兄弟たちと、私の父の家が私のところに来ました。』

32 その人たちは羊飼いであり、家畜を飼う者たちです。彼らは羊の群れと牛の群れ、そしてすべての持ち物を持って来ました。』

33 ファラオがあなたがたを呼び、『あなたがたの職業は何か』と言われたときには、

34 あなたがたは、『あなたのしもべたちは、若いころから今まで、私たちも私たちの先祖も家畜を飼う者です』と言いなさい。そうすれば、あなたがたはゴシェンの地に住むことができます。すべての羊飼いはエジプト人にとって忌み嫌われるものだからです。」

47

1 そこでヨセフは入って行ってファラオに告げて言った。「私の父と兄弟たちが、彼らの羊の群れと牛の群れ、そして彼らのすべての持ち物と共にカナンの地からやって来ました。見よ、彼らはゴシェンの地にいます。」

2 彼は兄弟たちの中から五人を取り、彼らをファラオの前に立たせた。

3 ファラオは彼の兄弟たちに言った。「あなたがたの職業は何か。」

彼らはファラオに言った。「あなたのしもべたちは羊飼いです。私たちも、私たちの先祖もそうです。」

4 彼らはまたファラオに言った。「私たちはこの地に寄留するために来ました。あなたのしもべたちの群れのための牧草地がないからです。カナンの地では飢饉が激しいのです。ですから今、どうかあなたのしもべたちをゴシェンの地に住まわせてください。」

5 ファラオはヨセフに語って言った。「あなたの父と兄弟たちがあなたのところに来た。

6 エジプトの地はあなたの前にある。あなたの父と兄弟たちを、その地の最も良い所に住まわせなさい。彼らをゴシェンの地に住まわせなさい。もし彼らの中に有能な者がいると知っているなら、その者たちを私の家畜の責任者にしなさい。」

7 ヨセフは父ヤコブを連れて来て、彼をファラオの前に立たせた。ヤコブはファラオを祝福した。

8 ファラオはヤコブに言った。「あなたの年齢はいくつですか。」

9 ヤコブはファラオに言った。「私の寄留の年月は百三十年です。私の生涯の年月の日々は少なく、苦しみ多いものでした。それは、私の先祖たちが寄留の日々に生きた生涯の年月の日々には及びません。」

10 ヤコブはファラオを祝福し、ファラオの前から出て行った。

11 ヨセフはファラオが命じたとおり、父と兄弟たちを住ませ、エジプトの地の最も良い所、ラメセスの地に所有地を与えた。

12 ヨセフは父と兄弟たちと、父の全家族を、その幼い子どもたちの数に応じて、パンで養った。

13 全地にパンがなかった。飢饉が非常に激しかったからである。エジプトの地もカナンのも、飢饉のために衰え果てた。

14 ヨセフは、人々が買った穀物の代金として、エジプトの地とカナンの地にあったすべての銀を集めた。ヨセフはその銀をファラオの家にもたらした。

15 エジプトの地とカナンのもで銀が尽きたとき、すべてのエジプト人がヨセフのところに来て言った。「私たちにパンを与えてください。どうして私たちはあなたの前で死んでよいでしょうか。私たちの銀は尽きてしまいました。」

16 ヨセフは言った。「あなたがたの家畜を渡さない。銀が尽きたのなら、家畜と引き換えに食物を与えよう。」

17 彼らは自分たちの家畜をヨセフのところに持って来た。ヨセフは馬、羊の群れ、牛の群れ、ろばと引き換えに、彼らにパンを与えた。彼はその年、彼らのすべての家畜と引き換えに、パンで彼らを養った。

18 その年が終わり、彼らは二年目にヨセフのところに来て言った。「私たちはご主人様に隠しません。私たちの銀はすべて尽き、家畜の群れもご主人様のものになりました。ご主人様の前に残っているのは、私たちの体と土地だけです。」

19 私たちと私たちの土地が、どうしてあなたの目の前で滅びてよいのでしょうか。パンと引き換えに、私たちと私たちの土地を買い取ってください。私たちと私たちの土地はファラオの奴隷になりま

す。私たちが死なずに生き延び、土地が荒れ果てないように、種を与えてください。」

20 こうしてヨセフは、エジプトのすべての土地をファラオのために買い取った。飢饉が彼らに激しかったため、エジプト人は皆、自分の畑を売ったからである。土地はファラオのものとなった。

21 民については、ヨセフはエジプトの国境の端から端まで、彼らを町々に移した。

22 彼が買い取らなかったのは、祭司たちの土地だけである。祭司たちにはファラオからの割り当てがあり、ファラオが彼らに与えたその割り当てを食べていたからである。それゆえ、彼らは自分たちの土地を売らなかった。

23 そのとき、ヨセフは民に言った。「見よ、私は今日、あなたがたとあなたがたの土地をファラオのために買い取った。見よ、ここにあなたがたのための種がある。あなたがたは土地に種を蒔きなさい。」

24 収穫の時には、五分の一をファラオに納めなさい。四つの部分はあなたがたのものとなり、畑の種のため、あなたがたの食物のため、家族の者たちのため、そして幼い子どもたちの食物のためとしなさい。」

25 彼らは言った。「あなたは私たちの命を救ってくださいました。ご主人様の目に恵みを見出させてください。私たちはファラオの奴隷になります。」

26 ヨセフはこれをエジプトの土地に関する掟とし、今日に至るまで、ファラオが五分の一を得るようにした。ただ、祭司たちの土地だけはファラオのものにならなかった。

27 イスラエルはエジプトの地、ゴシェンの地に住んだ。彼らはそこに所有地を得て、実り豊かになり、大いに増えた。

²⁸ ヤコブはエジプトの地で十七年生きた。ヤコブの生涯の日々、その生涯の年数は百四十七年であった。

²⁹ イスラエルが死ぬ時が近づいたとき、彼は息子ヨセフを呼んで言った。「もし今、私があなたの目に恵みを見出しているなら、どうかあなたの手を私のもの下に入れ、私に慈しみと真実をもって接してくれ。どうか私をエジプトに葬らないでほしい。

³⁰ 私が先祖たちと共に眠るとき、あなたは私をエジプトから運び出し、彼らの墓に私を葬りなさい。」

ヨセフは言った。「私はあなたの言われたとおりにします。」

³¹ イスラエルは言った。「私に誓ってくれ。」ヨセフは彼に誓った。それからイスラエルは寝床の枕元で礼拝した。

48

¹ これらのことの後、ある人がヨセフに、「見よ、あなたの父上は病気です」と告げた。そこでヨセフは、二人の息子マナセとエフライムを一緒に連れて行った。

² ある人がヤコブに告げて、「見よ、あなたの息子ヨセフがあなたのところに来ています」と言った。イスラエルは力を振り絞って、寝床の上に座った。

³ ヤコブはヨセフに言った。「全能の神が、カナンの地にあるルズで私に現れ、私を祝福して、

⁴ 私に言われた。『見よ、わたしはあなたを実り豊かにし、あなたを増やし、多くの民の集まりとする。そして、この地をあなたの後につく子孫に、永遠の所有地として与える。』

5 今、私がエジプトのあなたのところに来る前に、エジプトの地であなたに生まれた二人の息子は、私のものだ。エフライムとマナセは、ルベンやシメオンと同じように、私のものとなる。

6 彼らの後にあなたがもうける子孫は、あなたのものとなる。彼らは自分たちの相続地において、兄弟たちの名で呼ばれるだろう。

7 私については、私がパダンから来たとき、カナンの地で、エフラテへ行く道のまだ少し手前で、ラケルが私のそばで死んだ。私はエフラテ、すなわちベツレヘムへの道で、彼女をそこに葬った。」

8 イスラエルはヨセフの息子たちを見て、言った。「この子たちは誰か。」

9 ヨセフは父に言った。「ここで神が私に与えてくださった私の息子たちです。」

イスラエルは言った。「どうか、彼らを私のところに連れて来なさい。私は彼らを祝福しよう。」

10 さて、イスラエルの目は年齢のためにかすんでおり、見るができなかった。ヨセフが彼らを父に近づけると、イスラエルは彼らに口づけし、彼らを抱きしめた。

11 イスラエルはヨセフに言った。「私はあなたの顔を見られるとは思っていなかった。見よ、神はあなたの子孫をも私に見させてくださった。」

12 ヨセフは父の膝の間から彼らを連れ出し、顔を地に伏せてお辞儀をした。

13 ヨセフは二人を取り、エフライムを自分の右手に置いてイスラエルの左手に向かわせ、マナセを自分の左手に置いてイスラエルの右手に向かわせ、彼らを父に近づけた。

14 イスラエルは自分の右手を伸ばして、弟であるエフライムの頭の上に置き、自分の左手をマナセ

の頭の上に置いた。マナセが長男であったが、彼は意識して手を交差させた。

15 彼はヨセフを祝福して言った。「私の先祖アブラハムとイサクがその御前を歩んだ神、今日に至るまで私の全生涯にわたって私を養ってくださった神、

16 すべての悪から私を贖い出してくださった御使いが、この少年たちを祝福してくださるように。私の名と、私の先祖アブラハムとイサクの名が彼らの上に呼ばれるように。彼らが地のただ中で大いに増えるように。」

17 ヨセフは、父が右手をエフライムの頭の上に置いたのを見て、不満に思った。彼は父の手を持ち上げ、エフライムの頭からマナセの頭へ移そうとした。

18 ヨセフは父に言った。「そうではありません、お父さん。この子が長男です。あなたの右手を彼の頭の上に置いてください。」

19 しかし、父は拒んで言った。「わかっている、私の子よ、わかっている。彼もまた一つの民となり、彼もまた大いなる者となる。しかし、彼の弟は彼よりも大いなる者となり、その子孫は多くの国々の群れとなる。」

20 彼はその日、彼らを祝福して言った。「あなたによって、イスラエルは祝福の言葉を述べるだろう。『神があなたをエフライムのように、マナセのようになしてくださるように。』」こうして、彼はエフライムをマナセの前に置いた。

21 イスラエルはヨセフに言った。「見よ、私は死のうとしている。しかし神はあなたがたと共におられ、あなたがたを先祖の地に再び連れ戻してくださる。

22 さらに私は、あなたの兄弟たちよりも一つ多い分け前をあなたに与えた。それは、私が自分の剣と弓でアモリ人の手から奪い取ったものである。」

49

- 1 ヤコブは息子たちを呼び寄せて、言った。
「集まりなさい。後の日にあなたがたに起こることを、私があなたがたに告げよう。」
- 2 ヤコブの息子たちよ、集まって聞け。
あなたがたの父イスラエルに耳を傾けよ。
- 3 ルベンよ、あなたは私の長男、
私の力、私の勢いの初め。
威厳において優れ、
力において優れている。
- 4 水のように奔放なので、あなたは優れることはない。
あなたが父の寝床に上り、
それを汚したからだ。
彼は私の寝床に上ったのだ。
- 5 シメオンとレビは兄弟である。
彼らの剣は暴力の武器である。
- 6 私の魂よ、彼らの集まりに入ってはならない。
私の誉れよ、彼らの集会に連なってはならない。
彼らは怒りに任せて人を殺し、
自分たちの思いのままに牛の足の筋を切ったからだ。
- 7 彼らの怒りは呪われよ。それは激しかったからだ。
彼らの憤りは呪われよ。それは残酷だったからだ。
- 私は彼らをヤコブの中で分け、
イスラエルの中に散らそう。

- 8 ユダよ、あなたの兄弟たちはあなたをほめたたえる。
あなたの手は敵の首を押さえる。
あなたの父の息子たちは、あなたの前にひれ伏すだろう。
- 9 ユダは獅子の子である。
私の子よ、あなたは獲物を捕らえて上つて来た。
彼は身をかがめ、雄獅子のようにうずくまった。
雌獅子のように。
誰が彼を起こすことができるだろうか。
- 10 王笏はユダから離れず、
支配者の杖はその足の間から離れない。
それが属する方が来るまで。
諸民の従順はその方ものとなる。
- 11 彼はその子ろばをぶどうの木につなぎ、
雌ろばの子を良いぶどうの木につなぐ。
彼は自分の着物をぶどう酒で洗い、
自分の衣をぶどうの血で洗う。
- 12 彼の目はぶどう酒で赤く、
彼の歯は乳で白い。
- 13 ゼブルンは海辺に住み、
船の港となる。
その境界はシドンに達するだろう。
- 14 イッサカルは骨太のろば、
鞍袋の間に伏せている。
- 15 彼は休息の地が良く、
その国が好ましいのを見た。
彼は肩をかがめて重荷を負い、
強制労働をするしもべとなった。
- 16 ダンは自分の民を裁くだろう。
イスラエルの部族の一つとして。
- 17 ダンは道端の蛇となり、

- 小道にいるまむしとなる。
それは馬のかかとを噛み、
乗り手を後ろに落とす。
- 18 主よ、私はあなたの救いを待ち望む。
- 19 ガドには略奪隊が押し寄せるが、
彼は彼らのかかとを押し返すだろう。
- 20 アシエルについては、その食物は豊かである。
彼は王のごちそうを生み出すだろう。
- 21 ナフタリは解き放たれた雌鹿である。
彼は美しい子鹿を産む。
- 22 ヨセフは実を結ぶ枝、
泉のほとりの実を結ぶ枝である。
その枝は壁を越えて伸びる。
- 23 射手たちは彼を激しく苦しめ、
彼を射て、彼を憎んだ。
- 24 しかし彼の弓は堅く保たれ、
彼の腕はしなやかで強くされた。
ヤコブの力ある方の手によって、
そこから羊飼い、イスラエルの石が出る。
- 25 あなたを助けるあなたの父の神によって、
あなたを祝福する全能者によって。
上の天の祝福、
下に横たわる淵の祝福、
乳房と胎の祝福をもって。
- 26 あなたの父の祝福は、
私の先祖たちの祝福にまさり、
永遠の丘の果てにまで及ぶ。
それらはヨセフの頭の上にあり、
兄弟たちの中から選び出された者の
頭の頂にある。
- 27 ベニヤミンは貪り食う狼である。
朝には獲物を食らい、
夕には略奪品を分けるだろう。」

28 これらはすべてイスラエルの十二部族であり、これは彼らの父が彼らに語り、彼らを祝福したことである。彼はそれぞれにふさわしい祝福をもって、一人一人を祝福した。

29 彼は彼らに命じて、言った。「私は自分の民に加えられようとしている。ヘト人エフロンの畑にある洞穴に、私を先祖たちと一緒に葬ってくれ。

30 それはカナンの地にあるマムレの前の、マクペラの畑にある洞穴だ。アブラハムが墓地の所有地として、ヘト人エフロンから畑と一緒に買い取ったものである。

31 そこにはアブラハムとその妻サラが葬られた。そこにはイサクとその妻リベカが葬られ、そこに私はレアを葬った。

32 その畑とそこにある洞穴は、ヘトの人々から買い取られたものだ。」

33 ヤコブは息子たちに命じ終えると、足を寝床の中に引き上げ、息を引き取って、自分の民に加えられた。

50

1 ヨセフは父の顔の上に伏し、彼の上で泣いて、彼に口づけした。

2 ヨセフは自分のしもべである医者たちに、父に防腐処理を施すように命じた。医者たちはイスラエルに防腐処理を施した。

3 防腐処理にはそれだけの日数がかかるため、四十日が満ちた。エジプト人たちは彼のために七十日間泣いた。

4 彼のために泣く日々が過ぎたとき、ヨセフはファラオの家に語って言った。「もし今、私があなたがたの目に恵みを見出しているなら、どうかファラオの耳に語って言ってください。

5 『私の父は私に誓わせて言いました。「見よ、私は死のうとしてゐる。私がカナンカナンの地に自分のために掘った墓に、私を葬ってくれ。」ですから今、どうか私に上って行かせて、父を葬らせてください。そうすれば、私は戻って来ます。』」

6 ファラオは言った。「彼があなたに誓わせたとおりに上って行き、あなたの父を葬りなさい。」

7 ヨセフは父を葬るために上って行った。ファラオのすべての家来たち、ファラオの家の長老たち、エジプトの地のすべての長老たち、

8 そしてヨセフのすべての家、彼の兄弟たち、彼の父の家が彼と一緒に上って行った。ただ、彼らの幼い子どもたちと、羊の群れと牛の群れだけがゴシェンの地に残された。

9 戦車と騎兵も彼と一緒に上って行った。それは非常に大きな一行であった。

10 彼らはヨルダン川の向こうにあるアタドの打ち場アタドの打ち場に来て、そこで非常に大きく激しい嘆きをもって悼んだ。ヨセフは父のために七日間、喪に服した。

11 その地の住民であるカナン人たちは、アタドの打ち場でのその喪を見て、「これはエジプト人による激しい喪だ」と言った。それゆえ、その名はアベル・ミツライムアベル・ミツライム^{*}と呼ばれた。それはヨルダン川の向こうにある。

12 彼の息子たちは、彼が彼らに命じたとおりに彼に行った。

13 すなわち、彼の息子たちは彼をカナンカナンの地に運び、マクペラの畑の洞穴に彼を葬った。それは墓地の所有地として、アブラハムがマムレ

^{*} 50:11 50:11 アベル・ミツライムは「エジプトの嘆き」を意味する。

の前にある畑と一緒に、ヘト人エフロンから買い取ったものであった。

14 ヨセフは父を葬った後、彼自身と彼の兄弟たち、そして父を葬るために彼と一緒に上って行ったすべての者たちと共に、エジプトへ戻った。

15 ヨセフの兄弟たちは、父が死んだのを見て、言った。「もしかすると、ヨセフは私たちを憎み、私たちが彼にしたすべての悪に対して、必ず仕返しをするかもしれない。」

16 彼らはヨセフに伝言を送って言った。「あなたの父上は死ぬ前に命じて、言われました。

17 『あなたがたはヨセフにこう言いなさい。「どうか今、あなたの兄弟たちの背きと彼らの罪を赦してやってくれ。彼らはあなたに悪を行ったからだ。」』今、どうかあなたの父の神のしもべたちの背きを赦してください。」彼らがそのように語ったとき、ヨセフは泣いた。

18 彼の兄弟たちも行って、彼の前にひれ伏し、言った。「見よ、私たちはあなたのしもべです。」

19 ヨセフは彼らに言った。「恐れることはありません。私が神に代わる者でしょうか。

20 あなたがたは私に対して悪を企みましたが、神はそれを良いことのために計られました。今日のように、多くの人々を生かしておくためです。

21 だから今、恐れることはありません。私はあなたがたと、あなたがたの幼い子どもたちを養いましょう。」彼は彼らを慰め、彼らに優しく語りかけた。

22 ヨセフはエジプトに住んだ。彼と、彼の父の家でもある。ヨセフは百十年生きた。

23 ヨセフはエフライムの子どもたちを三代まで見た。また、マナセの息子マキルの子どもたちも、ヨセフの膝の上で生まれた。

24 ヨセフは兄弟たちに言った。「私は死のうとしている。しかし、神は必ずあなたがたを顧み、この地から、アブラハム、イサク、ヤコブに誓われた地へ、あなたがたを導き上ってくださる。」

25 ヨセフはイスラエルの子らに誓わせて、言った。「神は必ずあなたがたを顧みてくださる。あなたがたは私の骨をここから運び上らなければならない。」

26 こうしてヨセフは百十歳で死んだ。彼らは彼に防腐処理を施し、彼はエジプトで棺に納められた。

フリーダム・バイブル
**The Holy Bible in the Japanese Language, Freedom
Bible translation**

Public Domain

Language: 日本語 (Japanese)

この聖書翻訳には著作権が設定されていません。この聖書翻訳の公式な配布元は eBible.org です。これは翻訳の草案です。この聖書翻訳をより良いものにするため、改善のご提案を ebible.org+jpnm@gmail.com までお寄せください。

2026-07-08

PDF generated using Haiola and XeLaTeX on 8 Jul 2026 from source files dated 8 Jul 2026

8daadcbf-1b7a-51a2-98ce-7e95a9e95424